

# 令和8年 阿見町の教育

阿見町の概要…6 学校教育…16  
指導室…20 学校給食…43  
生涯学習…48  
教育関係委員…78

## 目次

朝日中学校



阿見中学校



町立中学校の制服の更新

竹来中学校



---

## 表 紙

### 【表紙：町立中学校の制服更新】

町内中学校の制服のデザインが令和 6 年度から朝日中学校・竹来中学校で、令和 8 年度から阿見中学校で変更され、ブレザータイプに統一されました。

### 【裏表紙：阿見町伝統芸能祭り】

令和 7 年 10 月 12 日、阿見町内の伝統芸能団体が町の特色ある伝統芸能を披露する「阿見町伝統芸能祭り」を開催しました。

写真は、君原小学校の子供たちが君島地区に伝わる町指定民俗文化財「君島のひよっところ」を披露している様子です。



キャッチコピー

## 「現在（いま）をみる、未来をつくる」

令和8年度、県の「いばらき教育プラン」が新たに策定される中、令和8年4月1日現在、小学生2,549名、中学生1,210名、計3,759名（前年比+50名）の児童生徒数、小学校7校、中学校3校、計10校の学校が、それぞれに学校教育目標を設定し力強くスタートしました。

第2次阿見町教育振興基本計画、第2次阿見町生涯学習推進計画が策定され、4年目となります。教育振興基本計画では、「学びあい 支えあい 心を育む人づくり」を基本理念に掲げ、「学びあい」「支えあい」の実践を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すとともに、多様な子どもの心に寄り添う「心を育む人づくり」により「阿見町らしい教育」の実現を目指してまいります。また、生涯学習推進計画では、「一人いち学習・いちスポーツ・いちボランティア～ともに学び ともに築く 輝きのあるまち～」を基本理念に掲げ、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる「いきいき学びの町」の実践と「伝え合う」「支え合う」「高め合う」の3つの視点にたって生涯学習を推進してまいります。学校教育については、次の3つを重点項目として実践してまいります。

1点目は、学力向上です。各学校では阿見町の授業スタンダードを基に、それぞれの学校の実態に即した授業スタイルを構築し、日々実践されています。また、タブレット端末や電子黒板を効果的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びの往還による、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業が展開されています。さらに、ALTや専科教員を効果的に活用するなど英語教育の充実にも努めているところです。その成果が、県の学力診断のためのテストや全国学力学習状況調査等の結果にも表れています。

2点目は不登校対応です。不登校は全国的に増えています。阿見町では、年間100日以上欠席した児童生徒数は、令和5年度71名、令和6年度95名、令和7年度79名でした。今後も学校復帰や不登校を出さない取組、不登校児童生徒や家庭への支援に努めてまいります。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、教育相談センター（やすらぎの園）や3中学及び阿見小とあさひ小における校内フリースクールの不登校対策指導員等、支援体制及び相談体制も充実してまいりましたので是非ご相談ください。

3点目は、働き方改革です。民間のアンケートでは、働き方改革は進んでいるが、教職員には改善されたという実感が薄いという結果が出ています。その1つが部活動の地域移行が進んでいないことが挙げられています。当町では、コンサルティング会社との契約により、阿見町独自の地域展開を推進し、令和6年度には弓道部、女子バレーボール部、陸上部が、令和7年度にはバスケットボール部、卓球部、剣道部が、休日部活動の移行を実現しました。また、各学校において、学習進度や授業時数の状況を踏まえて、繁忙期に短縮日課を実施するなど、教育課程を工夫しながら更に働き方改革を進めてまいります。

今年度、生涯学習課が、生涯学習課と文化課の2つの課に分かれました。生涯学習課では、社会教育のさらなる推進を図ってまいります。また、文化課では、予科練平和記念館を初めとする文化財や歴史資料の保存、文化芸術活動の振興を推し進めてまいります。新体制の組織で、住民の皆様が、より積極的に活動していただけるよう支援に努めてまいりますので、これまで同様、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 基本理念

学びあい

支えあい

心を育む人づくり

### 施策の基本方向

#### ◆1 確かな学びを育む◆

幼児教育から学校教育の連携・接続を強化するとともに、小・中学校が連携した教育の推進により、子どもの発達や学びの連続性を保障し、子どもたちが将来に夢と希望をもち、その実現に向かって着実に進んでいけるよう資質・能力の育成に努めます。

阿見町で学ぶすべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指すとともに、子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を育成し、学習意欲の向上や言語活動の充実が図られるよう、確かな学力の定着を目指します。

そのためには、教師が自らの授業を磨き、人間性や創造性を高めることにより、子どもたちに対して効果的な教育ができるよう、教師の資質の向上を目指します。また、地域人材を活用したサポート体制の充実をめぐるなど、教員に対する多様な学習支援を展開します。さらに、教師の勤務体制の改善や子どもたちの指導にあたる時間の確保を図るため、学校の働き方改革に積極的に取り組みます。

#### ◆2 豊かな心と健やかな体を育む◆

一人一人の子どもたちの豊かな心と命を大切にすることを育むため、道徳教育の充実を図るとともに、町の地域性を生かした郷土教育や文化・芸術活動の推進、予科練平和記念館等を活用した平和・命の教育を進めます。また、社会性や豊かな人間性を育むための体験活動やボランティア活動の推進に努めます。

健やかな体を育成するため、体力づくりと学校給食の充実に力を入れていきます。具体的には、学校体育の充実による体力づくりを目指すとともに、地域と連携してスポーツを楽しむ機会の創出に努めます。また、学校保健・健康教育による健康の増進、大学や企業、農業生産者、関係機関等と連携した食育の推進や安全な学校給食を提供します。

生徒指導については、個々の学校に適した指導体制を確立し、子どもたちの置かれている様々な状況にきめ細かく対応できるよう取組の強化に努めます。また、相談体制については、スクールカウンセラーの効果的な活用や日常的な相談の充実に努めます。さらに、いじめや不登校、問題行動等に対しては、未然防止・早期発見に努めるとともに、中学校における不登校支援教室の取組など、町独自の安心して教育を受けることができるセーフティネットの充実に努めます。

特別支援教育については、支援を必要とする児童生徒が個々の教育的ニーズに応じた教育が受けられるよう、指導の工夫や充実に努めるとともに、就学から卒業までの切れ目ない支援を継続します。

### ◆3 時代の変化に対応する能力を育む◆

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより、社会全体で ICT 化が進展し、教育分野においても ICT 環境の整備が進められました。今後も情報活用能力を育てる教育や情報モラル教育など、時代の変化に対応する能力を育む教育を推進します。また、教師の ICT に関する指導力の向上や、教科における ICT の活用、インターネットを活用した学力向上支援システム・コミュニケーションシステムの導入、ICT 環境の整備充実など、教育のデジタル化を積極的に推進します。

地域の課題を自らの課題として考え、地球規模の対策として取り組める 社会の創り手を育成します。そのためには、児童生徒が進路を主体的に選択する資質・能力を育むキャリア教育・職業教育の推進、社会を生き抜く力としての主権者教育・消費者教育など、社会の変化に対応できる子どもの育成を目指した 教育を推進します。

持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す SDGs (Sustainable Development Goals) の考え方も取り入れ、誰もが差別されることなく平等に参画できる社会を目指した人権教育やジェンダー平等を推進するとともに、多様性を認める教育、多文化共生などにより、一人一人の個性を尊重した教育を推進します。

### ◆4 多様な連携でまちの教育力を高める◆

社会全体での教育力の向上を目指し、阿見町の既存の地域コミュニティとの連携や地域住民との多様な交流、地域人材の積極的な活用を継続します。また、学校から地域に向けた情報発信、学校教育への支援体制の充実などにより、地域と一体となった開かれた学校づくりを進めます。

市内各課の連携や、本町の立地企業及び施設、学校等の連携を通して、乳幼児期からの家庭教育の支援に努めるなど、家庭の教育力や地域の教育力の向上を目指します。

さらに、保護者と連携して青少年の健全な育成を推進します。

### ◆5 安全で安心して学べる教育環境を創る◆

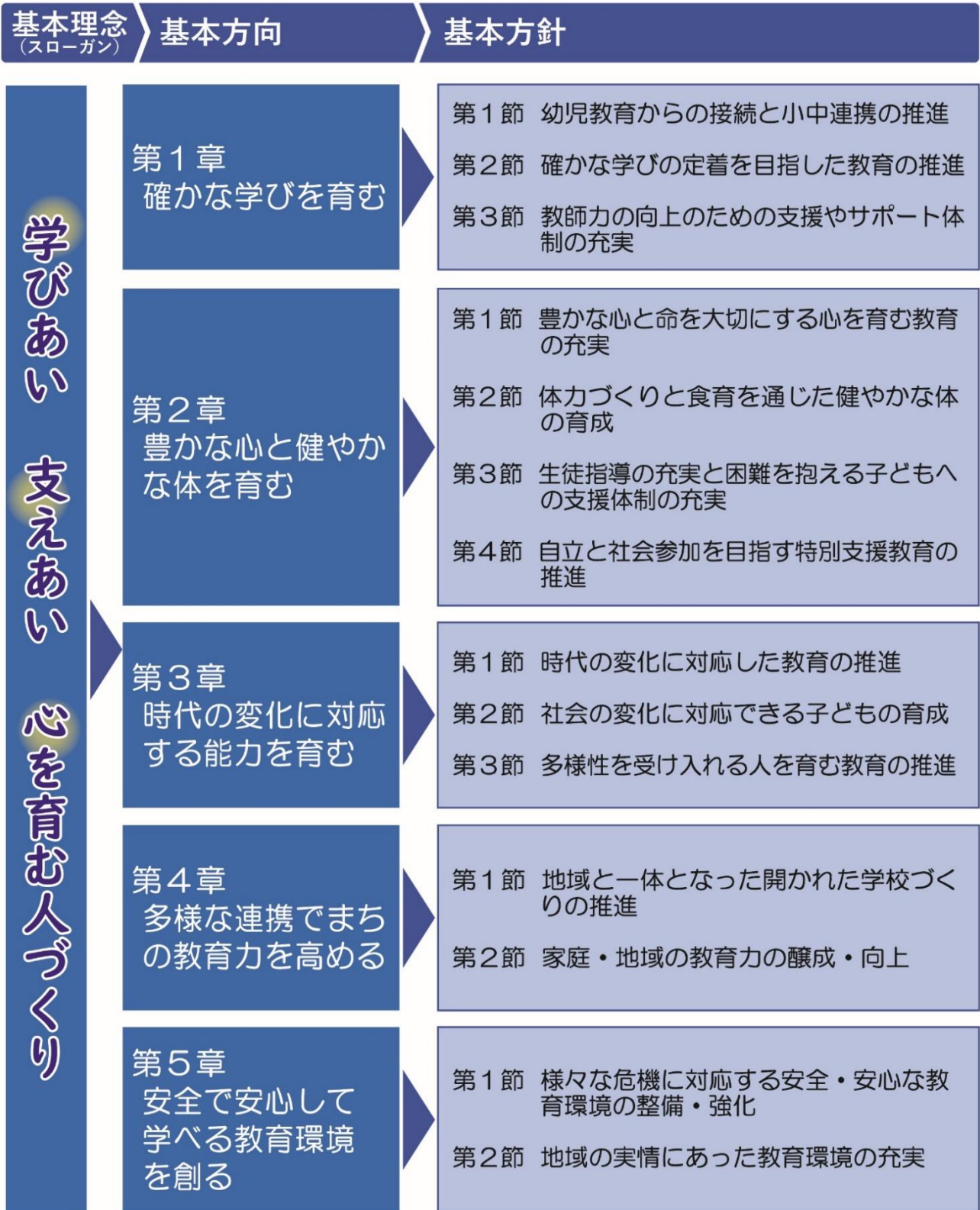
本町には、住宅地や田畑広がる地域、工場がある地域など、多様な地域が広がっており、地域によって教育環境にもそれぞれの特性があります。

これまでも小・中学校の統合や防災対策、交通安全対策など様々な取組を地域ごとの実情に合わせて進めてきました。

今後も災害等を想定した学校ごとの危機管理体制の確立や総合的な防災教育、防犯・通学路の交通安全対策の強化及び感染症対策等の健康危機管理に取り組み、安全で安心して学べる教育環境を目指します。

小・中学校の望ましい教育環境の検討や学校施設の安全性の強化、学習効果を高める学校施設・設備の充実などを 常に意識し、時代の変化に対応した学校施設・設備の充実を目指します。

## 第2次阿見町教育振興基本計画 基本構想 11 力年



# 目 次

I	阿見町の概要	6
II	学校教育	16
III	指導室	20
IV	学校給食	43
V	生涯学習	48
VI	教育関係委員	78

# I 阿見町の概要

## 目 次

1	阿見町の概要	7
2	阿見町の教育歳出予算	8
3	教育費の推移	8
4	教育施設整備事業の実績	9
5	令和8年度の主な施設整備事業	15

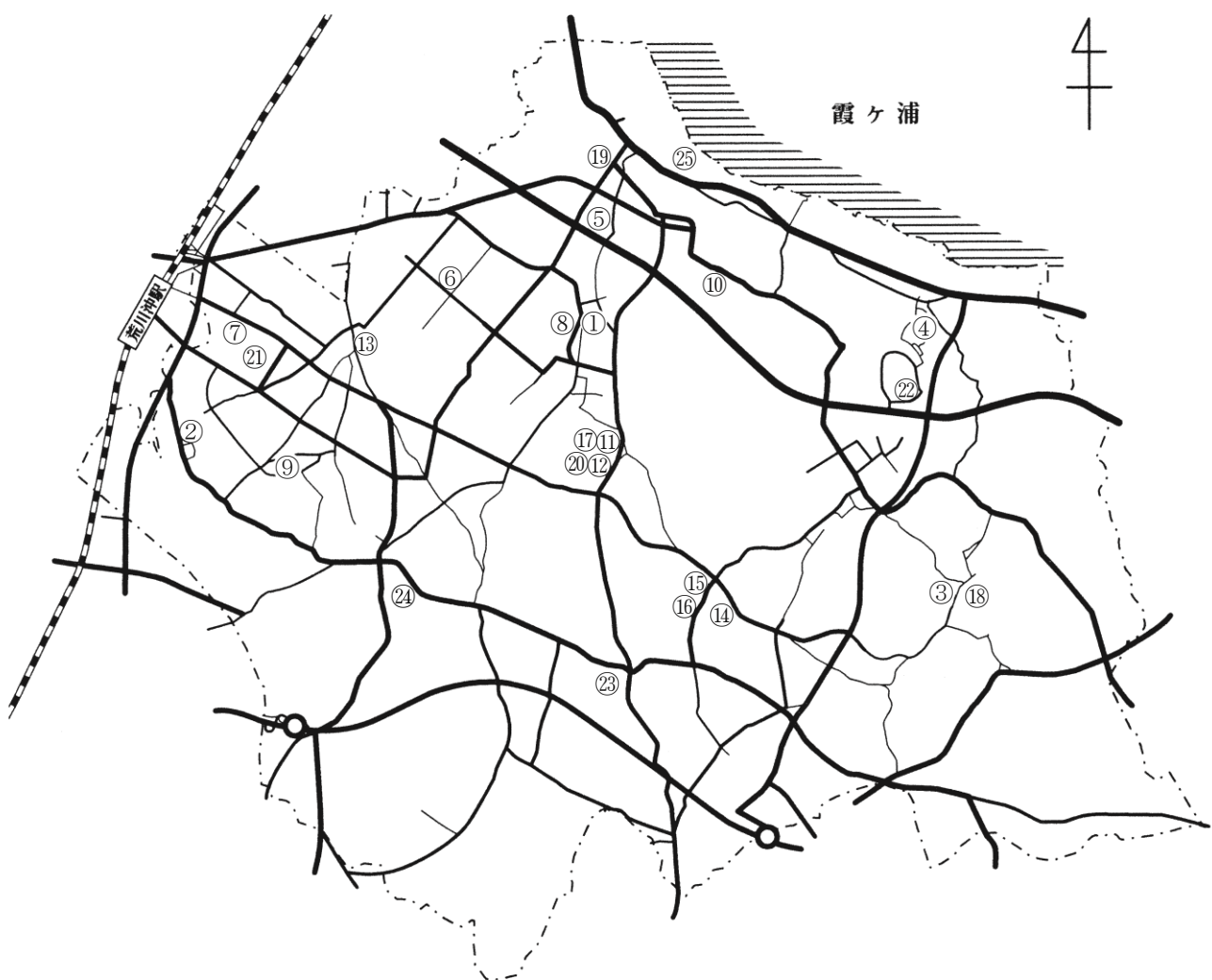
## 1 阿見町の概要

阿見町は茨城県の南部に位置し、都心から北へ 60km の地点にあり、東は美浦村、稲敷市、南西は牛久市、北は土浦市と接して霞ヶ浦に面しています。

町の総面積は 71.40km<sup>2</sup> で、東西 9km、南北 11km、海拔平均 21m。地勢は平坦で霞ヶ浦に沿う地域は、低湿地帯、その他は大部分が台地で、地質は第 4 紀古層の火山灰におおわれ、天恵に富んでいます。

交通は JR 常磐線土浦駅より約 4.5km、同荒川沖駅より約 4km の距離にあり、JR バス関東、関東鉄道バスによる交通網が町内をはじめ近隣市町村に通じています。

阿見町教育施設の配置図



- |                     |              |              |            |
|---------------------|--------------|--------------|------------|
| ① 阿見小学校             | ② 本郷小学校      | ③ 君原小学校      | ④ 舟島小学校    |
| ⑤ 阿見第一小学校           | ⑥ 阿見第二小学校    | ⑦ あさひ小学校     | ⑧ 阿見中学校    |
| ⑨ 朝日中学校             | ⑩ 竹来中学校      | ⑪ 中央公民館      | ⑫ 町民体育館    |
| ⑬ 学校給食センター          | ⑭ 町民球場       | ⑮ 陸上競技場      | ⑯ 運動公園管理棟  |
| ⑰ 図書館               | ⑱ 君原公民館      | ⑲ かすみ公民館     |            |
| ⑳ 教育相談センター (やすらぎの園) | ㉑ 本郷ふれあいセンター | ㉒ 美穀ふれあいセンター | ㉓ 予科練平和記念館 |
| ㉔ 舟島ふれあいセンター        | ㉕ 吉原交流センター   |              |            |

## 2 阿見町の教育歳出予算(当初予算)

(単位:千円)

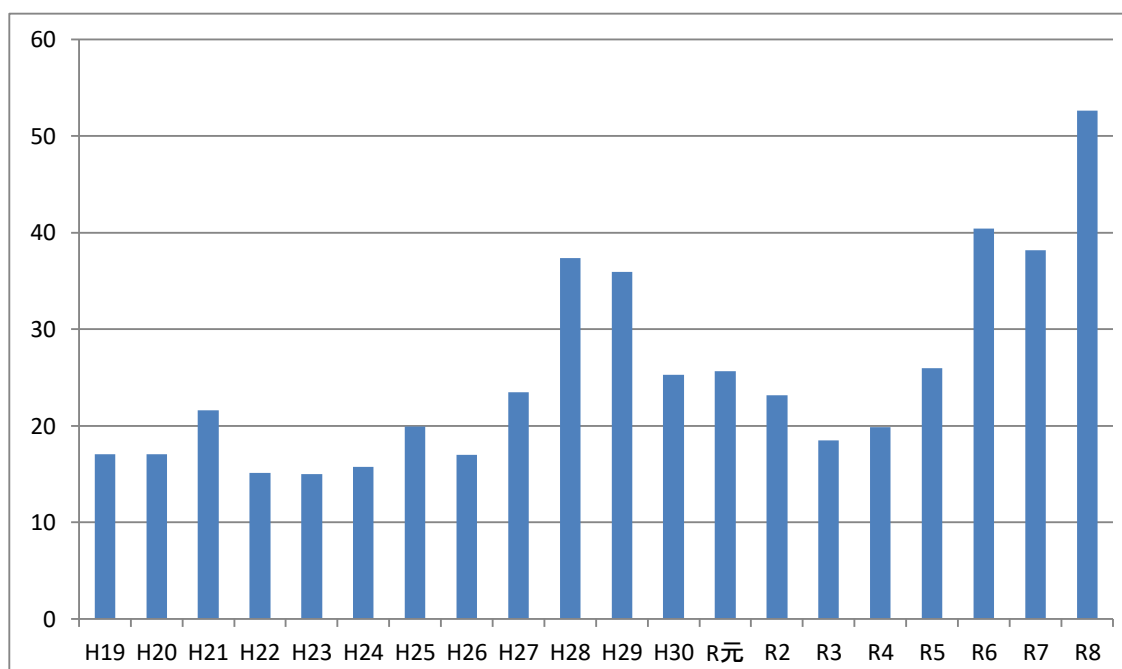
年度 項	令和8年度	令和7年度	比較
教育総務費	826,551	612,447	214,104
小学校費	1,675,597	940,070	735,527
中学校費	350,113	365,166	△ 15,053
社会教育費	1,511,356	1,085,469	425,887
保健体育費	897,237	811,763	85,474
合計	5,260,854	3,814,915	1,445,939

## 3 教育費の推移(当初予算)

(単位:千円)

年 度	当 初 予 算 額	年 度	当 初 予 算 額
H19	1,704,138	H29	3,593,602
H20	1,702,285	H30	2,526,508
H21	2,158,411	R元	2,568,084
H22	1,514,236	R2	2,317,041
H23	1,502,883	R3	1,849,446
H24	1,571,721	R4	1,986,694
H25	1,991,474	R5	2,595,320
H26	1,702,121	R6	4,042,501
H27	2,348,372	R7	3,814,915
H28	3,737,418	R8	5,260,854

単位:億円



#### 4 教育施設整備事業の実績

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
40～42	阿見中校舎 1～3 期	鉄筋 3 階	4,568	151,336	43,908	53,500	53,928
43～45	阿見小校舎 1～3 期	鉄筋 3 階	3,880	174,032	18,952	46,700	108,380
44	阿見中体育館	鉄骨 2 階	1,519	54,943	10,640	7,700	36,603
45	阿見中プール	鉄筋 50×15	2 面	43,865	1,200	18,000	24,665
46	実穀小プール	P C 25×13	1 面	15,970		6,000	9,970
〃	君原小プール	P C 25×13	1 面	15,480	975	6,000	8,505
〃	吉原小校舎	鉄筋 2 階	943	59,917	5,824	8,600	45,493
〃	舟島小校舎	鉄筋 2 階	1,107	69,128	10,458	15,400	43,270
〃	学校給食センター	鉄骨 1 階	706	35,880	1,767	15,000	19,113
47	本郷小校舎 1 期	鉄筋 3 階	605	34,879	5,964	4,300	24,615
48	阿見中相撲場			1,170			1,170
49～50	本郷小校舎 2 期	鉄筋 3 階	1,972	238,895	125,799	62,500	50,596
50	給食センター	鉄骨 1 階		33,870		29,000	4,870
50～52	阿見小特別教室棟	鉄筋 3 階	1,049	80,772	33,653	34,400	12,719
51	本郷小プール	P C 25×13	1 面	23,917	5,281	10,000	8,636
51～52	第一小校舎 1～3 期	鉄筋 3 階	5,353	451,078	235,589	117,200	98,289
51～52	実穀小校舎	鉄筋 3 階	1,998	242,448	142,606	12,500	87,342
51	第一小体育館	鉄骨 2 階	1,043	71,934	24,859	23,000	24,075
52	吉原小プール	P C 25×13	1 面	24,221	6,006		18,215
〃	舟島地区児童体育館	鉄骨 2 階	708	66,421	38,500		27,921
53	舟島小プール	P C 25×13	1 面	31,582	6,743	8,400	16,439
〃	第一小プール	P C 25×13	1 面	37,705	7,781	9,900	20,024
〃	君原小校舎	鉄筋 3 階	2,078	331,445	72,132	87,700	171,613
〃	阿見小体育館	鉄骨 2 階	1,300	107,208	35,982	34,000	37,226
〃	若栗運動公園野球場		19,000	16,213			16,213
54	舟島小特別教室棟	鉄筋 3 階	1,104	82,588	25,624		56,964
〃	本郷地区児童体育館	鉄骨 2 階	782	75,667	43,400		32,267
54～55	朝日中校舎	鉄筋 3 階	4,671	653,248	295,055	190,100	168,093
〃	中央公民館	鉄筋 3 階	2,813	636,400	116,300	238,000	282,100
〃	給食センター増築	鉄骨 1 階	360	110,186	4,180		106,006
55	朝日中体育館	鉄骨 2 階	926	93,079	38,602	28,900	25,577
〃	朝日中柔剣道場	鉄骨 1 階	407	35,373	7,718	11,600	16,055
〃	実穀小体育館	鉄骨 2 階	709	72,261	34,408	25,800	12,053
〃	吉原小体育館	鉄骨 2 階	709	69,801	33,275	24,900	11,626
55～56	町民体育館	鉄骨 2 階	1,236	147,886	89,800		58,086

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
56	朝日中プール	P C 25×15	1 面	54,000	15,390		38,610
〃	君原小体育館	鉄骨 2 階	707	75,671	36,228	27,100	12,343
〃	吉原小特別教室棟	鉄筋 3 階	1,262	190,851	81,189	45,700	63,962
〃	本郷小校舎増築	鉄筋 2/3 階	1,900	280,472	183,456	60,300	36,716
57	阿見中柔剣道場	鉄骨 1 階	617	54,800	8,533	12,700	33,567
57～58	第二小学校校舎	鉄筋 3 階	4,114	706,000	396,465	145,500	164,035
58	第二小体育館	鉄骨 2 階	1,019	111,200	38,772	34,800	37,628
〃	実穀小特別教室棟	鉄筋 3 階	1,151	203,052	106,109	71,300	25,643
59	第二小プール	P C 25×15	1 面	68,101	9,650	16,400	42,051
59～60	竹来中校舎	鉄筋 3 階	6,019	1,045,544	609,273	214,000	222,271
60	竹来中体育館	鉄骨 2 階	1,679	217,000	78,447	40,800	97,753
〃	阿見小プール	P C 25×17	1 面	78,500	10,293	15,400	52,807
61	竹来中プール	P C 25×15	1 面	92,000	9,650	58,000	24,350
62～63	阿見中校舎防音改造			443,408	171,695		271,713
63	阿見町図書館	鉄筋 2 階	1,630	566,613	76,900	282,000	207,713
元～2	阿見小校舎防音改造			835,485	256,512		578,973
2	給食センター増築	鉄骨 1 階		54,951			54,951
3	運動公園照明塔			146,929			146,929
4	君原小図工室	木造 1 階	180	54,487			54,487
5	朝日中普通外装改修			31,312			31,312
〃	君原公民館	鉄筋 1 階	1,252	668,664	59,000	370,900	238,764
6	第一小外装改修			52,015			52,015
〃	朝日中特別外装改修			33,423			33,423
6～7	かすみ公民館	鉄骨鉄筋 2 階	1,657	618,432	117,000	195,700	305,732
8	本郷小給水改修			17,407			17,407
〃	阿見中弓道場改修		83	13,081			13,081
〃	教育相談センター	鉄骨 1 階	180	18,486			18,486
9	舟島小校舎増築工事	鉄筋 2 階	2,081	530,145	209,109	198,600	122,436
〃	竹来中校舎増築	鉄筋 3 階	1,777	477,435	158,671	96,400	222,364
10	舟島小校舎改修			313,328	62,001	112,400	138,927
〃	中央公民館空調改修			91,350	26,200		65,150
13～14	本郷ふれあいセンター	鉄筋 2 階	1,643	669,418	124,160	363,300	181,958
13	中央公民館防水改修			18,501			18,501
〃	阿見中プール改修			32,154			32,154
〃	町民球場	対面 2 面		392,595	330,750		61,845
14	本郷小防水改修			27,825			27,825

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
15～16	舟島ふれあいセンター	鉄筋 2 階	1,107	388,843	43,796	120,900	224,147
15	教育相談センター増築	鉄骨 1 階	35	4,358			4,358
16	朝日中配管改修			17,535			17,535
17	第二小体育館屋根改修			9,345			9,345
18	実穀西校舎小配管改修			5,975			5,975
21	小学校防犯カメラ	小学校 8 校		13,595	2,716		10,409
〃	予科練平和記念館	鉄骨 1 階	1,409	1,253,252	79,329	736,600	437,323
22	阿見小校舎耐震補強 阿見小体育館耐震補強			274,158	142,274	21,600	110,284
〃	阿見中校舎耐震補強 阿見中体育館耐震補強			181,709	118,762	47,400	15,547
〃	中学校防犯カメラ	中学校 3 校		5,595	2,507		3,088
〃	第一小学校配管改修			34,230	34,230		
〃	中央公民館公共下水道			8,306			
23	教育相談センター増築	木造 1 階	24	4,200	3,517		683
〃	地上デジタル放送導入			8,736			8,736
〃	舟島小体育館耐震補強			24,727			24,727
〃	本郷ふれあいセンター 駐車場整備		1,990	23,027	10,000		13,027
24	朝日中校舎耐震補強 朝日中体育館耐震補強		5,922	151,994	75,997	25,400	50,597
〃	新給食センター建設	鉄骨 2 階	2,891	1,129,527	103,468	778,000	248,059
25	第一小校舎耐震補強 第一小体育館耐震補強		6,272	103,793	67,127	36,160	506
〃	君原小校舎耐震補強		2,056	51,324	30,691	20,340	293
〃	阿見中太陽光発電設備・ 非常用電源設備設置			19,950	19,950		
〃	朝日中太陽光発電設備・ 非常用電源設備設置			18,690	18,690		
〃	竹来中太陽光発電設備・ 非常用電源設備設置			18,585	18,585		
〃	本郷小校舎増築	軽鉄 2 階	530	107,772			107,772
〃	給食センター解体			53,476			53,476
〃	新給食センター外構整備			46,830			46,830
〃	新給食センター車庫建設	鉄骨平屋 (配送車車庫) (公用車車庫)	113 31	19,488	11,189		8,299
26	実穀小校舎耐震補強 実穀小体育館耐震補強		2,690	99,288	57,475	41,800	13
〃	実穀小体育館屋根改修		709	15,147			15,147
〃	吉原小校舎耐震補強 吉原小体育館耐震補強		1,652	79,565	54,698	24,800	67
〃	吉原小体育館屋根改修		709	20,464		15,300	5,164

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
26	本郷小校舎耐震補強		2,497	88,776	49,443	39,300	
〃	本郷小体育館耐震補強		781	14,187	5,670	7,600	917
〃	本郷ふれあいセンター 外壁改修			40,954			40,954
26～27	予科練平和記念館 実物大零戦模型作成			12,960			12,960
27	予科練平和記念館 零戦格納庫建設	鉄筋1階	152	33,696			33,696
〃	朝日中設備改修 (空調・トイレ)			165,282		123,900	41,382
〃	阿見中技術室棟改築	鉄骨1階	186	47,952	9,123	31,700	7,129
〃	中央公民館耐震補強	鉄筋3階 2,813㎡		183,600	20,500	27,200	135,900
〃	中央公民館 空調用熱源設備更新			25,596			25,596
28	本郷小設備改修 (空調・トイレ・給排水)			206,496		146,200	60,296
〃	本郷小プール改修			7,182			7,182
〃	阿見中旧校舎解体			14,057			14,057
〃	阿見中外構整備			28,048			28,048
〃	柔剣道場改修 (朝日中・竹来中)			36,018	11,565	22,800	1,653
〃	朝日中テニスコート改修			1,296			1,296
〃	陸上競技場走路等改修			16,245	10,830		5,415
〃	町民球場放送設備改修			6,956			6,956
〃	町民体育館耐震改修			108,000	36,200		71,800
28～29	あさひ小 あさひ小体育館	RC造2階 S造	9,216 1,288	3,437,475	874,585	1,966,700	596,190
〃	阿見中設備改修 (空調・トイレ・給排水)			175,284	51,067	120,900	3,317
29	阿見小設備改修 (空調・トイレ・給排水)			196,705	46,535	144,500	5,670
〃	小学校屋内運動場 非構造部材耐震化 (阿見小・第一小・第二小)			53,394	17,975	21,300	14,119
〃	小学校屋内運動場 非構造部材耐震化 (本郷小・舟島小)			21,752		21,700	52
〃	全中学校屋内運動場 非構造部材耐震化			91,063	30,657	47,100	13,306
〃	阿見中プール改修 (町民プールB)			14,721			14,721
〃	総合運動公園 テニスコート照明灯改修 (設計費等を含む)			24,615	15,255		9,360
30	第一小プール改修			9,548			9,548

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
30	阿見中テニスコート改修			2,523			2,523
〃	朝日中増築	S造2階	1,225	341,064	130,107	177,600	33,357
〃	竹来中設備改修 (空調・トイレ・給排水)			260,820		195,600	65,220
〃	陸上競技場スタンド改修 (附帯工事含む)	鉄筋1階	260	62,316	39,600		22,716
〃	運動公園フットサルコート人工芝改修工事			46,721	24,000		22,721
30～元	第一小空調設備改修			115,825	16,433	79,500	19,892
〃	君原小空調設備改修			13,539	3,983	7,900	1,656
〃	第二小空調設備改修			18,080	4,944	10,800	2,336
〃	第一小トイレ改修			120,375	27,817	81,400	11,158
元	阿見小プール改修			12,194			12,194
〃	阿見中 外壁・屋上防水改修			156,533		112,600	43,933
〃	竹来中テニスコート改修			7,700			7,700
〃	中央公民館消火栓用非常用自家発電機更新			8,7314		7,800	931
〃	かすみ公民館防水・外壁改修			50,766	32,552	1,280	16,934
元～2	舟島小設備改修 (空調・トイレ)			235,218	49,227	145,700	40,291
〃	阿見小屋内運動場 建具(窓)改修工事			42,872	13,766	21,900	7,206
〃	第一小屋内運動場 建具(窓)改修工事			35,185	11,715	19,100	4,370
〃	君原小屋内運動場改修 (屋根・非構造部材)			51,403	5,718	27,200	18,485
〃	全小中学校校内通信 ネットワーク整備工事			100,650	35,713	59,400	5,537
2	竹来中 外壁・屋上防水改修			248,733		183,500	65,233
〃	阿見中段差等改修工事			12,650		6,700	5,950
〃	旧吉原小学校改修 (吉原交流センター)			238,700	45,837	135,000	57,863
3	朝日中駐輪場増設工事			15,389			
〃	図書館外壁改修 屋上防水・外壁改修			69,300		59,900	9,400
〃	君原小、阿見第二小 水洗自動化等工事			1,709	1,709		
4	旧実穀小学校改修 (実穀ふれあいセンター)			384,340	177,839	151,000	55,501
〃	旧実穀小屋内運動場 非構造部材等改修工事			13,577		13,550	27

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
4	旧吉原小屋内運動場 非構造部材等改修工事			14,256		14,250	6
〃	阿見中屋内運動場・柔剣 道場トイレ等改修工事			57,585		57,547	39
〃	竹来中屋内運動場トイレ 等改修工事			45,953		45,922	31
〃	本郷小屋内運動場トイレ 等改修工事			41,960		41,932	28
〃	阿見小屋内運動場バスケット ボール電動化工事			1,556			1,556
5	陸上競技場コースロー プ張替工事			1,870			1,870
5~6	朝日中長寿命化改修工 事			935,000	173,248	514,748	247,004
6	阿見小屋内運動場 トイレ等改修工事			44,748		44,748	
〃	舟島小屋内運動場 トイレ等改修工事			44,748		44,748	
〃	阿見第二小屋内運動場 トイレ等改修工事			46,398		46,398	
〃	本郷小プール解体工事			32,010			
〃	全小中学校防犯対策 施設整備工事			8,521	4,521	4000	
〃	町民体育館大規模修繕 工事			280,060	71,612	131,100	77,348
〃	総合運動公園キュービ クル高圧機器更新工事			2,618			2,618
〃	中央公民館大規模改修 工事			416,350		376,800	39,550
〃	舟島ふれあいセンター 外壁等改修工事			49,731		44,700	5,031
7	君原小屋内運動場トイレ 等改修工事			61,933		61,933	
〃	阿見第一小屋内運動場 トイレ等改修工事			52,561		52,561	
〃	朝日中屋内運動場トイレ 等改修工事			62,131		62,131	
〃	阿見中屋内運動場屋根 改修工事			85,294			85,294
〃	総合運動公園B球場照明 灯改修工事			88,220		79,300	8,920
〃	予科練平和記念館 屋上防水・外壁改修工事			107,162		96,400	10,762

## 5 令和8年度の主な施設整備事業

年度	事業名	構造	面積 (㎡)	総事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					補助金	起債	一般財源
7～8	本郷小校舎増築工事	S造	2,394	1,124,200			
〃	かすみ公民館大規模改修工事	SRC造	1,657.65	372,020	269,019	77,200	25,801
8	君原小・阿見第二小校舎 トイレ改修・特別教室空調設備設置工事			308,682			
〃	全中学校屋内運動場空調設備設置工事			169,254			
〃	阿見中部室解体・新築工事			25,003			
〃	旧実穀小学校体育館便所等改修工事			90,046		81,000	9,046
〃	旧吉原小学校体育館便所等改修工事			98,538		88,600	9,938
〃	君原公民館大規模改修工事			269,632			
8～9	阿見第一小長寿命化改修工事			1,053,481			

## Ⅱ 学 校 教 育

### 目 次

1	阿見町学校概要・・・・・・・・・・・・・・・・	17
2	人口と児童生徒数の推移・・・・・・・・	18
3	就学前児童数調査・・・・・・・・	18
4	通学区域等・・・・・・・・	19

# 1 阿見町学校概要

※児童生徒数及び学級数は特別支援学級の数を含む（R8.5.1現在）

学 校 名	阿見小学校	本郷小学校	君原小学校	舟島小学校	阿見第一小学校	阿見第二小学校	あさひ小学校	小学校計	阿見中学校	朝日中学校	竹来中学校	中学校計		
創 立 記 念 日	7月1日	11月19日	11月1日	10月1日	6月6日	11月30日	11月30日		7校	11月4日	2月10日		10月28日	3校
所 在 地	中央二丁目 1番5号	大字荒川本郷 1400番地	大字塙 145番地	大字島津 3928番地	岡崎三丁目 19番地	大字阿見 4988番地	本郷一丁目 5番地1			中央一丁目 2番1号	大字荒川本郷 1855番地1		大字竹来 400番地1	
電 話 番 号	887-0019	841-0024	889-0118	887-1720	887-5781	887-8531	893-3555			887-0028	842-7771		887-1201	
F A X 番 号	887-7649	841-5297	889-0003	887-1055	887-9274	887-7521	841-2121		888-2493	842-2865	888-2497			
教 員	校 長 名	浅野 剛	山本 隆弘	小松原 聡	中島 まり子	瀬尾 卓也	宮本 昌枝	菅澤 直美	7人	川中 俊治	山下 克久	岡野 友浩	3人	
	副 校 長		穴澤 貴史					西本 義一	2人				0人	
	教 頭 名	小松原 陽子	小川 拓也	富田 哲也	宮本 卓也	小林 一慶	土井 耕介	葉梨 義幸	7人	雑賀 史	江幡 綾子	川松 佳子	3人	
	教 諭	男(人)	9	11	4	5	9	3	10	51人	12	17	10	39人
		女(人)	15	18	5	6	9	6	23	82人	10	12	9	31人
	職	養護(助)教諭 (人)	1	2	1	1	1	1	2	9人	1	1	1	3人
	員	栄養教諭 (人)	1	0	0	0	0	0	0	1人	0	1	0	1人
	講 師 (人)	2	6	1	2	0	0	8	19人	0	5	2	7人	
事 務 職 員 (人)	1	2	1	1	1	1	2	9人	1	2	1	4人		
計 (人)	31	42	14	17	22	13	48	187人	26	40	25	91人		
児 童 ・ 生 徒 数 (人)	569(特31)	682(特62)	66(特7)	110(特18)	310(特35)	111(特8)	699(特55)	2,547(特216)	352(特24)	596(特46)	262(特26)	1,210(特96)		
学 級 数	23(特5)	32(特10)	8(特2)	10(特4)	17(特5)	8(特2)	30(特9)	128(特37)	15(特4)	26(特8)	12(特4)	53(特16)		
校 舎 面 積 (㎡)	5,215	5,010	2,245	4,331	5,363	4,114	7,905	34,183㎡	4,999	5,945	7,884	18,828㎡		
屋 内 運 動 場 (㎡)	1,300	782	707	708	1,043	1,019	1,288	6,847㎡	1,519	926	1,049	3,494㎡		
敷 地	建 物 (㎡)	14,759	5,011	5,800	11,234	12,778	12,025	16,382	77,989㎡	15,958	14,583	16,379	46,920㎡	
	運 動 場 (㎡)	16,282	8,330	6,778	13,341	18,200	16,780	7,905	87,616㎡	28,750	22,344	21,308	72,402㎡	
	そ の 他 (㎡)	2,433		1,292	4,643		155		8,523㎡			2,729	2,729㎡	
	計 (㎡)	33,474	13,341	13,870	29,218	30,978	28,960	24,287	174,128㎡	44,708	36,927	40,416	122,051㎡	
養護(助)教諭名	穴澤 貴美子	稲川 祐美 飛田 菜々子	國分 貴子	横井 伸江	西島 恵子	稲野邊紀佳美	浅野 優 本間 美由希		川田 由美子	一村 陽子	村山 七海			
事 務 職 員 名	佐川 恵	鈴木 佳奈 大森 麻友子	萩野谷 優果	結束 孝子	中山 春那	青木 祐子	黒田 礼子 堀江 良子		眞家 升子	島田 琢哉 吉田 佳代子	辻 真美子			
P T A 会 長	臼井 舞子	吉田 貴洋	笹田 邦恵	佐藤 修一	坂本 良美	湯原 正記	石田 貴也		小松澤 幸夫	山本 英宏	大釜 篤実			
校 医	小林、縣 大槻、宜保	辻、渡辺 大槻	山本、春日	小林、春日 助川	竹村、縣 助川	宮崎 山本(敏)	印南、成島 日高、大澤		柏木、成島 小林、山本	印南、日高 大槻	柏木、竹村 縣、助川			
歯 科 医	野口(喜) 大場、山崎	鶴屋、宮本	大場	野口(喜)	塚原 野口(智)	月村	沼尻、永山 大久保		野口(喜) 須藤、塚本	宮本、河原	塚原、北澤			
薬 剤 師	関口	奈須	鈴木(史)	鈴木(史)	鈴木(史)	山本(清)	山本(清)		小竹	鈴木(史)	鈴木(秀)			

## 2 人口と児童生徒数の推移

(5月1日現在)

年 度	人口 (住民基本台帳より)	児童・生徒数		
		小学校	中学校	計
平成8年度	45,805	3,166	1,816	4,982
平成9年度	46,485	3,068	1,746	4,814
平成10年度	46,782	2,968	1,704	4,672
平成11年度	46,746	2,886	1,630	4,516
平成12年度	46,327	2,762	1,577	4,339
平成13年度	46,396	2,682	1,514	4,196
平成14年度	46,520	2,626	1,470	4,096
平成15年度	46,536	2,612	1,355	3,967
平成16年度	47,002	2,598	1,303	3,901
平成17年度	47,040	2,543	1,314	3,857
平成18年度	46,825	2,553	1,293	3,846
平成19年度	46,736	2,545	1,268	3,813
平成20年度	46,832	2,652	1,194	3,846
平成21年度	46,775	2,689	1,198	3,887
平成22年度	46,758	2,629	1,198	3,827
平成23年度	46,716	2,631	1,211	3,842
平成24年度	46,547	2,576	1,253	3,829
平成25年度	47,115	2,584	1,267	3,851
平成26年度	47,356	2,536	1,291	3,827
平成27年度	47,560	2,524	1,285	3,809
平成28年度	47,482	2,558	1,250	3,808
平成29年度	47,428	2,502	1,210	3,712
平成30年度	47,518	2,494	1,314	3,808
令和元年度	47,695	2,478	1,189	3,667
令和2年度	47,763	2,510	1,155	3,665
令和3年度	48,092	2,517	1,177	3,694
令和4年度	48,681	2,508	1,202	3,710
令和5年度	49,219	2,553	1,182	3,735
令和6年度	49,437	2,583	1,184	3,767
令和7年度	49,816	2,552	1,157	3,709
令和8年度	50,316	2,547	1,210	3,757

## 3 就学前児童数調査

(5月1日現在)

就学年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
年 齢	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
男 子	195	219	181	184	186	195
女 子	199	203	185	197	185	167
合 計	394	422	366	381	371	362

## 4 通学区域等

### 小学校（R8.5.1 現在）

学校名	通学区域（行政区名等）	備考
阿見小学校	中郷西、北、宿、西方、中央東、中央西、中央南、中央北、鈴木、三区上、三区下、富士団地、大砂、上吉原、中吉原、下吉原、新山、福田、よしわら	19 行政区
本郷小学校	一区の一部、上本郷の一部、下本郷、本郷の一部、シンワ、中根、実穀、寺子、上小池、下小池、上長、筑見	12 行政区
君原小学校	君島、大形、石川、塙、追原、上条、飯倉、飯倉二区	8 行政区
舟島小学校	上島津、下島津、南島津、掛馬、竹来、南平台一、二、三丁目	8 行政区
阿見第一小学校	岡崎、中郷東、立ノ越、青宿、新町、廻戸、霞台、大室、白鷺団地、曙東、曙南、レイクサイドタウン	12 行政区
阿見第二小学校	阿見台、西郷、一区南、一区北、上郷	5 行政区
あさひ小学校	住吉、二区北、二区南、一区の一部、上本郷の一部、本郷の一部	6 行政区

### 中学校（R8.5.1 現在）

学校名	通学区域（行政区名）	備考
阿見中学校	中郷西、阿見台、西郷、北、宿、西方、中央東、中央西、中央南、中央北、鈴木、三区上、三区下、一区南、一区北上郷、富士団地、大砂、上吉原、中吉原、下吉原、新山、福田よしわら	24 行政区
朝日中学校	住吉、二区北、二区南、一区、上本郷、下本郷、本郷、シンワ、中根、実穀、寺子、上小池、下小池、上長、筑見	15 行政区
竹来中学校	岡崎、中郷東、立ノ越、青宿、新町、廻戸、霞台、大室、白鷺団地、曙東、曙南、レイクサイドタウン、君島、大形、石川、塙、追原、上条、飯倉、飯倉二区、上島津、下島津、南島津、掛馬、竹来、南平台一、二、三丁目	28 行政区

### 中学校

学校名	就学学校名
阿見中学校	阿見小学校、阿見第二小学校
朝日中学校	本郷小学校、あさひ小学校
竹来中学校	君原小学校、舟島小学校、阿見第一小学校

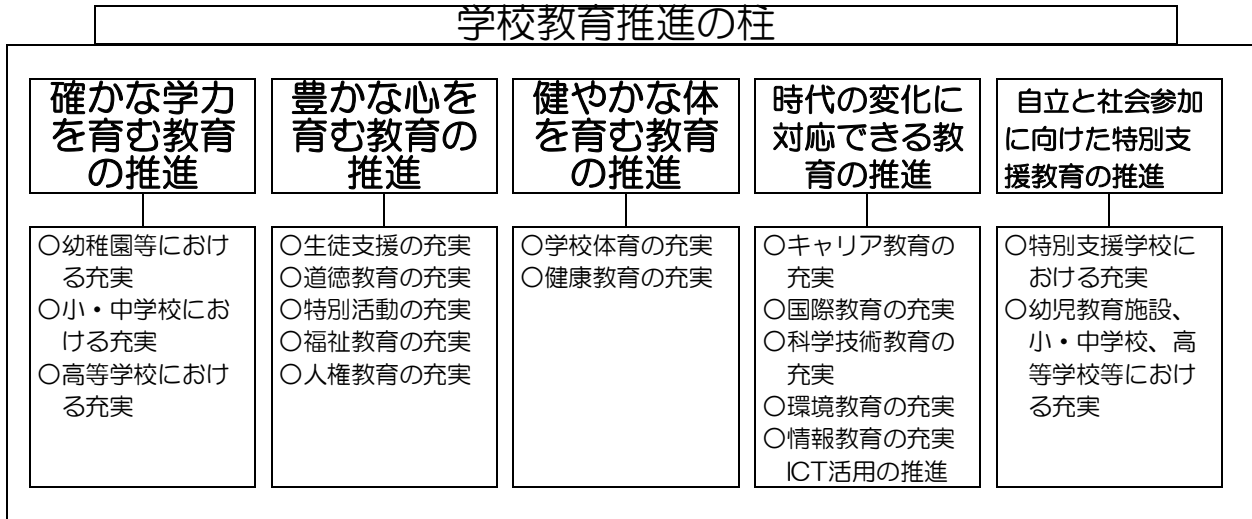
### Ⅲ 指 導 室

#### 目 次

- 1 令和 8 年度 阿見町の学校教育目標・・・・・・・・・・ 21
- 2 令和 8 年度 指導室の事業内容・・・・・・・・・・ 27
- 3 令和 8 年度 各小中学校の取組・・・・・・・・・・ 29
- 4 令和 7 年度 研究指定校の研究実績・・・・・・・・・・ 39

# 令和8年度 茨城県学校教育指導方針

<b>本県の教育目標</b>	<b>いばらき教育プラン～茨城県総合計画より～</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう</li> <li>○じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う</li> <li>○郷土を愛し 協力しあう心を育てる</li> </ul>	<p>基本理念 『活力があり、 県民が日本一幸せな県』</p> <p>Ⅲ「新しい人財育成」 ○茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一 子どもを産み育てやすい県を目指します。</p>



## 1 令和8年度 阿見町の学校教育目標

生きる力を育む教育の推進

### 今年度の重点課題と課題解決のための具体的取組

<p style="text-align: center;">1 確かな 学びの保障 ～学力の向上～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①阿見町の授業スタンダードのキーワード（課題設定、アウトプット、まとめと振り返り、適用練習）</li> <li>②各学校授業スタイルの再構築（個別最適な学び・協働的な学び）</li> <li>③ICT機器の活用（タブレット、電子黒板、デジタル教科書等）、ICT支援員の効果的な活用、好事例の共有</li> <li>④英語教育の充実（小学校英語スピーキングクエスト）</li> </ul>
<p style="text-align: center;">2 信頼される 学校づくり ～いじめ・不登校の未然防止・早期対応～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学校と町教育相談センターとの連携（生徒指導主事を核とした連絡体制の確立）</li> <li>②校内フリースクール、不登校対策指導員との連携</li> <li>③SCやSSWとの連携（居場所づくりと絆づくり）、チーム支援の確立</li> </ul>
<p style="text-align: center;">3 学校の持続 可能性の確立 ～働き方改革～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①部活動の地域展開推進・実行</li> <li>②小学校専科教員の全校配置・拡充</li> <li>③支援員、SC、SSW等、マンパワー増加</li> <li>④時間の創出（5時間授業、短縮日課の実施）</li> </ul>

# 令和8年度阿見町学校教育指導の方針

子どもも教師も元気な学校・子どもも教師も伸びる学校

## 校長のリーダーシップの発揮

### 学校教育目標の具現化へ向けた改革の推進

- 子どもや学校を取り巻く環境の変化を的確に把握し、目標や教育課程に反映・発信
- 目標の達成状況を検証・公表し、それを踏まえて果敢に改革を推進
- 教職員がより高いパフォーマンスを発揮できる組織マネジメントを遂行

## すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

<p>カリキュラム・マネジメントの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標と連鎖したPDCAサイクルの確立</li> <li>○ 社会に開かれた教育課程の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部人材の活用、体験活動の充実</li> <li>(教科等横断的・探究的な学び・キャリア教育・STEAM教育等)</li> <li>・ 地域との連携・協働の促進</li> <li>(コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進)</li> </ul> </li> <li>○ 教員のパフォーマンス向上を図る働き方改革の推進</li> </ul>	<p>未来を拓く学びの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試行錯誤、アウトプットまとめと振り返りの重視</li> </ul> </li> <li>○ ICTの効果的な活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠隔・オンライン授業、オンデマンド動画、デジタル教材、学習データ、生成AI活用等</li> </ul> </li> <li>○ よりよい社会の創造に貢献する市民性の育成</li> <li>○ 個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習状況等に応じた指導と配慮、自己決定の場の提供、日本語指導の充実等</li> </ul> </li> <li>○ <b>阿見町の授業スタンダードのキーワード</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 課題提示</li> <li>◇ アウトプット</li> <li>◇ まとめと振り返り</li> <li>◇ 適用練習</li> </ul> </li> </ul>	<p>安心して学べる環境の保障</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 居場所づくりと絆づくりへの支援の充実</li> <li>○ 教育相談の充実とチーム支援の確立</li> <li>○ 学校段階等間の接続の円滑化</li> </ul>
---	---	---

## 第2次阿見町教育振興基本計画基本理念

学びあい 支えあい 心を育む人づくり

- **基本方向1** 確かな学びを育む
  - ・ 幼児教育からの接続と小中連携の推進
  - ・ 確かな学びの定着を目指した教育の推進
- **基本方向2** 豊かな心と健やかな体を育む
  - ・ 豊かな心と命を大切にする心を育む教育の充実
  - ・ 体力づくりと食育を通じた健やかな体の育成
- **基本方向3** 時代の変化に対応する能力を育む
  - ・ 社会の変化に対応できる子どもの育成
  - ・ 多様性を受け入れる人を育む教育の推進
- **基本方向4** 多様な連携でまちの教育力を高める
  - ・ 地域と一体となった開かれた学校づくりの推進
  - ・ 家庭・地域の教育力の醸成
- **基本方向5** 安全で安心して学べる教育環境を創る
  - ・ 様々な危機に対応する安全・安心な教育関係の整備・強化
  - ・ 地域の実情にあった教育環境の充実

◆ 令和8年度 第2次阿見町教育振興基本計画施策の基本方向

基本理念

**学びあい 支えあい 心を育む人づくり**

1 確かな学びを育む

【目指す姿】

- ☆ 就学前児童は、入学前からのサポートのもと安心して進学することができ、楽しく学校生活をスタートしています。また、小・中学校の教員や児童生徒の日常的な交流活動を通して学びの連携が進んでいます。
- ☆ 子どもたちは夢と希望をもち、実現したい未来に向かって着実に、力強く学んでいます。
- ☆ 教師は、子どもたちと触れ合う時間を優先できる環境のもと、一人一人に寄り添いながら学びあう教育を進めています。

基本方針

具体的施策の内容

1 幼児教育からの接続と小中連携の推進

- 小中連携教育の推進
- 幼児教育の支援
- 保・幼・小連携の強化

2 確かな学びの定着を目指した教育の推進

- 基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成
- 学習意欲の向上
- 言語活動の充実
- 外国語教育の推進
- 理数教育の充実

3 教師力の向上のための支援やサポート体制の充実

- 教員の資質向上
- 多様な学習支援の充実
- 学校の働き方改革の推進

重点事項

- ★ 阿見町の教育理念に基づいた切れ目のない教育の推進と、阿見町架け橋プログラムをもとに幼保小中の多様な連携を図る
- ★ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、子どもたち一人一人に寄り添いながら教師もともに学びあう教育
- ★ 世界とつながる人づくりに資する国際教育・外国語教育の推進と、英語を着実に身に付ける教育の推進
- ★ すべての学習の基礎となる言語を豊かに学ぶための、読書環境の整備や児童生徒の読書意欲の向上
- ★ 教師自らが授業を磨くとともに、子どもと触れ合う時間を大切にする学校の働き方改革の推進



## 2 豊かな心と健やかな体を育む

### 【目指す姿】

- ☆ 児童生徒の情操が育まれ、友達や家族を思いやり、故郷を大切に思っています。また、予科練平和記念館を活用した教育の経験が生かされ、平和と命の尊さを深く理解しています。
- ☆ 児童生徒は、地場産の食材を使ったおいしい学校給食や茨城大学（農学部）や生産者、関係機関等と連携した食育授業、学校体育、部活動、スポーツ活動を通して健康と体力を身に付けています。
- ☆ すべての児童生徒は、家庭・学校・地域で温かく見守られ、いきいきと学んでいます。

### 基本方針

### 具体的施策の内容

1 豊かな心と命を大切にすることを育む教育の充実

- 道徳教育の充実
- 郷土教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 平和・命の教育の推進
- 体験活動・ボランティア活動の推進

2 体力づくりと食育を通じた健やかな体の育成

- 学校体育の充実
- 学校保健・健康教育
- 食育の推進と安全な学校給食
- 地域と連携した運動部活動の促進

3 生徒指導の充実と困難を抱える子どもへの支援体制の充実

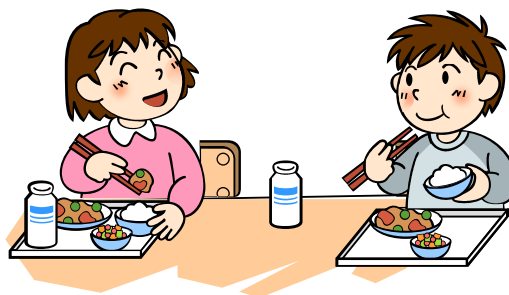
- 積極的な生徒指導
- 相談体制の充実
- 教育相談センター（やすらぎの園）の充実と活用
- 校内不登校支援教室の拡充

4 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進

- 個々の教育的ニーズに対応した指導の充実
- 就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進

### 重点事項

- ★ 「生きる力」を培うため、体力の向上と健康増進に資する健康教育の充実など命を大切にする教育の推進
- ★ 地場農産物を使ったおいしい給食と学校給食を通じた食育の推進による、児童生徒の健やかな成長
- ★ 多様な関係者の連携強化・相談体制の拡充や、子どもの貧困対策への取組
- ★ 特別な配慮が必要な児童生徒へのきめ細やかな支援による誰一人取り残さない教育の推進



### 3 時代の変化に対応する能力を育む

#### 【目指す姿】

- ☆ 児童生徒は、情報活用能力を効果的に使って学校生活を過ごしています。
- ☆ 児童生徒は、地域の自然・郷土をよく知り、愛着をもって暮らしています。また、社会の一員としての役割をよく理解しています。
- ☆ 児童生徒は、多様性を認め合い、新たな価値を創造していく力や社会の持続可能な発展を担う力を身に付けています。

#### 基本方針

#### 具体的施策の内容

1 時代の変化に対応した教育の推進

- 情報活用能力を育てる教育の充実
- 教育ICT環境の整備
- 学校情報化の推進（校務のデジタル化）

2 社会の変化に対応できる子どもの育成

- 環境教育の充実
- キャリア教育・職業教育の推進
- 主権者教育・消費者教育の充実

3 多様性を受け入れる人を育む教育の推進

- 人権教育の推進
- 男女共同参画社会の形成
- 多文化共生の推進

#### 重点事項

- ★ これからの時代の学びを支える教育現場におけるデジタル化の推進
- ★ 子どもの職業観、働く意味を学ぶ機会の醸成、キャリア形成を図るために必要な能力や態度の育成の充実
- ★ 環境教育などを通してSDGsの目標を理解し、実践していく力や態度を養う教育
- ★ 一人一人の違いを認め、個性を生かし、誰もが差別されることのない共生社会に向けた環境整備



#### 4 多様な連携でまちの教育力を高める

##### 【目指す姿】

- ☆ 地域ぐるみの教育が広がり、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒を育てています。
- ☆ すべての児童生徒が家庭を安らぎのある楽しい場所と感じて過ごしており、親も子も笑顔で毎日を過ごしています。

##### 基本方針

##### 具体的施策の内容

1 地域と一体となった開かれた学校づくりの推進

- 地域人材の積極的な活用
- 地域に向けた情報の発信
- 学校教育への支援体制の充実

2 家庭・地域の教育力の醸成・向上

- 乳幼児期からの家庭教育の支援
- 家庭や地域との連携
- 青少年健全育成・体験活動

##### 重点事項

- ★ 本町の地域の特徴を活かした、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進
- ★ 家庭教育・就学前教育の重要性を踏まえた、家庭の教育力の強化・支援
- ★ 児童生徒の生き抜く力をサポートする地域力の醸成

#### 5 安全で安心して学べる教育環境を創る

##### 【目指す姿】

- ☆ 学校は万が一に備えた危機管理体制が整っており、児童生徒は安心して学校生活を送っています。児童生徒も、いざという時は、自らの安全を守るために適切に行動できるようになっています。
- ☆ 地域の特色を生かした学校づくり、安心安全に学べる教育環境が実現しています。

##### 基本方針

##### 具体的施策の内容

1 様々な危機に対応する安全・安心な教育環境の整備・強化

- 危機管理体制の確立
- 防災教育の強化
- 防犯・交通安全対策の強化
- 感染症対策の充実

2 地域の実情にあった教育環境の充実

- 小・中学校の望ましい教育環境の検討
- 学校施設の維持管理
- 学校施設・設備の充実

##### 重点事項

- ★ 児童生徒の危機管理能力の醸成と、防災・防犯・交通安全など児童生徒を取り巻く学校安全の強化
- ★ 本町の地域特性や地域の人口構成などを勘案した、小規模特認校などの町独自の教育の推進
- ★ すべての児童生徒に平等な教育環境を提供するための、小・中学校の望ましい教育環境の検討

## 2 令和8年度 指導室の事業内容

### ◆学校訪問関係

訪問種類	回数	ねらいと実施内容
計画訪問・ ステップアップ訪問	年1回	○町内各小中学校の教育水準の向上 ○管理職・省令主任等との懇談、授業参観、研究協議 他 ○若手教職員の授業力の向上 ○授業参観、研究協議
要請訪問	学校の要請	○各校の研究及び教育関係団体の要請に応じた指導助言
生徒指導 学校訪問	学期1回程度	○問題行動、不登校等が心配される児童生徒についての協議 ○授業参観、研究協議
日本語支援訪問	年1回	○授業参観、研究協議

### ◆主な事業

事業名	主な内容
町教育委員会・町教育研究会指定研究校	R7年度朝日中R8年度阿見小を指定
スクールカウンセラー配置事業	県スクールカウンセラー配置のない学校へ配置
小学校専科教員配置事業	町独自で小学校専科教員を配置
中学生海外派遣事業	姉妹都市や友好都市での文化・習慣等の交流
平和記念式典派遣事業	平和教育、広島のパラリンピックに参列

### ◆現職教育研究・研修会

研修会名	日時	対象者	主な内容
教頭研修会	年11回	教頭	○実務研修、校内指導体制確立の方策
教務主任研修会	年11回	教務主任	○教育課程の進行状況と課題への対応
生徒指導主事研修会	年5回	生徒指導主事	○生徒指導に関する情報交換と研究協議 ○いじめ・不登校等問題行動対策
学校教育教科領域指導員研修会	年1回	教科領域指導員	○指導員としての指導に関する研修 ○指導上の問題点（昨年度の反省と課題）
初任者研修会	年1回	新採教員	○教員としての資質向上、町内巡見への参加
特別支援教育コーディネーター会議	年6回	特別支援学級担当者	○特別支援学級教育課程編成の確認 ○個別の指導計画、自立活動に関する研修
町教育論文	年1回	全教職員	○研究意欲の高揚、教育の進展、学校教育の充実
「やすらぎの園」 検討委員会	毎月	センター指導員、 SSW、SC 他	○教育相談センター「やすらぎの園」に通所する児童生徒の対応や家庭や学校との連携の在り方についての協議

# 阿見町教育相談センター運営概要

## 1 施設の目的

- (1) 阿見町内の児童生徒で不登校の児童生徒に適応指導の場を設け、集団活動等を通して自立心や適応力を養い、学校生活への復帰援助と共に一人で生きていける力を養う。
- (2) 学校生活で悩みをもつ児童生徒及びその保護者並びに学級担任などから悩みの相談を受け、児童生徒の健全育成に寄与する。

## 2 運営の基本理念

現在の児童生徒の状況から、教育の重点施策の一つに「不登校支援」を挙げている。不登校のケースの原因や背景は多様であり、過保護・過干渉、虐待・ネグレクト、貧困等の家庭に起因するもの、友人関係や教師との人間関係の悩み、学力不足等がある。また、これらの要因が複雑に絡み合っていることが多い。そして、無理に登校を促すと、これがプレッシャーになってさらに悪化する場合もある。

したがって、教育相談センター、特に、適応指導教室「やすらぎの園」に於いては、まずは「遊ぶ」「食べる」「学習する」という活動を同年代の人と交わりながら行い、生きる気力を高めて自立心や学校への適応性を育てるような援助指導の方法を基本とする。

このように「やすらぎの園」では、町内各小中学校と連絡を密にしながら、児童生徒が本当にのびのびと羽を広げ、ホッと安心できる「心の居場所」になることにより、生活力を高め、規則正しい生活を送り、登校できるようになることを目標に運営にあたっている。

## 3 相談から適応指導教室への通級までの流れ

- (1) 保護者からの相談の場合  
①保護者からの相談 → ②保護者・本人との面談 → ③学校との情報交換 →  
④検討委員会 → ⑤保護者・本人との面談 → ⑥学校からの入所手続き → ⑦通級
- (2) 学校からの相談の場合  
学校と対応を検討した後、(1)の流れによる。

## 4 適応指導教室「やすらぎの園」

- (1) 毎週月曜日～金曜日（小・中学校の登校日に準ずる）、午前9時～午後3時
- (2) 通所方法は自由（小学生は原則保護者送迎）

## 5 相談事業

- (1) 毎週月曜日～金曜日、午前9時～午後3時
- (2) 相談方法
  - ①電話相談 ☎ 888 - 1225
  - ②来所相談 教育相談センター（〒300-0333 阿見町大字若栗 1838-24、町図書館脇）  
へ直接来所

# 令和8年度 阿見小学校 グランドデザイン

## 茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

## 学校教育目標

豊かな心と健やかな身体をもち  
確かな学力を身に付けた児童の育成

## 阿見町教育理念

学びあい 支えあい  
心を育む人づくり

## 阿見町教育基本方針

- 子供も教師も元気の学校

## めざす児童像

- やさしく  
自分も相手も大切にする児童
- かしこく  
自ら学び自ら考える児童
- たくましく  
最後までがんばる元気な児童

## めざす学校像

- 明るく楽しい学校
- 夢のある学校
- 安全な学校

## スローガン

**子どもが主役! 魅力ある学校づくり!**

よく聴き 【傾聴・尊重・課題意識】  
よく考え 【比較・吟味・選択・決定】  
そして やってみる! 【試行錯誤・振り返り】

## めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 活力に満ちた教職員
- 指導力のある教職員
- 子供の気持ちを理解できる教職員
- 明るく積極的な教職員
- 学び続ける教職員

## 理解・信頼・共有・協働

## 学校経営方針

## 指導の4C 対応の4S

- 1 学びに向かい、自ら学ぶ力の育成と学び合い・支え合い・高め合う集団づくり
- 2 質の高い教育を実現する環境づくり  
 人的環境 : 教育は「人なり」「学び続けること」「自らを高めること」による資質・能力の向上  
 物的環境 : 変化と多様性への対応 「令和の日本型学校教育」「教育DX・生成AI」への取組  
 地域家庭環境 : 地域に開かれ地域とともにある学校 学校運営協議会との連携協力
- 3 持続可能な指導・運営体制を構築する働きやすい職場づくり  
 自分磨きを可能にする働き方の推進 一人一人を大切にできる充実感のある雰囲気醸成

## 組織目標

認め合い、支え合い、互いの成長を目指して学び続ける児童の育成

### 豊かな心プラン

- 自己肯定感の育成  
よさを認め生かす経営の充実  
所属感もてる集団づくり
- 自己有用感の育成  
共感的な人間関係づくり  
子どもが主語となる活動の工夫
- 自己指導能力の育成  
適切に考え、判断し、行動できる態度の育成  
自己決定の場 支え見守る体制

#### 【数値目標】

- ・自己肯定感の向上 90%
- ・自己有用感の向上 90%
- ・自己指導能力の向上 90%
- ・笑顔で生活 90%
- ・自らあいさつ 90%
- ・楽しい関わり 90%

### 確かな学力プラン

- 学びに向かう態度の育成  
実態把握と課題設定の工夫  
ゴールの明確化
- 自ら学ぶ力の育成  
知識技能の定着・表現力を育む  
既習事項・知識経験からの追究
- 「阿見小スタイル」の充実  
関わり・つながり・協働的学び  
探求的な学びの推進  
個別最適化を図る場の工夫

#### 【数値目標】

- ・阿見小スタイルの実践100%
- ・授業の満足度 90%
- ・授業中の主体的態度 85%
- ・探究的な学習活動 90%
- ・学習内容の定着 80%
- ・自主学習への取組 80%

### 健やかな身体づくりプラン

- 体力向上・運動習慣の確立  
「楽しく学ぶ」体育授業の改善  
授業・休み時間の運動量の確保
- 食育・健康教育の推進  
計画的な指導・支援の継続  
健康への自己管理能力の育成
- 健康な心身の醸成  
SOSの出し方に関する指導  
生命の安全教育の積極的推進  
保護者の理解促進と相互連携

#### 【数値目標】

- ・運動量の確保の工夫 95%
- ・体カテストA+B 40%
- ・早寝 早起き 朝ご飯 100%
- ・SOSの出し方理解100%
- ・生命の安全教育実施100%
- ・健康安全を意識 100%

### 特別支援教育プラン

- 一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場の充実
- 通常学級における合理的配慮および支援の拡充
- 家庭地域における特別支援教育への理解促進
- ユニバーサルデザインによる学習環境の整備

- 【数値目標】
- ・安心 安全に生活 85%
  - ・生活や学習の流れがわかる 90%
  - ・適切な学びの場の実施 90%

### ウェルビーイングプラン

- 働きがいと働きやすさの実現をめざす組織的取組
- 教育DX・ICTの有効活用による業務の効率化
- 一人で抱え込まない体制作り(相談・協働)
- 自分磨きと3C(Chance Challenge Change)

- 【数値目標】
- ・ワークライフバランスを意識100%
  - ・相談できる人 場所がある 100%
  - ・業務を効率化を図っている 90%

### コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

- 地域人材・各種団体等との情報・行動連携による「学校運営協議会」の設置と運営
- 学校及び地域の課題の認識と共有 共通の目標・ビジョンによる児童の育成「熟議・協働・マネジメント」

令和8年4月導入



# 令和8年度 阿見町立本郷小学校グランドデザイン

## 本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう  
 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う  
 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

## 本校の教育目標

自ら学び 明るくたくましく  
 行動する児童の育成



## 阿見町教育振興基本計画<第2次>

基本理念『学びあい 支えあい 心を育む人づくり』  
 基本方向  
 1 確かな学びを育む 2 豊かな心と健やかな体を育む  
 3 時代の変化に対応する能力を育む  
 4 多様な連携で町の教育力を高める  
 5 安全で安心して学べる教育環境を創る

## 目指す学校像

- 子どもの良さや可能性を引き出す 活力ある学校
- 安心して学べる魅力ある学校
- 信頼され愛される学校

## ～本郷っ子～

本気でやります 何ごとも  
 ごめんなさいの ひとことを  
 うちのてつだい 自分から  
 つらいときにも 励ましあって  
 こころきれいな 本郷っ子

## 目指す教師像

- 豊かな人間性と高い使命感をもつ教師
- 子どもに寄り添うことのできる教師
- 自ら学び続け、実践的専門性を高める 教師
- 協働し、学び合い、高め合う教師

## 学校経営方針 できなかつたことができるようになる学校づくり

### 学校組織目標

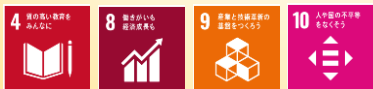
- 認め合い、支え合う集団づくりを通して、一人一人の自己有用感を育む。
- 自ら考えをもち、根拠をもって自分の言葉で伝え合う力を育てる。

## スローガン 『笑顔いっぱい 幸せいっぱい 本郷小学校』

### 「知」学びの大切さ

自ら学ぼうとする気持ちを育てます

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現
  - 本郷小授業スタンダードの展開
  - \*授業が分かる・楽しい80%以上
  - 相手意識のある交流活動(アウトプット)
  - \*進んで自分の考えを表現できると実感 80%以上
  - 専科・教科担任による専門指導
  - 読書活動の推進
  - \*4～6年：年50冊達成65%以上(R7:64.8%)
  - \*1～3年：年50冊達成85%以上(R7:83.3%)
- ②個に応じた指導や主体的に学ぶための指導方法の工夫改善
  - ユニバーサルデザインによる授業展開
  - 振り返りの場の設定
  - \*算数学習の振り返り80%以上
  - ICT機器や学習者用デジタル教科書等の有効活用
  - 自分学習(自主学習)の習慣化
  - \*3年以上 週4日取組率75%以上
- ③本物に触れ、感性を磨く機会の創出
  - 地域の教育資源の活用
  - 日本の伝統文化の体験



### 「徳」友だちの大切さ

思いやりの心を育てます

- ①基本的な生活習慣の確立
  - 朝のあいさつの励行
  - \*あいさつを返している75%以上
  - 時間を大切にしている指導の徹底
- ②自己有用感を育てる学年・学級経営の充実
  - 全ての児童に成功体験
  - 全ての児童に他者から認められる体験
  - \*学校が楽しい児童80%以上 (R7:91.3%)
  - \*よいところを認められた85%以上(R7:84%)
  - 学校生活アンケート
  - 人権教育の推進
  - 性的マイノリティへの理解・実践
- ③道徳教育・特別活動の充実
  - 本音で語り合い、自分の考えを深められる授業の工夫
  - 係活動の活性化
  - 児童主体の集会活動・縦割り活動の実施
  - \*縦割り清掃の年間実施(R7:一時的試行)
- ④体験活動の充実
  - 勤労・奉仕活動の充実
  - 異学年集団(縦割り班)活動の工夫
  - \*役割の達成感高学年85%以上(R7:81%)



### 「体」命の大切さ

元気な心と体を育てます

- ①「楽しい体力づくり」の実践
  - 運動量を確保した体育授業の工夫
  - 外遊び、業間運動の工夫
  - 達成感・成就感を味わわせる工夫
  - 体力テストの活用
  - \*体力テストA+B 45%以上(R7:36.8%)
- ②健康教育の充実
  - 早寝・早起き・朝ごはんの習慣づくり
  - \*毎日朝食を食べている93%以上 (R7:91.1%)
  - 保健指導の充実
  - 食に関する指導の充実
  - 家庭と連携した指導(健康手帳)
- ③児童の危機回避能力の育成
  - 引き渡し訓練の実施
  - 交通安全教室・防犯教室の計画的実施
  - 情報モラルに関する指導
  - 安全パトロールの実施
  - \*年間計画に沿った実施100%(R7:100%)



## 保護者・地域から信頼される学校づくり ～ 地域とともにある持続可能な学校運営 ～

- 情報発信と学校公開による開かれた学校づくり \*学校だより発行(毎月) \*HPの更新(週1回)
  - 教職員の資質向上とコンプライアンスの徹底 ● 誠実で迅速な対応の実践
  - コミュニティ・スクールを核とした地域との協働 \*学校運営協議会の熟議を通じた実践1つ
- 【地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第47条の5)に基づく「学校運営協議会制度」】
- ・保護者・地域と目標や課題を共有し、学校運営に参画する体制を構築する。
  - ・地域人材や資源を活用した教育活動を推進し、社会に開かれた教育課程の実現を図る。
  - ・学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たしながら、協働して子供たちを育てる体制を確立する。
- 働き方改革の推進による持続可能な学校運営 \*月の超過在校等時間が80時間以上の職員0人(R7:達成)



# 令和8年度 阿見町立君原小学校 グランドデザイン

本県教育の目標  
ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

【本校の教育目標】  
自ら伸びようとする子どもの育成  
—共に 楽しく たくましく—

阿見町教育の基本理念  
学びあい 支えあい  
心を育む人づくり

【めざす学校の姿】  
自分らしく輝ける学校 誰にも優しい学校 地域とともにある学校

【めざす子どもの姿】  
<よい顔> 明るくあいさつする子  
<よい汗> すすんで運動する子  
<よい学び> 自ら学ぶ子

【めざす教師の姿】

- 使命感をもって、教育にあたることができる教師
- 子どもの多様性を理解し、一人一人に寄り添うことができる教師
- 子どもの実態や社会の変化を的確に捉え、学びに生かす教師
- 授業改善に向け検証と研修を重ね、実践的専門性を高める教師
- 学校教育目標の具現化に資することができる教師

【組織目標】 ○ 自ら考え、深め、表現できる児童の育成  
○ よさや頑張りを認め合い、自己有用感を高める活動の充実

スローガン： みんな「笑顔」・新たな「挑戦」・周りの人に「感謝」

## 豊かな心の育成

- ◇地域の特性を生かした体験活動による地域を知る、愛する心の育成
  - ・芸能 ひよっとこ
  - ・栽培 米や地域の特産物
  - ・竹林整備による残渣の資源化
- ◇心の居場所となる学級経営の実現
- ◇活躍の場と互いに認め合う場の設定
- ◇教育相談の充実とチーム支援の確立
- ◇人権感覚を育むための適切な言語環境づくりを目指す読書活動の推進

【数値目標】

- ・学校が楽しい 90%
- ・自分はみんなの役に立てている 80%
- ・周りの人に感謝できた 90%

## 確かな学力の育成

- ◇授業スタイル「きみはらスタンダード」の実践
  - ・課題提示の工夫
  - ・10のユニバーサルデザインの授業行為の実践
  - ・適用練習15分、振り返り5分の確保
- ◇一人一人の学びに合わせた指導の個別化と学習の個性化の確立
  - ・授業改善を「学習者の視点」と「授業者の視点」から図る
- ◇専属ALTと外国語専科を生かした外国語によるコミュニケーションの充実

【数値目標】

- ・授業がよく分かる 90%
- ・自分の考えを表現できた 90%
- ・自校の授業スタイルを常に意識し、実践する教師 100%

## 健やかな体の育成

- ◇AI スマートコーチを導入した体育の授業展開
- ◇地域と連携した魅力ある体育的行事の実践
- ◇交通ルールなど、日々の危機管理意識の高揚
- ◇自己管理能力を高めるための指導
- ◇食育、健康教育の充実
- ◇望ましい生活習慣の確立のための家庭との協働

【数値目標】

- ・外遊びや体育的行事に積極的に参加している 90%
- ・早寝 早起き 朝ご飯 90%
- ・交通ルールを守る 100%

## コミュニティ・スクール【学校運営協議会】の推進

- ・地域の特性を生かした体験活動の充実
- ・地域とともにある学校としての情報発信や学校公開
- ・学校運営協議会における熟議

## 働き方改革の推進

- ・例年通りからの脱却(ねらいと実態を踏まえて)
- ・日課表の工夫等による時間の創出
- ・ウェルビーイングの追究

小規模特認校として、一人一人の児童を大切に、特性を発揮できるよう努めます。



# 令和8年度 阿見町立舟島小学校 グランドデザイン

やさしい子 たくましい子 かしこい子

## 本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

## めざす児童像

- ・**大きく態度を身に付け「やってみよう」と自ら進んで学ぶ子**
- ・得意なことをもっと「やってみよう」とがんばる子
- ・苦手や困難なことにも「やってみよう」と挑戦できる子
- ・自分のために「やってみよう」
- ・思いやりの心を持ち、人のため、学校のために「やってみよう」と尽力できる子
- ・感謝の気持ちを表現できる子

## 学校教育目標

互いに認め合い適切に依存し合って、自分の力で立ち上がり進むふなっ子の育成

## 学校経営の理念

【ひとりひとりが笑顔になる学校】

- ◎特色ある教育活動「NIEを通して伝え合う力」の育成
- ◎キーワード「じりつ」～自分の力で立ち上がり進む  
自分の改善点を直し良いところを伸ばす 適切に依存し合う
- ◎合言葉「やってみよう」 失敗を恐れず何でも挑戦  
人のために学校のために動く

組織目標 【やってみよう】と挑戦できる環境・学習の機会をしかけ、

児童の自己肯定感を高める

教職員のしかけが児童のハレの場となり、児童が「じりつ」に向かう学校づくり

## 阿見町学校教育目標

生きる力を育む  
教育の推進

## 学校教育指導方針

- 子どもも教師も元気の学校・子どもも教師も伸びる学校
- 授業スタンダード推進

## めざす教師像

- ・子供と信頼関係が構築できる教師
- ・使命感と誇りをもち常に学び続ける教師
- ・指導力と実践力のある教師
- ・コンプライアンス意識が高い教師

## 【研究テーマ】

### 児童の伝え合う力を育む授業づくり

～NIEによる自分の考えを表現する活動を通して～

## 【かしこさ】プロジェクト

研究主任・特別支援CN・国語主任・図書館主任・教育課程

### ★ミッション 大きく態度・自ら学ぶ力を育む

- 1 「阿見町の授業スタンダード」の充実（課題提示の工夫、学習内容の振り返り・適用練習時間の定着）
- 2 新聞を教材とした授業実践（NIE）（自分の考えをもち、伝え合う力の育成）（思考力・判断力・表現力の育成）
- 3 ぐんぐんテストの実施 月第2水曜日【漢字】第4水曜日【計算】（基礎的・基本的な知識及び技能の定着・学びの楽しさの実感）
- 4 UDの視点による全員参加の授業づくり（授業・教室環境等UDの構造化、ユニバーサルデザイン授業10の原則の実施）

### ☆評価

- ①児童アンケート「授業がわかる」(93.8%→95%) 保護者アンケート「子どもは授業を理解している」(82.9%→85%)
- ②NIE (Newspaper in Education) を活用した伝え合う場の設定 (週1回以上)
- ③ぐんぐんテスト合格 100%
- ④授業改善研修の実施「ユニバーサルデザインについての研修の実施（学期1回以上）、授業力向上研修（年5回）

## 【やさしさ】プロジェクト

生徒指導主事・道徳主任・特別活動主任・人権福祉主任

### ★ミッション

感謝を表現 豊かな心を育む

- 1 所属感・自己有用感が感じられる学校経営の充実（登校班レク・ありがとうタイムの実施・不登校児童への支援）
- 2 係活動・委員会・児童会活動における自治的活動の推進（話し合い活動・児童会による児童集会・黙働清掃BGM）
- 3 あいさつの励行（挨拶のキャッチボール 挨拶のSST（コグトレ） 挨拶振り返り放送）

### ☆評価

- ①児童アンケート「学校が楽しい」(90%→94%)
- ②登校班レクの計画的な実施（月1回）
- ③話し合い活動の月間テーマを設定と計画的な実施（月1回）
- ④児童アンケート「明るいあいさつができる」90%

## じりつ

## 【たくましさ】プロジェクト

保健主事・体育主任・食育給食主任・環境体育・清掃

### ★ミッション 健やかなからだを育む

- 1 命を大切に、より良い自分をつくる指導の充実（自己管理能力の育成）・外部講師を招いた命の授業の実施
- 2 自分を守る力の育成（自己防衛能力の育成）各種避難訓練、教職員研修の実施
- 3 外遊びの奨励（課題解決型のクラス遊び・業間体育の実施）異学年交流やクラス遊び・業間休み遊び・雨の日の体育館使用の実施
- 4 目標をもち基礎体力を高める（個別伸長型プログラムの実施）体育各種目での自己評価カード（体力テスト得点分布表の可視化）

### ☆評価

- ①命の授業の実施（年間1回以上）
- ②「各種安全教室（薬物・交通安全・情報）・避難訓練の実施」（学期1回以上）
- ③児童アンケート実施「体を動かして遊ぶことが好き」(82%→90%)
- ④体力テストA+B (42%→50%)

## 「コミュニティー・スクール（チーム舟島小）」プロジェクト

### ★ミッション：地域とともにある学校づくり

保護者・地域

- 1 地域人材・各種団体等との情報・行動連携との連携による「学校運営協議会」の実施
- 2 舟島応援団を活用した体験活動の充実

### ☆評価

- ① 学校評価「学校では保護者・地域とともに育む学校づくりに努めていますか」(87.7%→90%)
- ② 舟島小応援団活用(50回以上)

### 教職員

- 1 プロジェクトチームによる校内業務の工夫(RPDCA サイクルを機能させたプロジェクト会議との定期開催 ICTの活用による校務の効率化)
- 2 「3ない運動+2」を徹底するコンプライアンス推進委員によるボトムアップ型研修

### ☆評価

- ① 学校評価「困ったときに学校の先生に相談しやすい」(68.2%→80%)
- ② 学校事故「ゼロ」



# 令和8年度 阿見町立阿見第一小学校グランドデザイン

## 茨城県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

## 学校教育目標

### 笑顔と活気(やる気)にあふれる学校

『笑顔で登校 満足して下校』

## 阿見町教育振興基本計画・教育理念

学び合い 支えあい  
心を育む人づくり  
阿見町教育目標  
生きる力を育む教育の推進  
阿見町学校教育指導方針  
子どもも教師も元気な学校  
子どもも教師も伸びる学校

### めざす学校像

- ・「わかった」「できた」が飛び交う学校
- ・「認め合い・信頼」でつながれた学校
- ・「安心・安全」に包まれた学校
- ・教師が働く喜びを感じる学校

### めざす児童像

- あ：あいさつが自然にできる子
- み：みんなを思いやる子
- い：今、一瞬を大切にできる子
- ち：力強く生き抜く子

### めざす教師像

- ・愛情をもって子供に寄り添う教師
- ・明るく専門職としての力量がある教師
- ・互いに高め合う教師

## 組織目標

- 「わかった」「できた」を実感できる授業づくり
- 認め合い 支え合い 高め合う学級づくり
- 働き方改革を踏まえた、働きがいを高める職場づくり

## 確かな学力の育成

### ◇協働的に学び合う授業づくり

- ・対話することで、考えを広め・深める学習展開の工夫
- ・自ら学ぶ力を育成する探究的に学ぶ指導方法の工夫
- ・学力の定着を確かなものとする適応練習や振り返りの時間の確保
- ・一部教科担任制の導入
- ・学習規律の徹底



## 豊かな心の育成

### ◇一人一人が認められ、生かされる学年・学級経営

- ・活躍の場を与え、自己有用感を高める学級経営（働き者の育成）
- ・互いのよさを認め合い、支え合い、高め合う学級経営（寛容な心の育成）
- ・あいさつや返事などの礼節を重んじる学級経営（社会性の育成）
- ・目的を明確にし、児童が考え行動する児童会活動・学校行事（活力の醸成）
- ・自分のこととして「考え、議論する」道徳授業（道徳的実践意欲の育成）



## 健やかな体の育成

### ◇自ら体を鍛え、粘り強く頑張る子を育む健康教育

- ・安全教育・防災教育の充実（危機回避能力・自己管理能力の育成）
- ・目標に向かって取り組める体育授業
- ・保健教育の充実（基本的生活習慣・衛生習慣の確立）
- ・体力テスト結果の分析と活用
- ・交通ルールやマナーの継続的指導



## 共に学び高め合う教師集団

- ・研究テーマ「探究的な学びを通して、自ら学ぶ力を身に付けることのできる児童の育成」
- ・授業力の向上に努める授業研究、OJT研修の推進
- ・充実した教育活動に注力するための働き方改革の推進

## 特色ある学校づくり

- ・学校運営協議会の推進
- ・地域の人材を生かした学校づくりの展開（秋まつり、読み聞かせ、おやじクラブによる体験活動）



# 令和8年度 阿見町立阿見第二小学校 グランドデザイン

やさしく  
かしこく  
たくましく

## 本県教育の目標

ひとりひとりの能力を  
開発し 豊かな人間性  
をつちかう

じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う

郷土を愛し協力しあう  
心を育てる

## 【本校の教育目標】

主体的に学び 心やさしくたくましい児童を育てる

## 【学校経営のテーマ】

児童・教師・保護者・地域が互いに信頼し合える学校づくり

○教職員がチームとなって、子どもの学びと育ちを支援できる学校づくり

○教職員・保護者・地域が子どもたちのために思いを語り、協働できる学校づくり

## 【めざす学校像】

「子どもも先生も元気で活力ある学校」「子供の居場所となる学校」

## 阿見町教育の基本理念

学びあい 支えあい  
心を育む人づくり

- 確かな学びを育む
- 豊かな心と健やかな体を育む
- 時代の変化に対応する能力を育む
- 多様な連携でまちの教育力を高める
- 安全で安心して学べる教育環境を創る

## 児童

## 元気・やる気・思いやり

## 教職員

- ㊦ あいさつは自分から元気よく
- ㊧ 耳を傾け、話をしっかりと聞く
- ㊨ だまって掃除を黙々と
- ㊩ いつもチャレンジ
- ㊪ にこにこ言葉でみんな笑顔

## 【組織目標】

- 探究的な学びを通して、「わかった・できた」「もっとやりたい」が実感できる授業
- 児童に活躍の場をつくり、認め合うことで自己有用感を育む教育活動の充実

- ☆活力に満ち、笑顔で子どもたちと接することができる
- ☆子どもたちとともに学び、成長できる(教師の資質向上)
- ☆子どもたちのことを本気で考え、他の教職員と協働できる
- ☆子どもたちの「思い」や「多様性」を大切にできる
- ☆働き方や学校運営について、改革意識をもち、実践できる

## やさしく【かかわりの中で】

## かしこく【楽しい授業づくり】

## たくましく【伸びよう鍛えよう】

- 温かい人間関係を基盤とした学級づくり
  - ・認め合い、励まし合い、支え合うことで自己有用感を育む学級経営
- 居場所づくりと絆づくりへの支援
- 人権意識の高揚(自分も他の人も大切にす。個性を大切にす。)
- いじめの未然防止と早期発見、不登校解消を目指した児童支援
- 特別活動(学校行事、委員会活動、係活動、縦割班活動)の工夫・充実(主体性の育成)
- 黙勤清掃の継続指導

## 【数値目標】

・学校生活は楽しい	90%
・自分から進んであいさつができる	94%
・にこにこ言葉を使うことができる	92%
・学校には自分の居場所がある	90%
・自分みんなの役に立っている	80%
・自分や周りの人を大切にす	92%

- 主体的・対話的で深い学びを実現するための指導過程の工夫と改善
- ・阿見町授業スタンダードの自校化
- ・探究的な学びの充実(課題の発見、試行錯誤、アウトプット、まとめ、振り返り)
- ・ICT機器の効果的活用
- 自分の考えを伝え合う活動の日常化
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 読書活動の推進、学校図書館の積極的活用
- 家庭学習の意欲付けと習慣化

## 【数値目標】

・授業が楽しい	90%
・授業で「わかった・できた」「もっとやりたい」が実感できる	90%
・進んで自分の考えを伝え合う	88%
・進んで読書をする	86%
・目標をもって家庭学習に取り組んだ	85%

- 基本的生活習慣の確立
  - ・早寝 早起き 朝ご飯の奨励 立腰教育
- メディア活用のルールづくり(家庭内で)
- 学校内外での安全な生活の確保
  - ・養護教諭や外部講師による専門的指導
- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
- 体力づくりの推進
  - ・運動量を確保した体育授業の充実
  - ・休み時間の外遊びの奨励
- OSOS の出し方に関する指導

## 【数値目標】

・早寝 早起き 朝ご飯	85%
・立腰を心がけた生活	80%
・家ではルールを決めてメディアを使用している	90%
・安全な登下校を心がけた	98%
・体力テストA+B	70%
・困ったときに相談できる	95%

## 家庭・地域との連携・協働による地域とともにある学校づくり



- コミュニティ・スクール【学校運営協議会】の推進
  - ・保護者や地域の方への感謝の心【ありがとうの会】
  - ・児童と地域の方がともに活動する機会の充実
  - ・地域の人材活用、学習支援を積極的に推進
- 特別支援教育の充実
- 教職員のコンプライアンス意識の向上
- 例年通りからの脱却(ねらいを踏まえた上での実践)
- 幼児教育と小学校教育の円滑な接続(保幼小の連携)



児童が通いたくなる 保護者が通わせたい 地域が支えたい 学校を目指して



**茨城県学校教育指導方針**  
すべての子どもの可能性を  
引き出す活力ある学校づくり

**阿見町学校教育指導の方針**  
子どもも教師も元気な学校  
子どもも教師も伸びる学校

**本校の教育目標**  
安全で、笑顔あふれる、元気な学校

協働 明朗 元気

## 学校像

- できないことができるようになる学校
- 自分の良さを伸ばせる学校
- 安全で安心できる学校

## 児童像

- 皆と共に進んで学習する子
- 明るく思いやりのある子
- 元気でたくましく、がんばれる子

## 教師像

- 人間性豊かで子どもに寄り添える教師
- 明るく健康で指導力のある教師
- 資質・能力の向上に努める教師

スローガン： ひたむきに 陽光さんさん

## 確かな学力の育成

- 「あさひスタイル」の確立
  - ・「阿見町の授業スタンダード」  
「探究的な学び」の推進
  - ・個別最適化を図る場の工夫
- 「学びに向かう態度」の育成
  - ・多様な活動ときめ細やかな指導

## 心の教育の充実

- 「自己指導能力」の育成
  - ・時と場に応じて適切に考え、  
判断し、行動できる態度の育成
  - ・自己決定の場の位置づけ
  - ・教え、支え、見守る体制づくり
- 「自己有用感」の育成
  - ・共感的な人間関係づくり
  - ・児童が主語となる活動の工夫

## 健康・安全教育の充実

- 「基本的生活習慣」の確立
  - ・早寝・早起き・朝ごはんの指導
  - ・健康安全への自己管理能力の育成
- 「健康な心身」の醸成
  - ・アレルギー、感染症対策の徹底
  - ・SOSの出し方に関する指導
  - ・生命の安全教育の推進

### 【数値目標】

・あさひスタイルの実践	100%
・授業中の主体的な態度	90%
・授業の満足度	90%
・読書量 年間50冊以上	90%
・家庭学習への取組	90%

### 【数値目標】

・自己指導能力の向上	90%
・自己有用感の向上	90%
・自らあいさつをする姿勢	90%
・自己決定の場の位置づけ	80%
・教育相談体制の充実	100%

### 【数値目標】

・早寝 早起き 朝ごはん定着	100%
・体力テスト(A+B)	40%
・SOSの出し方の理解	100%
・生命の安全教育の実施	100%
・アレルギー、感染症対策	100%

組織目標： 認め合い、支え合い、学び続ける児童の育成

## コミュニティ・スクールの充実

- ・地域に開かれ、地域と共にある学校づくり
- ・積極的な情報発信
- ・関係諸機関との連携協力

## 質の高い教育を実現する環境づくり

- ・「自分磨き」による資質能力の向上と高め合う集団づくり
- ・「令和の日本型学校教育」  
「教育DX・生成AI」への取組

## 働き方改革の推進

- ・ウェルビーイングの実現
- ・「働きがい」「自分磨き」を可能にする働き方の推進

# 令和8年度 阿見町立阿見中学校グランドデザイン

【本県の教育目標】  
ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

本校の教育目標  
**心豊かでやる気に満ちた  
実力のある生徒を育てる**

【阿見町の教育方針基本理念】  
「学びあい 支えあい  
心を育む人づくり」  
【阿見町の学校教育目標】  
「生きる力を育む  
教育の推進」



## 校訓【勤勉 至誠 剛健】



- 目指す生徒像
- 1 自ら学び、自ら考える、意欲のある生徒
  - 2 心豊かで気品のある生徒
  - 3 礼儀正しく、親切で思いやりのある生徒
  - 4 郷土を愛し、自分に誇りをもつ生徒
  - 5 心身共に健康でたくましい生徒



【令和8年度スローガン】



**SHINKAから飛躍への第1歩**  
～挑戦し続ける 阿見中プライド～

### 経営の基盤となる学校観

- 学校は、生徒、教職員の誰もが幸せだと実感できる「温かい学校」でなければならない。
- 中学校は、生徒一人一人が「なりたい自分」に向かって、さらなる高みを目指すところである。

### 経営の基盤となる教師観

- 一人一人の良さを見い出し、伸ばすことが教師の使命である。
  - 教師は、生徒一人一人の成長を喜びとして感じることができる。
- 飛躍の為の【3つの気】の充実(キーワード)  
「やる気」「本気」「根気」  
まずは、やってみる 全力で 最後まで

#### 組織目標

- 課題解決的な学習を通して、自ら考え、判断し、表現する力を高める。
- 生徒主体の活動を活性化させ、自己有用感、自己肯定感を高める。

#### 本年度の重点

- 「あったかタイム」を基盤とした、探究的な学びの展開
  - 生徒に任せる場面の創出による、自発的、自治的な活動の充実
  - 好ましい人間関係の醸成と豊かな心の育成
- 阿見中スタンダードを極める！

#### 勤勉(知育)

自らの夢や目的の実現に向けて、主体的に学ぶ態度や能力を育成する。

#### 至誠(徳育)

自他を尊重し、全体のために力を発揮しようとする心情や態度を育成する。

#### 剛健(体育)

生涯にわたって活力のある生活を営むための体力や自己管理能力を育成する。

### 具体的施策

- 1 阿見町の授業スタンダードの定着
    - ・「課題提示の工夫」「アウトプット」
    - ・「振り返り」の質的改善
    - ・「あったかタイム」「適用練習時間の確保
  - 2 1人1台端末(ICT)の効果的な活用等による探究的な学び、主体的・協働的な学びの充実
  - 3 単元内自由進度学習へのチャレンジ(学期1回)
- 【数値目標】
- 1 授業がわかりやすいと感じている生徒 **92%以上 (91.0)**
  - 2 授業には自分の意見や考えをもって取り組んでいる生徒 **90%以上 (87.5)**
  - 3 授業の振り返りを自分の言葉で記録している生徒 **85%以上 (83.9)**

- 1 生徒主体の自治的な活動を展開する。
    - ・生徒会や各種実行委員会、学年中央委員会における活動の充実
    - ・生徒運営主体の学校行事の推進
  - 2 学校スローガンや生徒会スローガンを柱とした活動の充実
    - ・「誰もがが幸せを実感できる学校づくり」「SHINKAから飛躍への第一歩」
  - 3 一人一人を大切に学級経営・学年経営の充実(絆と居場所づくり)
- 【数値目標】
- 1 生徒会や係の活動等に積極的に取り組んでいる生徒 **92%以上 (91.7)**
  - 2 阿見中の一員としての誇りをもって生活している生徒 **90%以上 (89.7)**
  - 3 Hyper Q-U調査学校生活満足度の割合 **60%以上**

- 1 生徒の思いを活かした、魅力ある体育的行事、部活動の充実に努める。
  - 2 養護教諭やSC、SSW、不登校対策指導員等を有効に活用した相談体制の充実に努める。
  - 3 健康・安全に関する教育の推進と実践
    - ・交通安全教室、薬物乱用防止教室、がん教育、性(いのち)に関する講演会の実施
    - ・SNSによるトラブル防止のための指導や生命の教育等を通して、自他の命を大切に心身の教育の充実
- 【数値目標】
- 1 学校や学年の行事にすすんで参加している生徒 **95%以上 (94.0)**
  - 2 悩みを相談できる教師がいる生徒 **90%以上 (87.8)**
  - 3 体力テスト(A+B)-(D+E) **50%以上 (60.77 - 12.86 = 47.91)**

※( )内は昨年度末の数値

☆働き方改革のさらなる進化(時間外在校時間:月45時間以内 年間360時間以内の達成をめざす)

☆地域とともにある学校づくりの推進(コミュニティ・スクールの確立へ向けて組織の編成等の実施)

＜校訓＞ 至誠 博愛 錬磨

＜茨城県教育目標＞  
ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

＜学校教育目標＞  
豊かな心を持ち、  
たくましく生きる生徒の育成

＜阿見町教育基本理念＞  
学びあい 支えあい  
心を育む人づくり  
「現在（いま）をみる  
未来をつくる」

＜目指す生徒像＞  
「知・徳・体」と「品性」を身に付けた生徒  
○自ら考え主体的に活動する生徒 ○自他を大切にし協働して活動する生徒  
○心身ともに健康で明るく前向きな生徒

**みんなが輝く朝日中**  
＜あいさつは心の架け橋＞  
組織目標  
○「楽しく学びのある授業」を通じて主体的・対話的に学ぶ生徒を育てる。  
○自他を大切に、適切な人間関係を築き、集団に貢献する生徒を育てる。  
○心身ともにたくましい生徒を育てる。  
○使命感と情熱に満ちた教師を育てる。

**確かな学力**

- ・「楽しく学びのある授業」の視点からの授業づくり
- ・校内研修の充実による授業力向上
- ・阿見町の授業スタンダードの推進
- ・ICTを有効活用した分かる授業の展開
- ・基礎基本の定着と家庭学習の習慣化

＜指標＞

授業に積極的に取り組む	90%
学習内容が理解できる	85%
進んで家庭学習に取り組む	80%
ICTを有効に活用している	95%

**豊かな心**

- ・「受容と共感」、「支援教育」を基本にした生徒と教職員の心のつながりづくり、信頼関係づくりの推進
- ・「考え、議論する道徳」の授業を核とした心の教育の推進
- ・規範意識、奉仕の精神、マナーの向上
- ・主体的活動を中心とした生徒会活動の推進
- ・Dルームを通じた心の居場所づくり

＜指標＞

人に優しくしている	95%
自他を大切にしている	95%
道徳の授業に前向きである	95%

**健やかな体**

- ・教育活動全体を通じた健康・安全に関する教育の推進（感染症対策の継続）
- ・運動・スポーツの習慣化が図れる体育の授業・体育的行事の工夫改善
- ・望ましい生活習慣の形成
- ・個に応じた対応及び支援の充実

＜指標＞

交通ルールを守る	100%
規則正しい生活をしている	90%
体育や運動に前向きである	95%
物事に粘り強く取組んでいる	90%

**環境整備**

○よりよい教育環境づくりに努める。

- ・働き方改革推進委員会を中心とした更なる働き方の改善・推進
- ・安全管理体制の確立
- ・校内施設、設備の点検整備
- ・学習環境の整備
- ・環境教育の推進

＜指標＞

清掃活動に積極的に取り組む	95%
安全な環境作りをしている	100%
教室等の学習環境が整っている	100%
タスクマネジメントを進めている	90%

**研修**

○研修テーマ『主体的・対話的に学ぶ生徒の育成』～確かな学力の向上を図る～

＜令和8年度の重点＞

- 学習課題設定の工夫
- 生徒の主体的な課題設定と問題解決
- 対話的な学び
- ICT機器の適切な使用

＜指標＞

阿見町授業Sの有効実践	90%
ICTを有効に活用している	95%

**連携**

○家庭・地域社会・関係機関との連携を図り、開かれた学校づくりに努める。

- ・「受容と共感」を礎にした相手の立場に立った寄り添った対応
- ・各便りHP等による積極的な情報の発信
- ・家庭、地域社会、関係機関等との連携

＜指標＞

○便りやHPで学校の様子を伝えている	95%
◇教員や学校は相談しやすい	100%
☆地域の方に挨拶ができる	90%
★保護者や地域の声に丁寧に対応している	100%

「受容」と「共感」  
相手（生徒・保護者・地域・同僚）の立場に立った寄り添った対応

**信頼される学校**  
～「朝日中でよかった」と思えるように～

- 「わかる・できる・楽しい授業」が実践される学校
- 達成感ある行事、充実感ある部活動が実践される学校
- 信頼できる人間関係づくりが実践される学校

**支援的教育の推進**  
個性・特性への理解  
寄り添った関わり

**信頼される教師**  
～「先生と出会えてよかった」と思えるように～

- 人間性豊かで、高い使命感をもった教師
- 生徒に寄り添い、多様性が理解できる教師
- 生徒の実態や社会変化を捉えた授業改善ができる教師
- 高い道徳心と法令遵守意識をもつ教師



# 令和8年度 阿見町立竹来中学校グランドデザイン

《茨城県の教育目標》

＜校訓＞ 自主・創造・協和

《阿見町の教育基本理念》

ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う

郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

すべての子どもの可能性を引き出す  
活力ある学校づくりを目指して

学びあい支えあい心を育む人づくり  
○確かな学びを育む  
○豊かな心と健やかな体を育む  
○時代の変化に対応する能力を育む  
○多様な連携でまちの教育力を高める  
○安全で安心して学べる教育環境を創る

＜本校の教育目標＞  
主体的でたくましい  
心豊かな生徒の育成

## ＜目指す生徒像＞

- 正しく 【真】
- たくましく 【健】
- 美しく 【美】

## ＜学校経営の重点＞

- 安全・安心な学校づくり
- 心の居場所となる学校づくり
- 学ぶ楽しさを体感できる授業づくり
- 自己研鑽の時間の確保

## ＜目指す学校像＞

- 一人一人が大切にされる学校
- 安全で楽しく充実した学校
- 地域とともに歩む学校



継承 と 進化  
～さらにTAKAKU 至高の領域を目指して～



## 正しく 【真】

自ら学び、確かな学力のある生徒

- 1 「阿見町の授業スタンダード」の推進(課題提示の工夫・振り返りの充実)
- 2 問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実
- 3 学習のねらいに応じたICTの効果的な活用

【数値目標】( )は前年度実績

- ・「学校が楽しい」 90% (87%)
- ・「授業がわかる」 90% (86%)
- ・「授業が楽しい」 85% (78%)
- ・「自主的な家庭学習」 85% (75%)

## たくましく 【健】

自分を見つめ、自らを高めようとする生徒

- 1 学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実
- 2 健康・安全に関する自己管理能力の育成
- 3 自他の生命尊重を基盤とした安全教育の推進

【数値目標】( )は前年度実績

- ・「体力向上に向けて努力できた」 85% (83%)
- ・「交通ルールが守れた」 100% (98%)
- ・「自分の体や命を大切にできた」 100% (94%)
- ・「朝食を食べている」 95% (88%)

## 美しく 【美】

自分を律し、他を思いやって行動できる生徒

- 1 よりよい人間関係を築き、安心して学び合える集団の育成
- 2 互いのよさを認めあい、自分のよさを発揮できる学級・学校づくり
- 3 「考え、議論する」道徳教育の質的充実

【数値目標】( )は前年度実績

- ・「地域の方へのあいさつ」 95% (90%)
- ・「心を磨く黙働の実践」 95% (92%)
- ・「心で聴く3Sの実践」 95% (91%)
- ・「気働きを心がけた行動」 95% (91%)
- ・「友達の良さを認めた行動」 95% (94%)

<p>研究主題</p> <p>「主体的、対話的に学ぶ生徒の育成」</p> <p>～確かな学力の向上を図るための校内研修の在り方～</p> <p style="text-align: right;">阿見町立朝日中学校</p>
--

1 主題設定の理由 ～なぜ、「校内研修の在り方」なのか～

- 本校職員の実態から（表1、表2参照）
- 「学力向上＝授業力向上」という視点から  
授業づくりと集団づくりの一体化  
（茨城県学校教育指導方針に準じる）

表1 本校職員の経験年数から

形成期（1～5年）	50%
成長期（6～11年）	10%
発展・充実期（12～23年）	20%
貢献・深化期（24年以上）	20%

2 研究の方向性

- 令和5年度 研究準備開始
- 令和6、7年度 稲敷郡・阿見町教育研究会委嘱研究
- 研修のスタイル
  - ・スキルとニーズに合わせた重層的なブロック研修
  - ・ボトムアップによる主体的、対話的な研修
  - ・学力向上と学級経営の一体化（特別支援、生徒始動の視点を含む）

表2 本校職員の経験値から

本校で新規採用・講師等	57%
小学校から初めて中学校に異動	13%
他の中学校からの異動	30%

3 基本的な考え方

「学力向上と学級経営の一体化」～学級経営がうまくいけば学力は向上する～

- 学力向上の視点（授業づくり）
  - ・学習課題設定の工夫
  - ・生徒の主体的な課題設定と問題解決
  - ・対話的な学び
  - ・ICT機器の適切な使用
- 学級経営の視点（集団づくり）
  - ・居心地の良い関係づくり
  - ・道徳教育の充実
  - ・ユニバーサルデザイン
  - ・合理的配慮とインクルーシブ教育
  - ・教育相談

4 研究組織

- 各研究部（研究推進部 授業研究部 特別支援教育研究部 調査研究部 環境構成部）
- 経験別ブロック（分類は茨城県学校教育指導方針に準じる）

分 類		求められる資質
若 手	（形成期1～5年）	授業力向上・生徒理解の向上
	（成長期6～11年）	教科・教職の専門性の向上
中 堅	（発展・充実期12～23年）	校務分掌の企画調整・若手教員への支援
ベテラン	（貢献・深化期24年以上）	学校運営への貢献 若手・中堅教員への支援

5 主な研修計画（表3参照）

- 年間計画に「全体研修」「スキル別ブロック研修」を位置付ける。
- ニーズに合わせて、職員の要望により加除訂正していく。
- 運営委員会の裏の時間を活用し、新人研修「エルダー研修」を毎月実施する。

表3 主な研修計画（R7）

月	研修内容
4	「今年度の研修主題・研修計画について」
5	「評価の観点と評価基準」「学級経営」
6	「教育相談研修」「授業公開」（3年）
7	「主体的・対話的・協働的とは」
8	「生徒指導研修」「教育相談」
9	「特別活動」「若手実践発表」
10	「教科間研修」（研究発表会準備）
11	「授業公開（2年）＊研究発表会」
12	「若手実践発表」
1	「授業公開」（1年）
2	「今年度の評価と課題」
3	「次年度研修計画の作成」

6 各研究部の取組み

- 研究推進部（研修計画の企画立案と進行、連絡調整）
- 授業研究部（学習の決まり、授業づくり）
- 特別支援教育研究部  
（発達障害の理解と支援に関する研修、授業づくり）
- 調査研究部（アンケート調査の分析と評価）
- 環境構成部（校内環境の整備と情報発信）

7 主体的に学ぶ姿とは

- ・自らの学習状況の把握
- ・学習の進め方を試行錯誤して学習を調整しながら  
学ぼうとしている姿 →**学習調整力**

8 対話的に学ぶ姿とは

- 他者との対話
  - ・教師や他の生徒と関わり、課題を解決したり自己の考えを広げたり深めたりする活動
  - ・交流、ディスカッション、プレゼンテーション、協働制作など
- モノとの対話
  - ・資料や実験、教材の活用を通して課題を解決したり新たな気付きや発見をしたりする活動
  - ・実験、体験活動、先哲の教えなど
- 自分との対話
  - ・学習の振り返りを通して、考えを深めたり技能や知識を定着させたりする活動
  - ・既習事項の活用、振り返り、課題設定、自己評価など

9 確かな学力とは

知識や技能に加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけて自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの

10 授業づくりと集団づくり

＜授業づくり＞

- 主体的な学びに向けて・・・**阿見町授業スタンダードの徹底**
  - ・導入時の「課題設定の工夫と学習の見通し」
  - ・終末時の「振り返りの意識」「適用練習の時間の確保」
- 対話的な学びに向けて
  - ・「他者」「モノ」「自分」との対話的な活動
  - ・協働による解決に向けての取組み

＜集団づくり＞

- 学力向上と学級経営の一体化
  - ・「ルール」と「リレーション」 ・「経験的な指導」から「分析的な指導」へ
  - ・「野球型」から「サッカー型」へ

11 重層的なブロック研修

- スキルに応じた研修
  - ・同程度のスキル集団での研修 ・新人研修「エルダー研修」
- ニーズに応じた研修
  - ・年間計画に応じた研修 ・実態に合わせた研修

## 12 研究の成果

- 学力向上（県学力検査の結果から）・・・県の正答率に対して（R7年1月実施）  
3年生 + 32.8点 2年生 + 17.9点
- アンケートの分析から**成果と今後の課題**（質問紙自由記述をAI活用で分析）

### 1 「対話的な学び」を実践できている教師の傾向

- 生徒を信じて任せる姿勢
- 学びに対する哲学（＝自分ごとにさせる）
- (1) 目的意識をもった「問い」や活動設計がされている。  
単なる話し合いではなく、「答えのない問い」や「課題解決」「提案」「判断」などの思考を促す構造がある。
- (2) 学びのサイクルを意識している。  
発表・振り返り・再考などを含む「学びの流れ」が設計されている。
- (3) 安心して話せる場づくり・ルール設定を重視している。  
生徒が「ここまで分かった」「ここがわからない」と言える空気づくりができている。  
(自力解決の時間を確保、発問の量やタイミングを調整、グルーピングの工夫など)
- (4) 教師も対話の一員として関わっている。  
生徒と先生との対話機会も積極的に作り、問いに対して教師が呼び水となる発言を投げかけ、生徒の発言を拾って深める。
- (5) ICTや共有の仕組みをうまく活用している。  
Teamsのホワイトボード、電子黒板、共同編集ツールなどを通じて、意見の可視化や共有を行っている。
- (6) 他者に伝える・広げる経験を意図的に組み込んでいる。  
クラス内外に向けたプレゼン、ビデオ撮影、他学年への共有など、「伝えることで深まる」場面を用意している。

### 2 対話的な学びを実施することの難しさ（要素別）

#### (1) 教師側の要因

- ア 授業デザインの複雑さ。「何について、どう話すのか」「話し合い後にどうまとめるか」など、細かな設計が求められる。
- イ 経験・知識の不足  
特に「問いの立て方」や「対話の深め方」についての研修や共有が少ない。  
「自分自身が対話的な学びに不慣れ」「勉強不足」  
「“対話的な学び”という言葉が抽象的で、具体的にどう工夫がわからない」  
「講義型より教材研究が必要で、負担が大きい」  
(教師側も「手応えを持ってない」「対話が学びに繋がっているか不安」と感じており、研修や実践共有のニーズが明確に表れている。)
- ウ 時間管理の難しさ  
活発な対話ほど時間がかかるため、授業時間内に収めることが困難になる。  
(対話的な活動は時間が読みにくく、授業のリズムを崩す可能性への不安)

#### (2) 生徒側の要因

- ア 話すことへの不安や慣れのなさ  
特に正解志向が強いと「間違ったことを言いたくない」という意識が働きやすい。
- イ 対話スキルの差（話す力・聞く力・論理の組み立てに個人差がある。)
- ウ 他者との関係性の影響（クラス、班のメンバーの雰囲気）  
→ 対話の偏りや“話せない子”への配慮、生徒の多様性への対応

### (3) 学級・学校環境の要因

ア 対話を支える文化の不在

対話＝時間の浪費、というような風潮があると、教師も生徒も取り組みづらい。

イ 安全で開かれた学級文化がないと機能しにくく、その「土台づくり」も難しさの一因となっている。

### (4) 教室環境の制約（話しやすい席配置、ICT機器の使用制限など）

### (5) カリキュラムの圧迫感（学習内容の量が多く、対話に時間を割けない）

### (6) 文化的・心理的要因

ア 正解主義の文化（「間違えること＝悪」という価値観）

イ 一斉授業への慣れ（教師が一方向的に教えるスタイルが長く続いていると、対話的な学びが「異質」に感じられる。

## 3 解決に向けて（A Iからの提案）

### (1) 問いや活動の設計の難しさ（効果的な発問、課題の設定、目的を持った対話）

ア 「対話＝自由に話す」ではなく、目的と構造を持った対話をデザインする必要性

イ 対話的な学びは、「活動」ではなく「文化」。日々の授業の中で、少しずつ「聞き合う」「問い合う」文化を育てる。

ウ 教師自身が「対話的な学びのモデル」になれると理想的。たとえば生徒の問いに対して「いいね、その視点」などと受け止める力も大切。

### (2) 「正解志向」や表現へのためらい

ア 「正解を求めすぎて自由な思考や表現ができない」

「間違いを恐れて表現を躊躇する」

「自信がなく、黙ってしまう」

→ 対話的な学びには、“安全な場”と“自己肯定感”の支援が不可欠

イ 「話さない／話せない生徒」への配慮

→ 教師は全員を巻き込む設計の難しさを感じており、特に自信のない子の「場づくり」が課題

### (3) 「対話的な学び」への理解・経験不足の自覚

ア 対話的な学びについて勉強不足

・講義型より教材研究が必要でハードルが高い

・「対話的な学びとは何か」「どう評価すればよいのか」という理論的・実践的な不安

イ 時間・配慮・構造の面での課題

・時間内に授業が完結しない、管理が難しい、

・グループ分けや学級経営も含めて工夫が必要

→ 対話的な学びを日常的にやるには負担が大きという印象を持っている。

アンケートからは、対話的な学びに対して肯定的でありながらも、「どうすれば効果的にできるのかが分からない」という声が非常に多く見られる。

これは、「技術」としての授業デザイン力と、「文化」としての安心して話せる学級づくりの両面の育成が重要である。

難しさを感じている教師たちは、「生徒全員を巻き込み、学びにつなげる場の設計」に苦勞しており、またそのための理論的背景・実践例・成功体験が不足している状態にある。

## 13 今後の課題

- 発問、課題設定の技術
- 学級文化づくり
- 成功体験の蓄積と共有

## IV 学校給食

### 目 次

1	施設概要	44
2	機 構	44
3	運 営	45
4	学校給食費の事務取扱について	47

## 1 施設概要

- 1 名称 阿見町立学校給食センター
- 2 施設場所 阿見町大字阿見 5272 番地 (TEL 887-1430 FAX 887-1421)

### 3 施設設備

- (1) 昭和 47 年 9 月給食センター方式により給食開始
- ① 敷地面積 4,654 m<sup>2</sup>
  - ② 建物面積 706 m<sup>2</sup> (鉄骨平屋)
  - ③ 調理能力 5,000 食
- (2) 昭和 55 年 5 月 1 日現在 (施設増)
- ① 敷地面積 6,178 m<sup>2</sup> (内借地分 925 m<sup>2</sup>)
  - ② 建物面積 1,166 m<sup>2</sup> (鉄骨平屋)
  - ③ 調理能力 8,000 食
- (3) 平成 3 年 3 月 20 日現在 (施設増)
- ① 敷地面積 6,178 m<sup>2</sup> (内借地分 925 m<sup>2</sup>)
  - ② 建物面積 1,225 m<sup>2</sup> (鉄骨平屋)
  - ③ 調理能力 8,000 食
- (4) 平成 9 年 4 月 1 日現在 (施設増)
- ① 敷地面積 6,178 m<sup>2</sup> (内借地分 925 m<sup>2</sup>)
  - ② 建物面積 1,225 m<sup>2</sup> (鉄骨平屋)
  - ③ 調理能力 8,000 食
- (5) 平成 25 年 3 月 29 日 (施設改築竣工) (平成 25 年 8 月 19 日稼働)
- ① 敷地面積 7,486 m<sup>2</sup>
  - ② 建物面積 1 階 2,115 m<sup>2</sup> 2 階 776.8 m<sup>2</sup>
  - ③ ボイラー能力 都市ガス及び蒸気ボイラー 2t/h×2 台
  - ④ 調理能力 5,000 食

## 2 機構

### 1 設置及び運営に関する条例等

- (1) 阿見町立学校給食センターの設置、管理及び運営に関する条例
- (2) 阿見町立学校給食センター管理規則
- (3) 阿見町学校給食費事務取扱規則 (以下「町取扱規則」)

### 2 阿見町立学校給食センター運営委員会

運営委員会の委員は 22 名以内をもって組織し、教育委員会が任命または委嘱する (委員の任期は 2 年)。

### 3 運 営

#### 1 令和8年度 当初予算

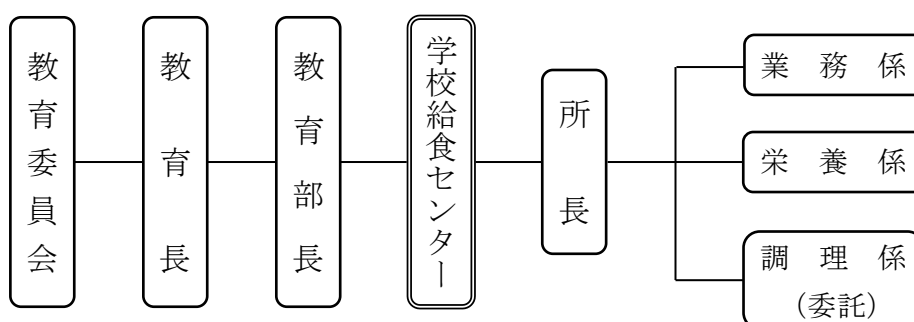
歳入予算

区 分	予算額(千円)	説 明	
教育使用料	36	駐車場使用料	
教育費県補助金	143,514	給食費負担軽減交付金	
教育費雑入	26,246	学校給食分担金（小学校分）	14,328
		学校給食分担金（中学校分）	11,400
		学校給食分担金（過年度分）	427
		廃食用油売上代金	10
		電気使用料	81
合 計	169,796		

歳出予算

区 分	予算額 (千円)	比率 %	説 明
職員給与関係経費	42,781	8.6	給料、職員手当等、共済費
給食センター運営費	372,690	75.2	報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金
給食センター維持管理費	80,464	16.2	需用費、役務費、委託料
合 計	495,935	100.0	

#### 2 学校給食センター運営組織図



### 3 給食形態

完全給食 小学校 7 校、中学校 3 校を実施

### 4 給食内容

#### (1) 完全給食 週 5 日制

2 献立制 (小、中学校別献立で実施)

給食内容

	月	火	水	木	金
小学校	米 飯	米 飯	めん・パン	米 飯	米 飯
中学校	米 飯	米 飯	めん・パン	米 飯	米 飯

#### (2) 供給予定日数

		期 間	日 数
学 期 別 内 訳	一 学 期	(小) 4 月 8 日 ~ 10 月 9 日	94 日
		(中) 4 月 8 日 ~ 10 月 9 日	95 日
	二 学 期	(小) 10 月 13 日 ~ 3 月 18 日	96 日
		(中) 10 月 13 日 ~ 3 月 18 日	96 日
学校給食日数			小学校 190 日
			中学校 191 日

#### (3) 「献立表」「給食だより」の配布

学校給食センターで作成し各家庭に配布。「献立表」で給食の献立内容を知らせるとともに、「給食だより」により栄養ニュース・食品紹介などを掲載し家庭の食生活改善にも努めている。

#### (4) 給食費の推移 (月額 円)

改正年月日	小学校	中学校	改正年月日	小学校	中学校
昭 47 年 9 月 1 日	1,200	1,500	昭 56 年 4 月 1 日	3,200	3,600
昭 49 年 4 月 1 日	1,990	2,350	昭 57 年 4 月 1 日	3,300	3,700
昭 50 年 4 月 1 日	2,250	2,650	平 元 年 4 月 1 日	3,400	3,810
昭 51 年 4 月 1 日	2,500	2,900	平 03 年 4 月 1 日	3,700	4,120
昭 52 年 4 月 1 日	2,700	3,100	平 09 年 4 月 1 日	3,900	4,320
昭 53 年 4 月 1 日	2,900	3,300	平 12 年 4 月 1 日	4,100	4,550
昭 55 年 4 月 1 日	3,100	3,500	令 08 年 4 月 1 日	4,700	5,200

※教職員等分は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日 (5,000 円) を除き中学校と同額

※令和 8 年度は、児童生徒分給食費を無償化

#### (5) 給食供給人数

令和 8 年 4 月

区 分	児童生徒数	職員数	計	前年度同月比較
小 学 校	2,534 人	253 人	2,787 人	3 人
中 学 校	1,188 人	118 人	1,306 人	43 人
計	3,722 人	371 人	4,093 人	46 人

## 4 学校給食費の事務取扱について

### 1 学校給食費徴収月額、年額及び1食当たりの基準額（町取扱規則第5条）

区 分	月 額	年 額	1食当たりの基準額
小学校児童	4,700 円	4,700 円×11 月分=51,700 円	260 円
中学校生徒・ 教職員等	5,200 円	5,200 円×11 月分=57,200 円	290 円

※令和8年度は、児童生徒分給食費を無償化

### 2 日割計算者及び計算方法、計算例

#### (1) 日割計算者

- ① 町取扱規則第5条第2項に規定する児童生徒・教職員等が該当（給食の提供を受けない日が5日以上（学校休業日を除く）継続するとき、勤務を要する日が週4日以下の教職員等、中学3年生の3月分など）
- ② 事前に給食停止届出書を学校給食センターに提出し、承諾を受ける必要あり（勤務を要する日が週4日以下の教職員等、中学3年生の3月分は除く）

#### (2) 計算方法

徴収額計算方法	1食当たりの基準額×給食提供日数=徴収額
---------	----------------------

#### (3) 計算例

転校等で5日間のみ給食の 提供を受けた場合	小学校児童	260 円×5 日=1,300 円
	中学校生徒・ 教職員等	290 円×5 日=1,450 円

※日割計算した額が月額を上回るときは、月額で徴収

※令和8年度は、児童生徒分給食費を無償化

## V 生涯学習

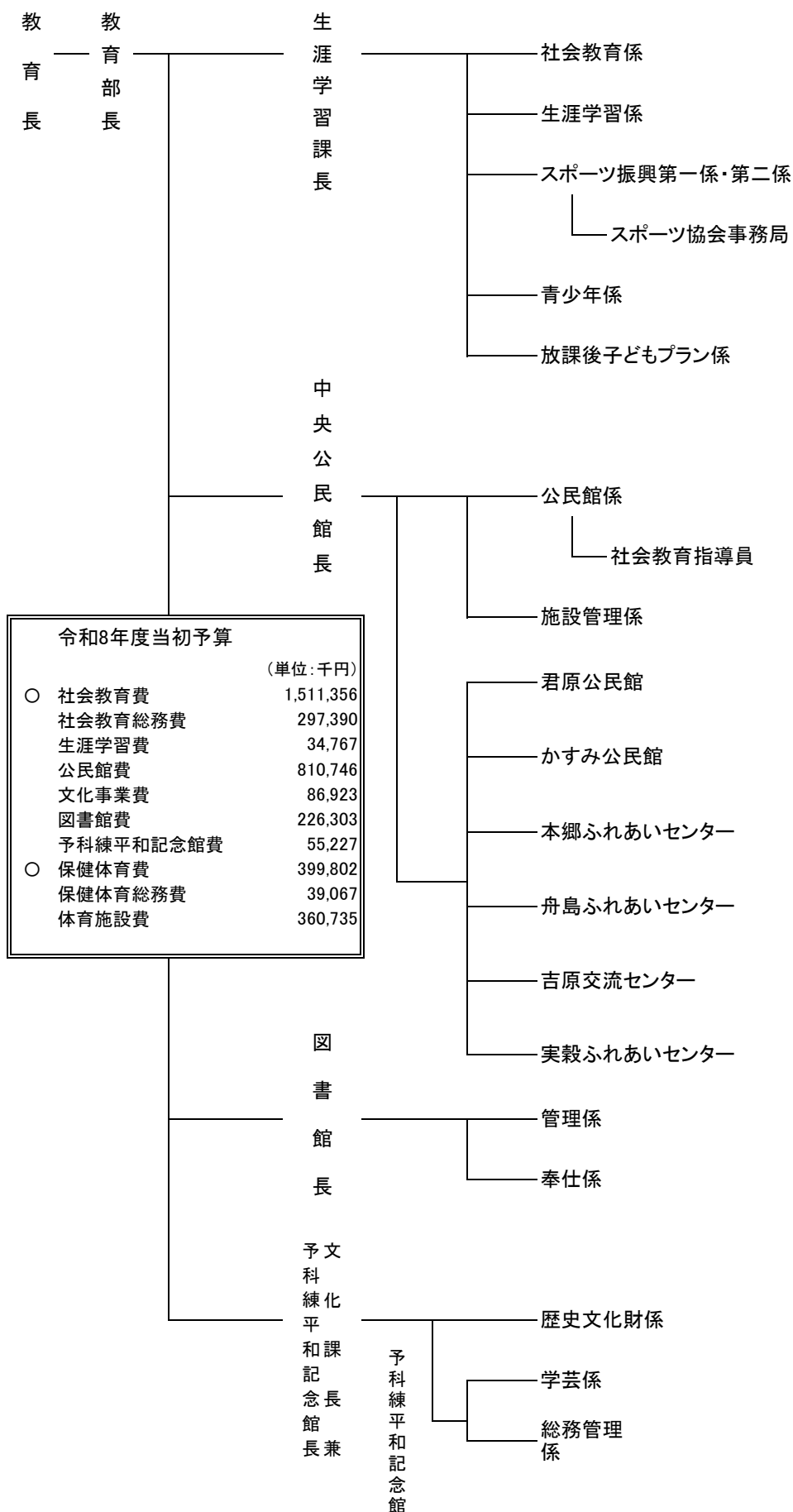
### 目 次

1	いきいき学びの町AMI宣言文	50
2	阿見町生涯学習推進計画	51
3	生涯学習推進体系	52
4	生涯学習推進の視点	53
5	生涯学習による「学びの町づくり」の進め方	54
6	公民館・コミュニティセンター	55
7	AMIふれあい地区館	57
8	図書館	61
9	予科練平和記念館	63
10	社会体育施設	72
11	文化財	76

◆ 社会教育行政組織と予算

(令和8年4月1日現在)

◎社会教育行政組織(生涯学習課・中央公民館・図書館・文化課)



令和8年度当初予算	
(単位:千円)	
○ 社会教育費	1,511,356
社会教育総務費	297,390
生涯学習費	34,767
公民館費	810,746
文化事業費	86,923
図書館費	226,303
予科練平和記念館費	55,227
○ 保健体育費	399,802
保健体育総務費	39,067
体育施設費	360,735

## 1 いきいき学びの町AMI宣言文

平成2年11月に、いきいき学びの町AMI推進会議の議決を経て、“いきいき学びの町AMI”を宣言しました。これは、本町が生涯学習による町づくりを目指して取り組むことを誓ったものです。

この宣言は、茨城県では最初、関東地方では2番目にあたり、住民・行政にとって、生涯学習による町づくり推進の大きな原動力となっています。

### “いきいき学びの町AMI”宣言

阿見町民は、人間らしい生き方を求めて、共に育む心で互いに学び合い、人と人とのふれあいを大切にし、奉仕の心と隣人愛をもって、生きがいのある生活を築くよう励みます。

ここに、「一人いち学習・いちスポーツ・いちボランティア」をモットーに、明るく生きがいのある生活の向上と、郷土阿見町の発展を願い、『いきいき学びの町AMI』を宣言します。

平成2年11月19日

阿見町生涯学習  
いきいき学びの町AMI推進会議

## 2 阿見町生涯学習推進計画

### ◆計画策定の目的

本町においては、「阿見町生涯学習推進計画後期基本計画(平成 30 年策定)」の計画期間終了に伴い、令和5年に新たに「第2次阿見町生涯学習推進計画」を策定しました。

「第2次阿見町生涯学習推進計画」は、「社会教育法」及び「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」に基づき、生涯学習の振興のための施策の推進体制及び地域における生涯学習に係る機会の整備を図る計画であり、本町において生涯学習を計画的・体系的に推進していくことを目的とします。

この計画の期間は、令和5年度から令和 15 年度までの 11 年間を見据えた「基本構想」と、令和5年度から6年間に取り組むべき施策を示す「前期基本計画」、令和 11 年度から5年間の「後期基本計画」となります。対象範囲は、本教育委員会の所管する施策・事業の他、全庁的な生涯学習の理念に基づき、本町の全施策・事業の中から生涯学習に係る施策・事業とします。

生涯学習課では、この計画の基本理念である「一人いち学習・いちスポーツ・いちボランティア ～ともに学び ともに築く 輝きのあるまち～」を基本として、いきいき学びの町を実現するための6つの基本目標に沿って各種施策・事業を推進します。

また、これまで一貫して取り組んできた「生涯学習によるまちづくり」、「町民主体の生涯学習」を原点としながら、町民・地域・行政がより深く豊かにつながり、一人一人の学びが相乗効果をもって町全体に広がっていくことをイメージし、「伝え合う」、「支え合う」、「高め合う」視点をもって生涯学習を推進していきます。

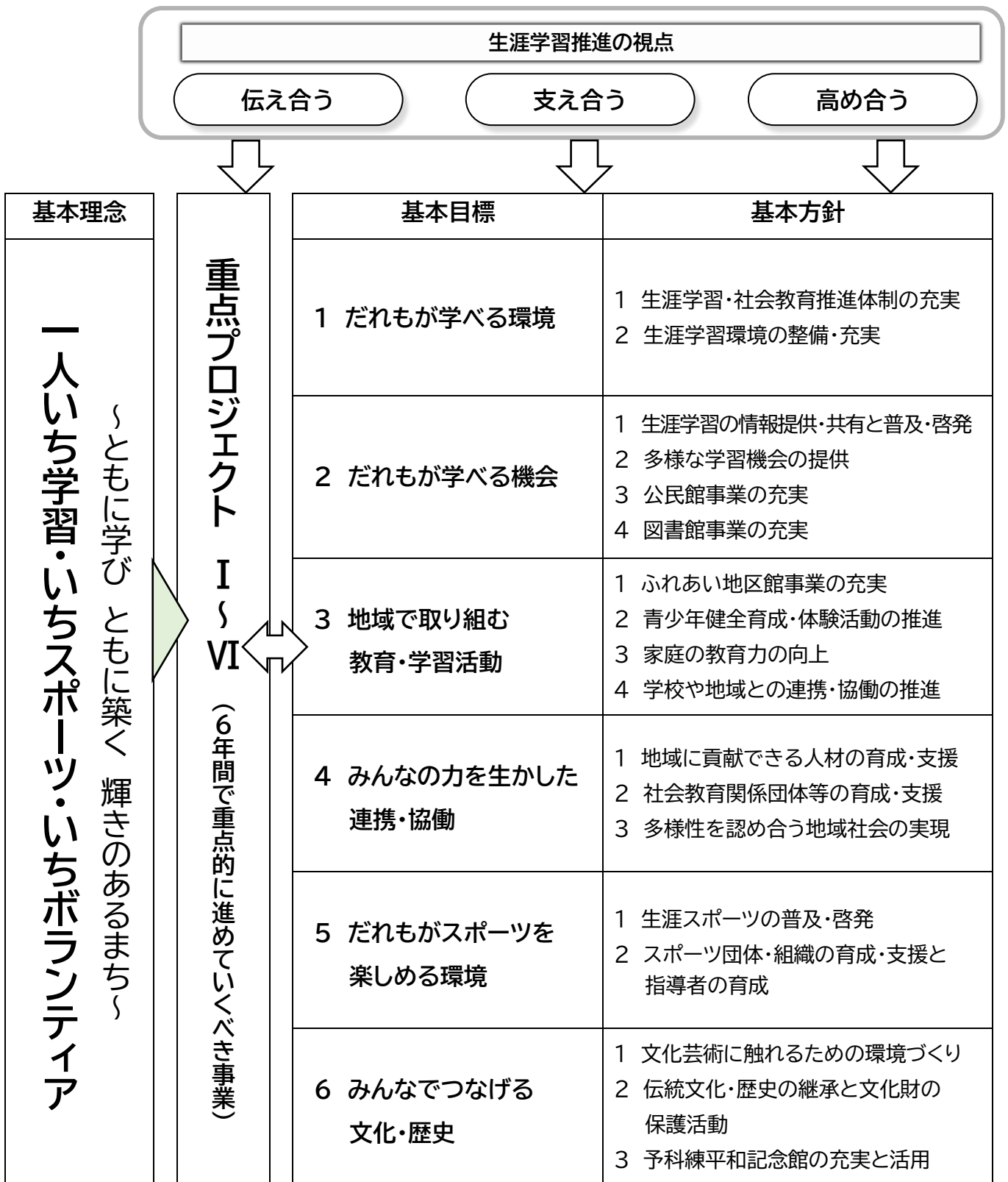
### ◎6つの基本目標

- ① だれもが学べる環境
- ② だれもが学べる機会
- ③ 地域で取り組む教育・学習活動
- ④ みんなの力を生かした連携・協働
- ⑤ だれもがスポーツを楽しめる環境
- ⑥ みんなでつなげる文化・歴史

### ◎計画の期間

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
第2次 阿見町 生涯学習 推進計画	基本構想 R 5 ～ R 15 (11 年間)										
	前期基本計画 R 5 ～ R 10 (6 年間)					後期基本計画 R 11 ～ R 15 (5 年間)					

### 3 生涯学習推進体系



## 4 生涯学習推進の視点

生涯学習の基本理念にのっとり「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる「いきいき学びの町」の実践と、その学びの成果を生かし、広げ、つなげていくにあたり、阿見町の抱える生涯学習の課題から「伝え合う」、「支え合う」、「高め合う」の3つの視点に立って生涯学習を推進します。

### 伝え合う

思いや経験・情報などをあらゆる方法・方向で  
伝える・伝え合う視点

町は町民の生涯学習活動に必要な情報を町ホームページやパンフレットなどあらゆる媒体で伝えます。また、学習の成果を発表する機会などを提供します。

町民はアンケートやメールなど様々な媒体を通して意見を町へ伝えます。また、自らの学習成果を発表し、活動の経験や学習で得た知識・技術をみんなに伝えます。

思いや情報などを互いに伝え合うことで、阿見町の生涯学習が推進されます。

### 支え合う

町民一人一人の潜在的な意欲を引き出し、  
支える・支え合う視点

町はだれもが参加してみたいくなるようなイベントや講座などを提供するとともに、町民の活動を支援します。

町民はふれあい地区館活動やコミュニティ・スクールの活動に参加するなど、持っている能力や学習で得た知識・技術を地域の生涯学習活動に役立てます。

互いに支え合うことで、阿見町の生涯学習が推進されます。

### 高め合う

豊かな人生と次代への貢献のため、いくつになっても  
自ら求め学習を高める・高め合う視点

町は多様化・高度化する町民ニーズに対応するため、イベントや講座、展示などの充実に努めます。

町民は豊かな人生を送るために学び続けるとともに、知識や経験を高めていき、次の世代へと繋げていきます。

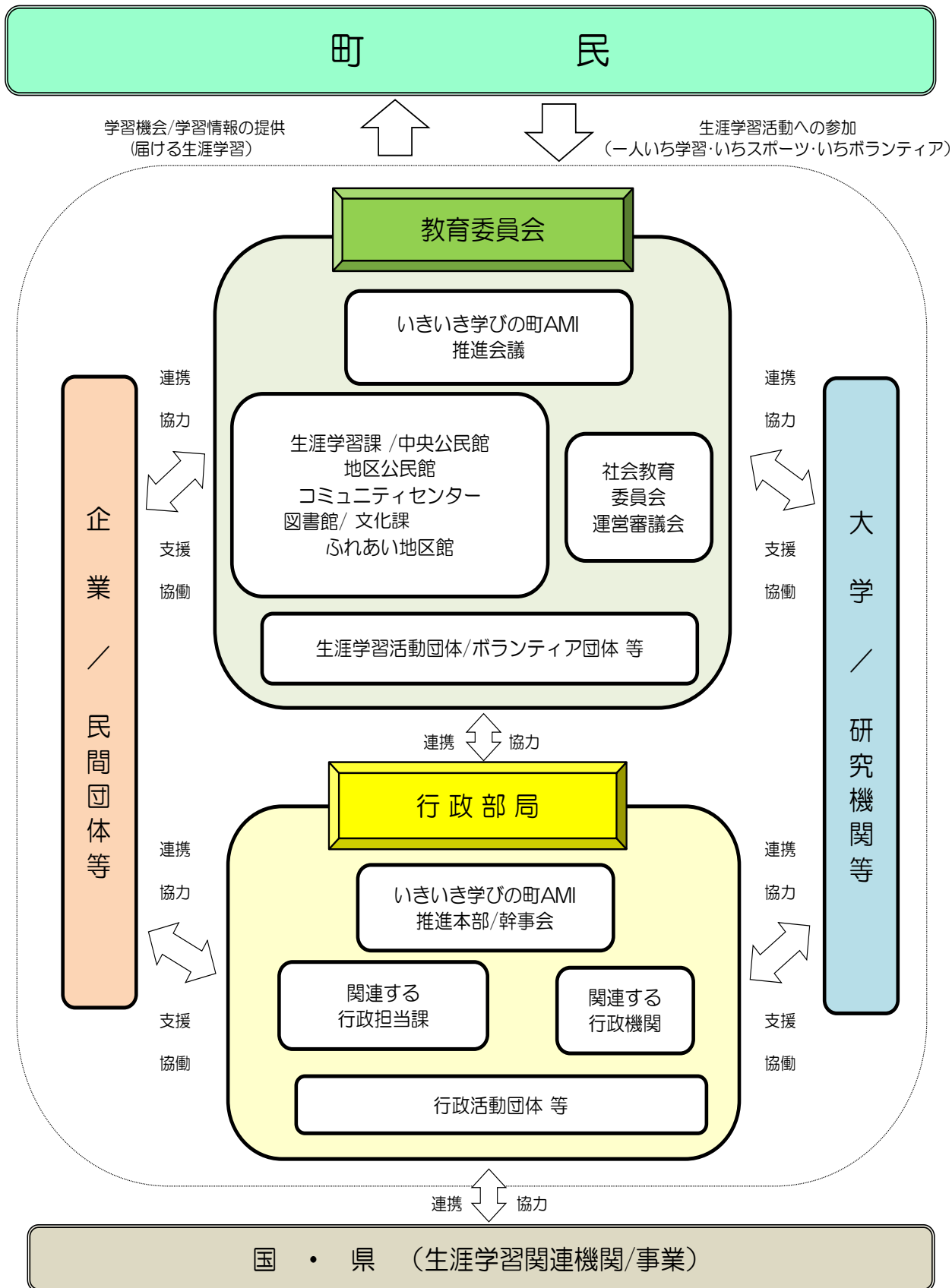
学びをより高め合うことで、阿見町の生涯学習が推進されます。

いつでも どこでも  
だれでも 学べる・参加できる

学びの成果を生かし  
広げる つなげる

## 5 生涯学習による「学びの町づくり」の進め方

### 推進組織体制図



## 6 公民館・コミュニティセンター

### ◆運営の方針

町民の継続的な生涯学習活動と交流活動を支援するため、中央公民館を中心とした7館体制を維持継続しながら、生涯学習の拠点として公民館・コミュニティセンター(以下、公民館等という。)事業の充実と、地域特性を生かし多様な町民ニーズに対応した講座・教室、フロアコンサート事業、学習成果を生かした展示・作品展の充実を目指します。

また、利用者の利便性向上のため、利用システムの見直しに努めるとともに、利用稼働率の向上を目指し、多様なニーズに対応した柔軟な運営を展開します。

### ◆役割

- ① 地域住民すべての日常生活向上のための学習や文化活動の場です。
- ② 人々の日常生活から生じる問題解決を助ける場です。
- ③ 他の関係施設・機関及び住民同士を結ぶ役割を担う場です。
- ④ 地域住民の人間関係を豊かにし、仲間づくりを行う場です。

### ◆具体的施策

- ① 誰もが利用しやすい公民館等にするため、管理規則について共通理解を図るとともに、施設の維持管理及び運営管理について、随時対応していきます。  
また、各地域のニーズや実態を把握し、公民館等の持つ機能の有効利用を図るとともに、地域に密着した運営を推進します。
- ② 公民館等を地域の情報の発信源や学びの拠点として有効に利活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。  
また、より利用しやすい施設を目指し、部屋の貸出し・予約、講座の受付について随時改善していくとともに、窓口サービスなどの充実を図っていきます。
- ③ 町民の意向を反映した講座を開催するとともに、相互に学習・発展し合える機会を提供することで仲間づくりを支援し、活動する場を提供していきます。そのため、公民館等において前期・後期の定期講座を引き続き開催するとともに、夏休みなどの機会を活用し、体験・創作などの形式で児童の興味や意欲を高める教室を開催します。
- ④ フロアコンサート実施のため、地域において活動している音楽愛好者の方々に、公民館等のホール及びロビー等を活用した発表の場を提供します。また、公民館等で活動している社会教育関係団体等が、日ごろの練習の成果を発表する場として阿見町音楽祭を開催します。
- ⑤ 公民館等で活動する社会教育関係団体や定期講座の受講生が、日ごろの活動の成果を発表する場として、活動拠点の公民館等を有効に活用し、ロビー等で作品の展示を積極的に促します。



名 称：阿見町立中央公民館  
住 所：阿見町若栗1886-1  
電 話：029-888-2526  
FAX：029-888-0032



名 称：阿見町立君原公民館  
住 所：阿見町塙171-2  
電 話：029-889-1363  
FAX：029-889-1662



名 称：阿見町立かすみ公民館  
住 所：阿見町阿見2083-2  
電 話：029-888-8111  
FAX：029-888-9161



名 称：阿見町立本郷ふれあいセンター  
住 所：阿見町本郷1-11-1  
電 話：029-830-5100  
FAX：029-830-5133



名 称：阿見町立舟島ふれあいセンター  
住 所：阿見町南平台1-31-6  
電 話：029-840-2761  
FAX：029-840-2762



名 称：阿見町立吉原交流センター  
住 所：阿見町吉原614  
電 話：029-889-0277  
FAX：029-889-0021



名 称：阿見町立実穀ふれあいセンター  
住 所：阿見町上長3-28  
電 話：029-886-5225  
FAX：029-889-8005

## 7 AMIふれあい地区館

「はじめに活動ありき、人、物、金は後からついてくる。前に道なし、後ろに道はできる。」という信念の元で「ふれあい地区館」事業が始まりました。

具体的には、

○地区単位に既存の施設である公会堂や集落センター等を町で借り上げて、それらを地域住民のための学習拠点とした。

○地区ごとに1名の社会教育指導員を配置し、指導・助言にあたる。

○主役は住民であり、住民による運営委員会を構成し、住民の手による運営を基本とした。

平成元年の12月に発案し、4か月の検討期間を経て翌年4月から「ふれあい地区館活動」を発足させました。まさに地域住民の学習機関としての学習、芸術文化、スポーツまでを含め、レクリエーション、伝統文化の継承、新しい文化の創造、生涯学習の情報提供や相談にいたるまで、住民のネットワークの拠点として、地域住民をコミュニティメンバーとして把握していくこととしたのです。

特定の人を対象とした学習機会になりがちな傾向から脱却し、5万人の住民すべてに学習機会を提供し、すそ野の拡大を図ろうとする“集める”から“届ける”生涯学習の実践が始まったのです。

### ◎ふれあい地区館活動

#### ○ねらい

1) 学習機会を増やすこと(学習機会の拡充)

「いつでも、どこでも、だれでも」参加できるような「届ける生涯学習」の体制を確立し、人々の学習参加を促進する

2) 生涯学習の一層の推進を図る(生涯学習活動の実践化)

人々が互いに学び、活動し合う場をつくり、生涯学習の実践を促す  
(ふれあい共育、生きがいや楽しみづくり、生活の充実等)

3) コミュニティ(地域共同社会)づくりを推進する(地域づくり)

学習成果を生かした社会参加の実現

### ◎ふれあい地区館の実践方法及び推進組織

#### (1) 実施方法

67行政区の集会施設に出向き活動を展開することを目指す。

また、地区ごとに社会教育指導員を1名ずつ配置する。

令和8年度地区館及び社会教育指導員

NO.	地区	社会教育指導員名	事務局の所在地	電話番号
1	阿見地区	千葉 芳 昭	中央公民館	(888)2526
2	実穀地区	磯 部 和 正	実穀ふれあいセンター	(886)5225
3	吉原地区	木次谷 光 晴	吉原交流センター	(889)0277
4	本郷・あさひ地区	長倉 恵 美 子	本郷ふれあいセンター	(830)5100
5	君原地区	櫻 井 久 夫	君原公民館	(889)1363
6	舟島地区	千葉 俊 子	舟島ふれあいセンター	(840)2761
7	阿見第一地区	大 原 稔	かすみ公民館	(888)8111
8	阿見第二地区	福 士 幸 子	かすみ公民館	(888)8111

## (2) 推進組織

### ① 推進委員

ふれあい事業の一層の普及と促進を図るために、各行政区から推進委員を選出する。

推進委員はおおむね、次の分野から選出する。

・高齢者の代表 ・女性の代表 ・成人の代表 ・青少年育成関係の代表 ・体育関係の代表

### ② 推進委員専門部会

地区館ごとに設置される専門部会に所属する推進委員で構成される。

ア)ふれあい地区館事業の企画立案に参画する。

イ)事業を主体的に運営する。

ウ)地域住民の参加を促す。

### ③ 運営委員

ふれあい地区館事業を推進していくために、運営委員を選出する。

運営委員はおおむね、次の分野から選出する。

・各行政区の代表 ・推進委員専門部会の代表 ・その他社会活動に熱心な方

### ④ 運営委員会

運営委員で構成され、ふれあい地区館事業の運営、ふれあいイベント等の企画検討、更に地域住民の参加を促す。

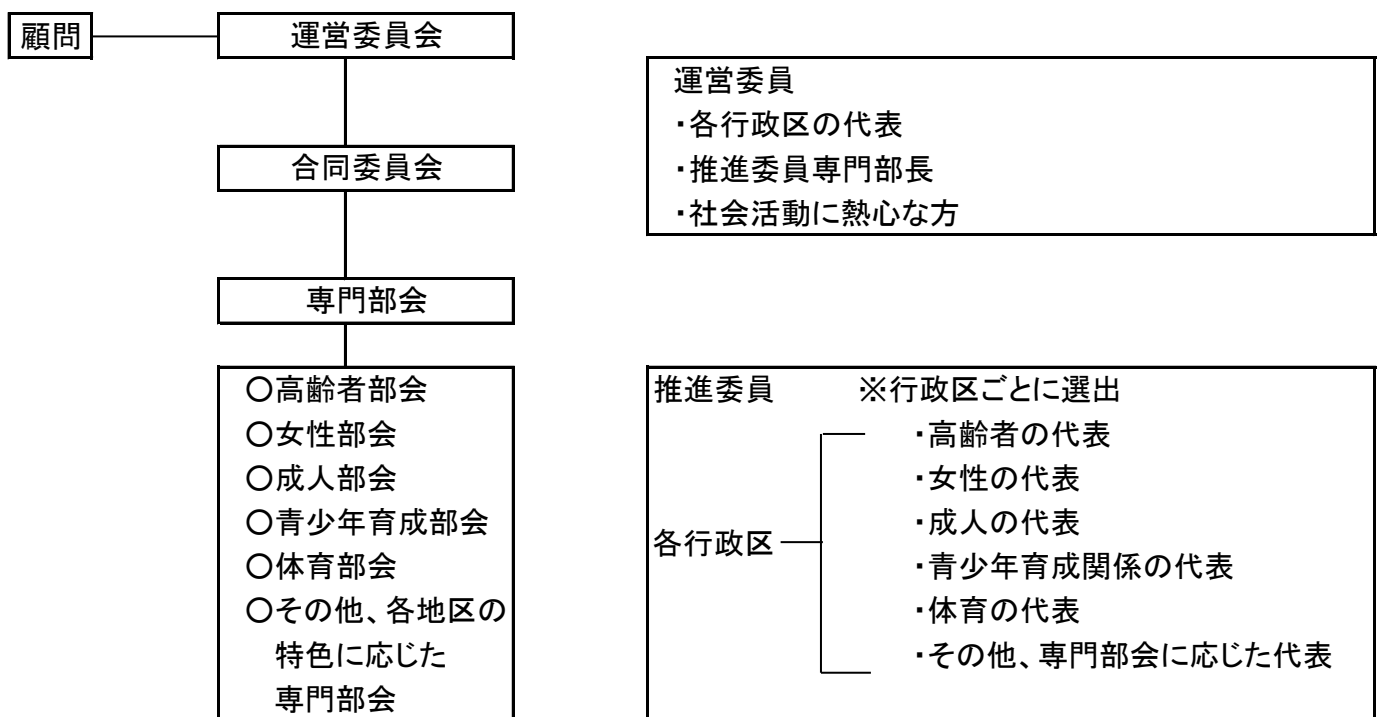
### ⑤ 合同委員会

運営委員と推進委員、顧問で構成され、各部会の連絡調整と、ふれあい地区館事業全体の企画検討をする。

### ⑥ 顧問

区長が顧問となり、ふれあい地区館事業全体の相談、協力にあずかる。

## 【ふれあい地区館事業の推進】



## ◎AMIふれあい地区館事業

### ○ふれあい地区館事業の内容

- ・高齢者を対象にした事業
- ・女性を対象にした事業
- ・成人を対象にした事業
- ・青少年を対象にした事業
- ・世代を超えた事業
- ・地区の特色に応じた事業
- ・単発事業(スポーツ大会等)
- ・同好会活動やサークル活動の支援
- ・共同カリキュラム
- ・社会参加の取組み(より良い地域社会をつくるため)

### ○具体的な学習内容

#### ① 学習プログラムの立案について

##### ア) ニーズや実態の把握

- ・地域の人たちの実態を把握する。  
(何に興味・関心が高いか。どんな方法で実施すれば、多くの人たちに参加してもらえるか等)
- ・地域の社会状況から考えて、地域の人たちに学習・参加してもらいたいものを把握する。

##### イ) 課題の設定

- ・地域の課題、地域住民の興味や関心、発展課題等を考え合わせ、「したいこと、やりたいこと」と「○○する必要のあること」を洗い出し、具体的に課題を設定する。

##### ウ) 学習プログラム立案の観点

- だれのためにー(対象)
- なにをめざしてー(ねらい)
- なにをー(内容)
- だれ(何)をとおしてー(講師等)
- なにを使ってー(教材等)
- どのようにー(展開)
- 能力として身についたか、役に立ったか、楽しかったか、学習者の満足度の向上、地域がどう変わったか等(評価)

上記のa～gを観点に、学習プログラムの企画が必要で実施にあたっては、“いつ、どこで”さらに“どのように知らせるか”等も大きなポイントになる。

## ◎学習課題と学習プログラム例

### ア) 高齢期の学習

- 健康の管理
  - ・食生活についての学習
  - ・体力維持についての学習
  - ・医療知識についての学習
- 体力の維持
  - ・スポーツやレクリエーション活動、トレーニング方法についての学習
- 生きがいづくり
  - ・趣味や教養についての学習
  - ・家庭関係についての学習
- 地域社会づくり
  - ・ボランティア活動への参加
  - ・伝統的な技能等の伝承
- 安全な生活
  - ・交通安全についての学習
  - ・消費生活についての学習
  - ・防犯や防災についての学習

イ) 女性の学習(成人期の学習と重複したものは除く)

- a. 女性の社会参加の促進
  - ・社会の変化についての学習
  - ・地域での女性の役割についての学習
- b. 女性のライフづくり
  - ・余暇の活用についての学習
  - ・地域コミュニティづくり

ウ) 成人期の学習(女性の学習も含む)

- a. 健康・体力づくり
  - ・スポーツやレクリエーション活動、新しいスポーツやレクリエーション活動の学習
  - ・健康づくり教室
  - ・健康管理についての学習
- b. 社会参加の促進
  - ・地域づくりについての参加
  - ・ボランティアについての学習
  - ・地域行事への参加
- c. 自己啓発の学習
  - ・地域の歴史等の学習
  - ・社会の変化についての学習
  - ・地域行事についての学習
- d. 高齢期への準備
  - ・社会参加の学習

エ) 青少年期の学習

- a. 健全な心身の育成と健康体力づくり
  - ・自然に親しむ学習
  - ・スポーツやレクリエーション活動
  - ・科学技術についての学習
  - ・交通安全についての学習
- b. 地域活動の促進
  - ・地域づくりへの参加
  - ・郷土の歴史や文化を理解するための学習
- c. 職業能力の育成
  - ・農林漁業等の後継者の学習
- d. 芸術・文化活動への参加
  - ・芸術芸能等の伝承活動
  - ・芸術や文化の創作活動
  - ・映画会
- e. 国際交流の促進
  - ・外国人との交流

オ) 世代を超えた学習

- a. 健康・体力づくり
  - ・各種スポーツやレクリエーション活動
  - ・健康づくりイベント等の開催
  - ・食生活についての学習
- b. 芸術・文化活動への参加
  - ・ふれあい地区館まつり等のイベントの開催
  - ・活動成果(講座や同好会)の発表会
- c. 地域の生活環境づくり
  - ・緑化や花づくり活動
- d. 賢い消費者づくり
  - ・消費者の意識啓発学習
  - ・安全食品についての学習
- e. 安全意識の啓発
  - ・交通安全教室
  - ・防犯や防災についての学習
- f. 国際交流の推進
  - ・外国文化についての学習(世界の料理や世界の遊び等)
  - ・在町外国人との交流(スポーツやお祭り等)
- g. 三世代交流の推進
  - ・三世代交流輪投げ大会等イベントの開催

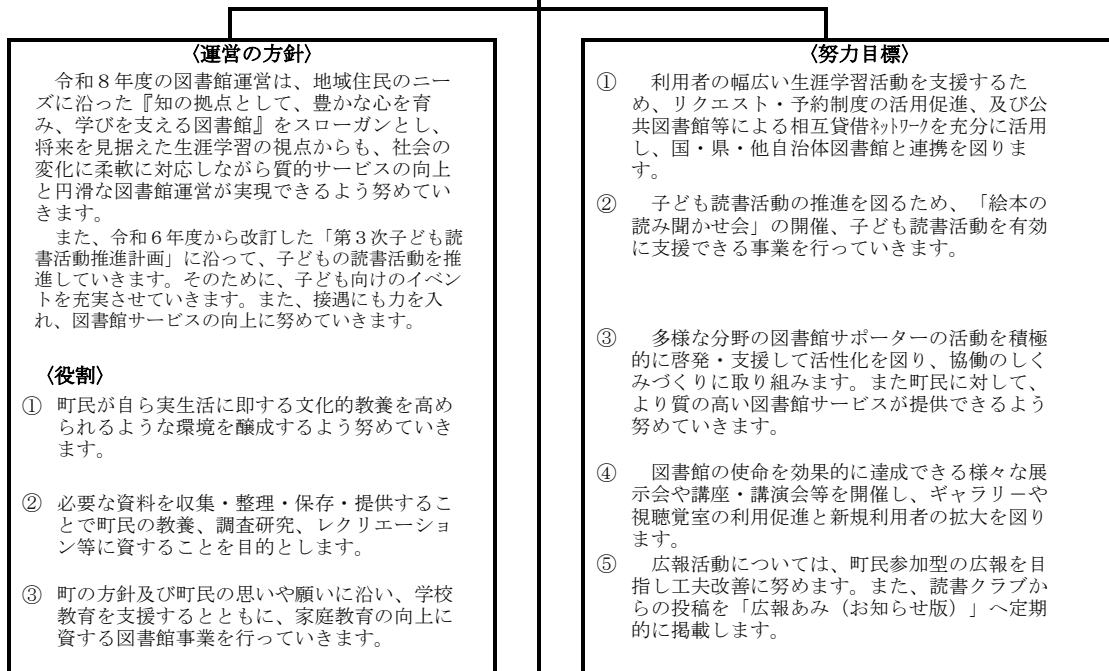
カ) 子どもの学びの場づくりの推進

## 8 図書館

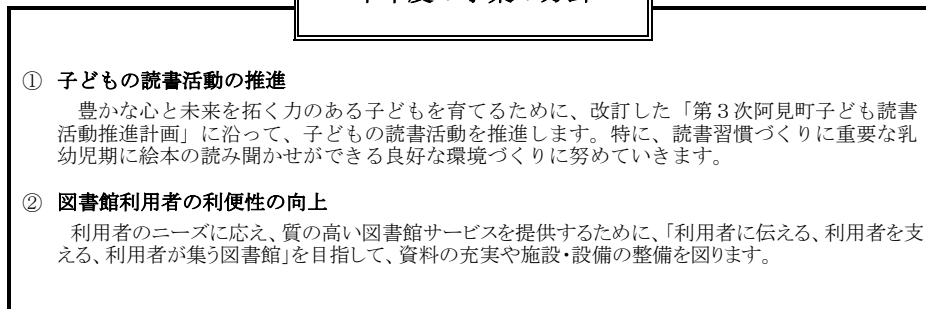


名称：阿見町立図書館  
 住所：阿見町若栗1838-24  
 TEL：029-887-6331  
 FAX：029-887-9268

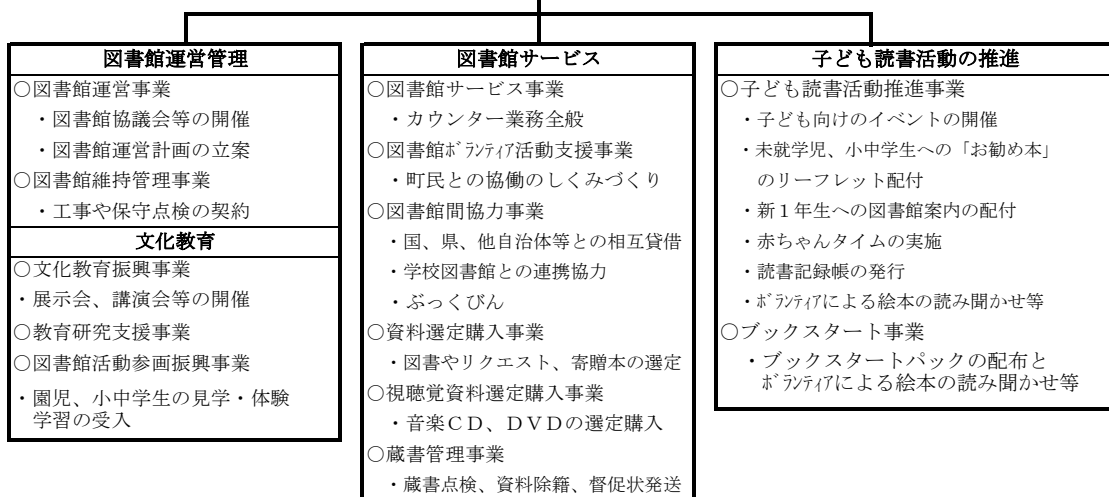
### 令和8年度 図書館の構想



### 本年度の事業の方針



### 事業



## 令和7年度図書館資料状況

### (1) 受入・種類冊数

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
図書受入冊数	4,742	4,564	4,624	4,514	4,926
雑誌受入種類数	106	109	108	106	109
新聞受入種類数	12	12	12	12	12
CD受入数	123	96	88	67	68
DVD受入数	74	71	77	77	82

### (2) 図書館蔵書数

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
図書冊数	151,218	153,636	156,866	156,627	158,144
雑誌数	4,212	4,067	4,755	4,817	4,962
CD数	2,344	2,440	2,530	2,596	2,664
DVD数	1,016	1,083	1,158	1,230	1,298

### (3) 図書カード登録者数

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
図書カード登録者数	14,946	15,790	13,973	8,886	9,619
団体図書カード登録数	109	101	101	31	40

※①6年度は「図書システム」の更新(5年毎)により登録者数が減(未更新者が多い)

②6年度より、「団体図書カード登録数」から公共図書館分を除く。

### (4) 図書館 分類別蔵書冊数

日本十進分類	一般書	児童書	郷土資料	雑誌・視聴覚資料	合計
0 総記(図書館学・郷土資料等)	2,657	422			3,079
1 哲学(哲学・宗教)	3,472	384			3,856
2 歴史(地理・歴史・紀行)	8,033	1,617			9,650
3 社会科学(政治・経済・教育等)	11,111	1,888			12,999
4 自然科学(数学・化学・医学等)	6,648	3,283			9,931
5 技術・工学(建築・機械・家政学等)	7,151	1,113			8,264
6 産業(農業・水産業・商業等)	3,539	765			4,304
7 芸術・美術(絵画・音楽・体育等)	7,789	1,606			9,395
8 言語(日本語・外国語)	1,575	717			2,292
9 文学(日本文学・外国文学)	33,573	12,576			46,149
B 文庫	8,760				8,760
R 参考	3,154	202			3,356
S 新書	7,297	1,714			9,011
YA ヤングアダルト	2,153	2,311			4,464
ZO 付録	1,047				1,047
ZZ 他	12				12
C 紙芝居		1,179			1,179
E 絵本		15,942			15,942
郷土			4,454		4,454
雑誌				4,962	4,962
C D				2,664	2,664
DVD(貸出用)				1,298	1,298
合計	107,971	45,719	4,454	8,924	167,068

## 9 予科練平和記念館



名称：阿見町予科練平和記念館

住所：阿見町大字廻戸5番地1

TEL：029-891-3344

FAX：029-888-2470

### ◆ 運営方針

阿見町の貴重な歴史遺産である予科練、旧海軍航空隊や当町の戦史の記録を展示保存するとともに、次の世代に正確に伝承し命の尊さや平和の大切さを考えていただくための施設として運営していきます。

常設展示では、展示内容をより理解していただくため、展示解説員による展示解説を行います。事業では、来館者からのアンケートやご意見・ご要望を取り入れながら、特別展・企画展等の開催や教育普及事業、イベントなどを開催します。さらに、資料館として引き続き資料収集と予科練や地域の戦史の調査を行います。

これらにより、児童生徒の平和学習や社会科学習はもちろんのこと、広く社会の教育の場として事業を行うことで、歴史への理解を深め、世界の恒久平和の実現に役立てるとともに、地域の教育及び文化の向上を目指します。

また、併せて地域振興の拠点として「予科練平和記念館」を全国に発信し、多くの来館者を受け入れる施設として健全な管理運営を行います。

## ◆令和7年度事業報告

### 1 運営事業

(1) 開館日数 222日 (休館日：毎週月曜、年末年始、屋上防水・外壁改修工事による臨時休館等)

#### (2) 入館者及び観覧料

※日平均は四捨五入

年 度	開館日数	入館者 (人)	日平均(人)	観覧料 (円)	備 考
H21	50	18,032	361	7,384,150	
H22	286	76,313	267	29,173,692	
H23	296	42,847	145	15,747,491	
H24	305	52,964	174	19,345,028	
H25	303	60,670	200	21,714,807	
H26	309	58,850	190	19,828,403	
H27	308	61,313	199	20,624,769	
H28	308	52,094	169	16,759,179	
H29	309	51,533	167	16,503,516	
H30	308	51,128	166	16,201,791	
R1	282	44,528	158	13,986,013	
R2	206	19,546	95	6,849,156	
R3	87	9,444	109	2,981,910	
R4	305	35,073	115	12,787,731	
R5	306	46,284	151	16,765,806	
R6	291	56,800	195	20,625,958	
R7	222	45,532	205	17,345,391	
合計	4,481	782,951	175	274,624,791	

#### (3) 入館者内訳

年度	有 料 観覧者 (人)	有料のうち 教育活動 (人)	無 料 観覧者 (人)	無料のうち町 内小中高生 (人)	無料 エリア (人)	計 (人)
H21	15,568	65	2,072	287	392	18,032
H22	67,563	672	7,116	1,191	1,634	76,313
H23	34,421	475	6,295	663	2,131	42,847
H24	41,299	1,063	8,096	1,101	3,569	52,964
H25	46,607	1,075	9,711	921	4,352	60,670
H26	45,453	394	9,198	888	4,199	58,850
H27	48,477	288	9,273	744	3,563	61,313
H28	39,798	62	8,839	629	3,457	52,094

H29	39,051	282	8,231	631	4,251	51,533
H30	38,366	287	8,645	1,017	4,117	51,128
R1	33,082	90	8,355	935	3,091	44,528
R2	15,703	514	2,846	1,079	997	19,546
R3	6,787	463	2,367	1,022	290	9,444
R4	28,264	493	5,495	937	1,314	35,073
R5	37,107	535	7,190	668	1,987	46,284
R6	45,624	874	9,173	744	2,003	56,800
R7	35,598	768	8,368	737	1,566	45,532
合計	618,768	8,400	121,267	14,194	42,913	782,951

(4) 月別入館者数 ※小数点2位以下は四捨五入

月	入館者(人)	割合(%)	月	入館者(人)	割合(%)	備考
4	3,884	8.5	11	1,397	3.1	9月6日から1月31日まで、屋上防水・外壁改修工事のため臨時休館
5	5,788	12.7	12	710	1.5	
6	4,412	9.7	1	994	2.2	
7	4,190	9.2	2	5,457	12.0	
8	10,624	23.3	3	4,132	9.1	
9	2,130	4.7	合計	45,532	100	
10	1,814	4.0				

(5) 学校等来館状況

上段：学校数 下段：人数

年度	小学校	中学校	高校	大学	計	備考
H21	1	0	2	0	3	
	108	0	40	0	148	
H22	13	16	5	0	34	
	620	890	63	0	1,573	
H23	10	4	5	5	24	
	602	434	110	101	1,247	
H24	14	10	14	7	45	
	772	724	966	134	2,596	
H25	17	7	13	5	42	
	1,002	582	659	163	2,406	
H26	23	10	11	6	50	
	1,153	673	691	152	2,669	
H27	24	8	7	※2	41	※専門学校含
	1,026	452	784	75	2,337	
H28	19	7	7	※4	37	※専門学校含
	1,041	439	607	109	2,196	

H29	21	10	9	※5	45	※専門学校含
	1,120	701	1,127	104	3,052	
H30	26	5	11	※8	50	※専門学校含
	1,207	397	1,266	223	3,093	
R1	※a 21	7	7	※6	41	※専門学校含
	858	462	725	225	2,270	※a 霞ヶ浦聾学校含
R2	16	4	4	1	25	
	822	418	905	13	2,158	
R3	8	4	7	0	19	
	510	373	1,259	0	2,142	
R4	23	7	11	5	46	
	1,016	434	962	97	2,509	
R5	28	17	10	2	57	
	1,235	1,258	893	21	3,407	
R6	※a 33	14	※b 11	5	63	※a 霞ヶ浦聾学校含
	1,536	1,553	782	52	3,923	※b 専門学校含
R7	26	※11	17	4	59	※中高一貫校含
	1,198	1,259	1,709	83	4,253	
合 計	323	143	151	65	681	
	15,826	11,049	13,548	1,552	41,979	

※団体見学のみ

## (6) 書籍販売

年度	阿見と予科練	予科練ものがたり	続・阿見と予科練	ガイドブック	カルタ	海軍航空隊ものがたり	爺さんの立ち話	計	販売金額(円)
H21	101	541	123	0	0			765	826,700
H22	166	757	118	1,082	40			2,163	1,362,300
H23	46	318	42	395	52			853	540,000
H24	49	303	24	478	42			896	504,100
H25	60	430	31	475	36			1,032	621,200
H26	47	346	21	436	20	53		923	674,900
H27	50	344	26	356	27	35		838	618,900
H28	41	155	13	262	15	31	2	519	402,400
H29	27	144	10	233	32	11	5	462	315,800
H30	26	137	8	196	60	17	1	445	338,100
R1	20	150	14	192	56	20	6	458	369,600
R2	19	65	9	248	31	13	8	393	261,800
R3	18	54	9	142	12	7	5	247	176,600
R4	23	177	12	451	34	23	7	727	429,900
R5	29	1	11	426	50	13	2	532	278,400

R6	47	198	19	698	71	31	8	1,072	790,300
R7	37	29	14	120	48	30	7	285	356,600
合計	806	4,149	504	6,190	626	284	51	12,610	8,867,600

## 2 展示事業

### (1) 開館 15 周年特別展「ペンを剣にかえて—海軍予備学生の軌跡」

・会 期：令和 7 年 3 月 15 日（土）～6 月 15 日（日）

### (2) 企画展「戦後の予科練—それぞれの人生 そして慰霊」

・会 期：令和 7 年 7 月 23 日（水）～9 月 5 日（金）

### (3) 企画展「心をつないで—海原会のこれまでとこれから」

・会 期：令和 8 年 3 月 28 日（土）～6 月 2 日（火）

## 3 教育普及事業

### (1) 講演会

戦争体験者、学芸員、歴史調査委員による講演会

演 題：「元海軍飛行予科練習生講演会」

講 師：元海軍甲種第 13 期飛行予科練習生 磯野 栄佐 氏

日 時：令和 7 年 4 月 19 日（土）

場 所：予科練平和記念館情報ラウンジ

演 題：「戦後 80 年に顧みる硫黄島の戦い」

講 師：予科練平和記念館歴史調査委員 大橋 良一 氏

日 時：令和 7 年 7 月 19 日（土）

場 所：予科練平和記念館 20 世紀ホール

演 題：「短命だった霞ヶ浦海軍病院 —終戦!!その後は?—」

講 師：予科練平和記念館歴史調査委員 中川 龍 氏

日 時：令和 8 年 2 月 7 日（土）

場 所：予科練平和記念館 20 世紀ホール

### (2) 出張講演

学芸員、歴史調査委員による外部での講演会（オンライン含む）

演 題：「『予科練』の少年たちを知っていますか」

講 師：予科練平和記念館学芸員

日 時：令和 7 年 6 月 21 日（土）

場 所：茨城県県南生涯学習センター

演 題：「平和。戦後 80 年」  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 7 年 8 月 22 日（金）  
場 所：ZOOM（首都圏建設産業ユニオン）

演 題：あみ未来塾「戦後の予科練」  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 7 年 8 月 30 日（土）  
場 所：予科練平和記念館情報ラウンジ

演 題：『予科練』の少年たちを知っていますか  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 7 年 10 月 26 日（日）  
場 所：国立歴史民俗博物館講堂

演 題：「観光ガイドの皆さんとお話会」  
講 師：予科練平和記念館歴史調査委員 中川 龍 氏  
日 時：令和 7 年 11 月 26 日（水）  
場 所：あみ観光協会会議室

演 題：「戦後 80 年に顧みる硫黄島の戦い」  
講 師：予科練平和記念館歴史調査委員 大橋 良一 氏  
日 時：令和 7 年 11 月 29 日（土）  
場 所：東村山市立中央公民館

演 題：「戦後 80 年－“予科練”を知り今を考える」  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 7 年 12 月 10 日（水）  
場 所：稲敷市立江戸崎中学校 2 年生

演 題：『予科練』の少年たち  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 7 年 12 月 14 日（日）  
場 所：ZOOM（東京土建江戸川支部）

演 題：「昭和 100 年 予科練を振り返る」  
講 師：予科練平和記念館学芸員  
日 時：令和 8 年 2 月 3 日（火）  
場 所：石岡市役所

### (3) イベント

零戦模型搭乗体験付き館内見学ツアー

日 時：令和7年5月24日（土）

場 所：予科練平和記念館および零式艦上戦闘機実物大模型格納庫

子ども向け！零戦に乗れる館内見学ツアー

日 時：令和7年8月23日（土）

場 所：予科練平和記念館および零式艦上戦闘機実物大模型格納庫

語り部さんと展示を見よう（定期開催）

日 時：令和7年6月14日（土）・7月12日（土）・8月16日（土）

令和8年2月14日（土）・3月14日（土）

講 師：予科練平和記念館歴史調査委員 須永 康男 氏

場 所：予科練平和記念館

三者連携事業「隊員グルメ付き!! 阿見町「武器学校&予科練平和記念館」見学ツアー」

日 時：令和7年10月18日（土）

場 所：陸上自衛隊土浦駐屯地武器学校、雄翔館、雄翔園、予科練平和記念館

スタディーコンサート 歌語り「万歳峠」

日 時：令和7年7月5日（土）

講 師：山本 晴美 氏

場 所：予科練平和記念館 20世紀ホール

朗読劇「特攻基地の三毛猫」「ぼくモグラになった予科練」

日 時：令和7年8月9日（土）

講 師：鈴木 敏子 氏・阿見町高校生会（6名）

場 所：予科練平和記念館情報ラウンジ

第2回 零戦模型搭乗体験付き館内見学ツアー

日 時：令和8年3月7日（土）

場 所：予科練平和記念館および零式艦上戦闘機実物大模型格納庫

### (4) 体験・実習受入

職場体験

令和7年11月18日（火）～11月20日（木）の3日間 町内中学校から中学生6名

- ・予科練平和記念館についての講義
- ・資料クリーニング実習
- ・資料撮影実習

- ・館内事務作業実習

#### 博物館実習

令和7年8月26日(火)～8月30日(土)の5日間 大学生2名

- ・予科練平和記念館及び学芸員についての講義
- ・予科練平和記念館展示見学
- ・歴史調査員による講義
- ・資料整理実習
- ・広報実習 (SNS、ブログ記事作成)

### (5) 調査協力・取材対応

新聞社、テレビ局、ネットニュース、研究者、大学生への調査協力、資料特別利用申請対応

## 4 映像記録保存事業

予科練出身者、関係者の講演会を映像に記録保存。また、これまでに撮影した映像を自由に視聴してもらうため編集する。

- ・講演会「元海軍飛行予科練習生講演会」の収録
- ・講演会「戦後80年に顧みる硫黄島の戦い」の収録
- ・講演会「短命だった霞ヶ浦海軍病院 ー終戦!!その後は?ー」の収録
- ・朗読劇「特攻基地の三毛猫」「ぼくモグラになった予科練」の収録

## 5 資料収集活用事業

主に未所蔵の予科練や海軍の実物資料収集を行い、所蔵資料の充実に努めている。

### ①資料収集

資料寄贈者：令和7年度分 20名 200点 (累計22,826点)

※資料整理の過程で寄贈資料を細分化したものを含む(アルバム単位ではなく写真単位等)

### ②資料活用

資料特別利用：27件

## 6 広報事業

### (1) 広報あみ

- ・毎月1ページに掲載：イベントのお知らせや事業実績等

### (2) インターネットを使用した広報

- ・館公式HPによる情報発信ー新着情報、館長日記等
- ・あみメールによる情報発信ーイベントのお知らせ、報告、周辺情報などを不定期に更新
- ・SNSーX(旧Twitter)、Facebookにて混雑状況、イベント情報、売店入荷情報等を発信

### (3) 各種媒体による広報

- ・ 関東鉄道バス阿見坂下停留所での車内アナウンス
- ・ 雑誌、高速道路サービスエリア配布物等への広告掲載
- ・ るるぶ、地球の歩き方等旅行雑誌への情報掲載

### (4) マスコミ・広報誌への情報提供

- ・ 記者クラブ、情報誌、新聞、ラジオ、映画、テレビ等への情報提供及び出演等

## 7 入館促進事業

### (1) 年間パスポートの販売

- ・ 平成 29 年 8 月 11 日より販売を開始。購入日から 1 年間有効。  
大人 1,500 円、小人 900 円  
※町内 34 人、県内 29 人、県外 21 人 計 84 人が購入

### (2) 観覧料の割引提携（各種カード等の提示により、割引を実施）

- ・ JAF、ベネフィットワン、常陽藝文、SD、全国の子育て支援カード、リロクラブ、茨城交通安全協会、いばらきシニア、漫遊いばらき、海原会、えらべる倶楽部、筑波銀行（ハッピーエールスポーツ）、常陽銀行（JOYO プレミアムクーポン）、茨城県民手帳等
- ・ 町イベント、あみプレミアムアウトレットとの提携

### (3) 旅行業者とのクーポン券契約（8 社）

- ・ JTB、近畿日本ツーリスト、農協観光、全旅、名鉄観光、日本旅行、東武トップツアーズ、クラブツーリズム

## 8 予科練平和記念館歴史調査委員

予科練平和記念館歴史調査委員は 4 名、予科練および海軍航空隊に関する調査研究を行いました。

- (1) 活動日数：週 1 回開催（水曜日または日曜日）
- (2) 調査研究：地域史・戦跡調査、記念館への問い合わせ対応、資料提供、講演会準備
- (3) 教育普及事業：講演会の開催、年報への調査報告掲載

## 10 社会体育施設

### (1) 総合運動公園

#### 《管理棟》

- ・位 置 吉原 52 番地 3
- ・受付時間 午前 9 時～午後 5 時
- ・休業日 毎月第 1 月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日

#### 《野球場》

- ・位 置 若栗 2214 番地 1
- ・施設 野球場 2 面（照明設備あり）
- ・利用時間 4 月 1 日から 10 月 31 日までは午前 5 時～午後 9 時  
11 月 1 日から 3 月 31 日までは午前 9 時～午後 9 時
- ・休業日 毎月第 1 月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日
- ・申し込み 使用日の 1 ヶ月前より、インターネット（いばらき公共施設予約システム）若しくは、阿見町総合運動公園管理棟の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り（減免規定あり）

使用時間	使用料 (円)		
	登録団体	一般	照明
5:00～9:00 (4月～10月)	550	550	820
9:00～21:00 (3月～12月)	770	1,100	(30分)

※料金は、各時間帯 1 単位（1 面につき 2 時間）の料金です

#### 《町民球場》

- ・位 置 吉原 1205 番地 1
- ・施設 野球場 2 面
- ・利用時間 4 月 1 日から 10 月 31 日までは午前 5 時～午後 7 時  
11 月 1 日から 3 月 31 日までは午前 9 時～午後 5 時
- ・休業日 毎月第 1 月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日
- ・申し込み 使用日の 1 ヶ月前より、インターネット（いばらき公共施設予約システム）若しくは、阿見町総合運動公園管理棟の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り（減免規定あり）

使用時間	使用料 (円)	
	登録団体	一般
9:00～17:00 (3月～12月)	1,150	1,650
5:00～9:00 (4月～10月) 17:00～19:00 (4月～10月)	820	820

※料金は、各時間帯 1 単位（1 面につき 2 時間）の料金です

#### 《陸上競技場》

- ・位 置 若栗 2228 番地 1

- ・施設 400メートルトラック（面積22,918㎡）
- ・利用時間 4月1日から10月31日までは午前5時～午後7時  
11月1日から3月31日までは午前9時～午後5時
- ・休業日 毎月第1月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日
- ・申し込み 使用日の1ヶ月前より、インターネット（いばらき公共施設予約システム）若しくは、阿見町総合運動公園管理棟の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り（減免規定あり）

使用時間	使用料(円)			
	個人	登録団体	一般	放送設備
5:00～19:00 (4月～10月) 9:00～17:00 (11月～3月)	50	610	880	270

※料金は、各時間帯1単位（2時間）の料金です

#### 《多目的広場》

- ・位置 若栗2217番地1
- ・施設 全面芝生
- ・利用時間 午前9時～午後5時（1回の使用時間2時間）
- ・休業日 毎月第1月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日
- ・申し込み 使用日の1ヶ月前より、インターネット（いばらき公共施設予約システム）若しくは、阿見町総合運動公園管理棟の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り（減免規定あり）

使用時間	使用料(円)	
	登録団体	一般
9:00～17:00	770	1,100

※料金は、各時間帯1単位（1面につき2時間）の料金です

#### 《テニスコート・フットサルコート》

- ・位置 吉原52番地3・若栗2228番地10
- ・施設 テニスコート6面半、フットサルコート2面
- ・利用時間 4月1日から10月31日までは午前5時～午後9時  
11月1日から3月31日までは午前9時～午後9時
- ・休業日 毎月第1月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、年末年始、その他臨時休業日
- ・申し込み 使用日の1ヶ月前より、インターネット（いばらき公共施設予約システム）若しくは、阿見町総合運動公園管理棟の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り（減免規定あり）

使用時間	使用料(円)	
	一般	照明
5:00～21:00 (4月～10月) 9:00～21:00 (11月～3月)	1,100	330 (30分)

※料金は、各時間帯1単位（1面につき2時間）の料金です

## (2) 町民体育館

### 《事務室》

- ・位 置 若栗 1886 番地 1 (中央公民館内)
- ・受付時間 午前 9 時～午後 5 時
- ・休 館 日 月曜日 (月曜日が祝日の場合翌日も休館)、祝日、年末年始、臨時休館日

### 《町民体育館》

- ・位 置 若栗 1849 番地 1
- ・施 設 バスケットボールコート 1 面、ミニバスケットボールコート 2 面、バレーボールコート 2 面、バトミントンコート 3 面 兼用 (床面積 1,236 m<sup>2</sup>)、空調設備 (冷暖房)
- ・利用時間 午前 9 時～午後 9 時
- ・休 館 日 月曜日 (月曜日が祝日の場合翌日も休館)、祝日、年末年始、臨時休館日
- ・申し込み 使用日の 1 ヶ月前より、インターネット (いばらき公共施設予約システム) 若しくは、事務室 (中央公民館内) の受付窓口で直接申し込む
- ・使用料 条例の規定通り (社会体育団体等は、料金が減免されます)

施設名	使用区分		使用料 (円)					
			午前 9 時～ 午前 11 時	午前 11 時～ 午後 1 時	午後 1 時～ 午後 3 時	午後 3 時～ 午後 5 時	午後 5 時～ 午後 7 時	午後 7 時～ 午後 9 時
主競技場	体育使用	団体	1,370 (950)	1,370 (950)	1,370 (950)	1,370 (950)	2,200 (1,540)	2,200 (1,540)
		個人	820	820	820	820	1,370	1,370
	体育以外使用		1,920 (1,340)	1,920 (1,340)	1,920 (1,340)	1,920 (1,340)	3,300 (2,310)	3,300 (2,310)
	営利目的使用		4,120	4,120	4,120	4,120	6,600	6,600
ミーティングルーム	体育使用	団体	400 (280)	400 (280)	400 (280)	400 (280)	820 (570)	820 (570)
		個人	400	400	400	400	820	820
	体育以外使用		820 (570)	820 (570)	820 (570)	820 (570)	1,650 (1,150)	1,650 (1,150)
	営利目的使用		1,370	1,370	1,370	1,370	2,200	2,200

※主競技場を半面利用した場合は半額

※ ( ) は社会体育団体等の料金

※空調設備を利用する場合は、全面 1 時間につき 1,500 円を使用料に加算 (半面 1 時間 750 円)

### 【注意事項】

- 町民 (町内に在住及び在勤・在学) 及び稲敷郡内及び稲敷市内居住者以外の使用料は、表示額の 2 倍になります。
- 使用時間が、その区分の全時間に満たない場合でも、その区分の料金を徴収します。
- 町社会教育関係団体 (スポーツ協会・学校体育施設利用登録団体・子ども会等) が使用する場合は、減免の対象となります。

### (3) 小中学校の施設

#### 《小中学校の施設開放》

- ・目的 町民のスポーツ、レクリエーションその他社会教育の振興及び推進を図るため
- ・開放施設 町内各小・中学校の校庭、体育館・武道場
- ・開放の種類 スポーツ・レクリエーション、文化活動
- ・開放の日時 下表のとおり

施設	開放する日	開放する時間	使用料(円)
校庭	土曜・日曜・祝日・長期休業日	8:00~18:00	無料
体育館等	土曜・日曜・祝日	8:00~21:30	体育館…200
	平日	18:00~21:30	
武道場	土曜・日曜・祝日	8:00~21:30	武道場…100
	平日	18:00~21:30	

※ 閉校となった旧実穀小及び旧吉原小の開放日・開放時間についてはこの限りではない

#### ・利用の許可

スポーツ開放は、阿見町内に在住、在勤もしくは在学する者が10名以上の団体で、スポーツ傷害保険に加入している団体とし、かつ、当該団体に監督者として成人が含まれる場合に許可するものとする。

- ・申し込み 利用希望日の7日以前に「使用許可申請書」を生涯学習課に提出する。

# 1 1 文化財（令和8年4月1日現在）

## (1) 町指定文化財一覧

NO.	町指定日	名称	数量	指定区分	所在
1	昭50.5.28	牛久助郷一揆道標	1基	史 跡	阿見4666-738(一区南)
2	昭50.5.28	塙不動尊のタブノキ	1株	天然記念物	塙1258(不動尊境内)
3	昭52.3.22	善照寺山門	1棟	有形文化財	若栗1301
4	昭52.3.22	阿弥神社樹叢		天然記念物	竹来1641
5	昭53.5.25	酒盛り唄		民俗文化財	大形(大形地区)
6	昭53.5.25	宮平貝塚		史 跡	島津3601外
7	昭54.11.24	鹿島神社のやどり木	1株	天然記念物	吉原281-1(神社境内)
8	昭54.11.24	宇都木家の椎	1株	天然記念物	吉原2152
9	昭57.2.22	木造阿弥陀如来坐像	1軀	有形文化財	追原633(蔵福寺)
10	昭57.2.22	木造十一面観音坐像	1軀	有形文化財	塙1258
11	昭57.2.22	木造菩薩立像	1軀	有形文化財	吉原2289(西光寺)
12	昭60.5.28	貞享二年阿見野野論裁許状	1通	有形文化財	若栗1886-1(中央公民館)
13	昭62.7.30	君島ひよっこ		民俗文化財	君島557(代)
14	平13.8.24	木造阿弥陀如来坐像附木造両脇侍立像二軀	1軀 附2軀	有形文化財	吉原1321-2
15	平22.3.15	霞ヶ浦海軍航空隊有蓋掩体壕	1基	史 跡	阿見5383番2
16	平22.3.15	霞ヶ浦海軍航空隊跡国旗掲揚塔	1基	史 跡	中央3丁目3855番1外(茨城大学農学部)
17	平22.3.15	霞ヶ浦海軍航空隊跡方位盤	1基	史 跡	中央3丁目3855番1外
18	平22.3.15	霞ヶ浦海軍航空隊本部庁舎階段親柱	1対	史 跡	中央3丁目3855番1外
19	令1.8.8	鉄斧形土製品	1点	有形文化財	若栗1886-1
20	令1.8.8	墨書土器	1点	有形文化財	若栗1886-1
21	令2.3.31	塙城跡		史 跡	塙560番2ほか34筆

## (2) 県指定文化財一覧

NO.	県指定日	名称	数量	指定区分	所在
1	昭52.7.18	曙のグミ	1株	天然記念物	曙151-106
2	平5.1.25	薬師如来坐像	1軀	有形文化財	吉原2289(西光寺)
3	平6.1.26	木造阿弥陀如来立像1軀附両脇侍立像2軀	1軀 附2軀	有形文化財	追原633(蔵福寺)

## (3) 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財(国選択)

NO.	国選択日	名称	数量	指定区分	所在
1	平27.3.2	東関東の盆綱	1件	風俗習慣	町内

## (4) 周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)数

貝塚16 集落跡135 古墳・塚17 古墳群22 窯跡1 製鉄跡1 寺院跡3 城館跡21 計216件

## (5)これまでに発刊された資料等

書籍名	価格	書籍名	価格
阿見町史(全1巻)	3,200円	阿見の昔ばなし	1,500円
阿見町史研究創刊号	800円	阿見と予科練	2,000円
〃 第2号	800円	続・阿見と予科練	2,000円
〃 第3号	800円	「海軍航空隊ものがたり」	3,500円
〃 第4号	800円	「爺さんの立ち話」	3,500円
〃 第5号	800円	「予科練ものがたり」	1,500円
〃 第6号	頒布終了	「ガイドブック」	200円
〃 第7号	800円	下村千秋の世界	1,000円
〃 第8号	800円	渡邊香墨	1,000円
阿見町の生いたち	500円	西郷遺跡(第2次)発掘調査報告書	1,000円
入谷津1号墳発掘調査報告書(稿)	頒布終了	宮脇遺跡(第5次)発掘調査報告書	2,000円
割目遺跡発掘調査報告書(大形)	1,000円	宮脇遺跡(第6次)発掘調査報告書	2,000円
道心台遺跡発掘調査報告書(島津)	1,000円	廻戸遺跡(第2次)発掘調査報告書	1,500円
下小池東遺跡発掘調査報告書	1,000円	宮脇遺跡(第7次)発掘調査報告書	2,000円
大室城跡発掘調査報告書	1,000円	阿見東遺跡(第2次)発掘調査報告書	1,500円
廻戸遺跡(塚)発掘甲査報告書	1,000円	宮脇遺跡(第8次)発掘調査報告書	2,000円
下小池東12・13号住居址発掘調査報告書	1,000円		
若栗寄井館発掘調査報告書	800円		
下小池城跡発掘調査報告書	1,000円		
桜立遺跡発掘調査報告書	1,000円		
竹来遺跡・入屋敷貝塚発掘調査報告書	2,000円		
内堀遺跡(土塁)発掘調査報告書	1,000円		
宮脇遺跡発掘調査報告書	2,000円		
梶内台遺跡発掘調査報告書	1,000円		
桜立遺跡(第三期)発掘調査報告書	800円		
宮脇遺跡(第二期)発掘調査報告書	2,000円		
旧阿見町の地方改良運動	1,000円		
阿見地域の入会地	頒布終了		
近世農民の生活	1,500円		
明治期の開拓と阿見地域	1,500円		
阿見地域の農村経済更生運動	1,500円		
阿見の民俗	2,000円		
仙台藩領と阿見地域	2,000円		
近世史料(補遺)	1,500円		
牛久助郷一揆	頒布終了		
阿見東遺跡発掘調査報告書	2,000円		
宮脇遺跡(第3次)発掘調査報告書	2,000円		
宮脇遺跡(第4次)発掘調査報告書	2,000円		
島津遺跡(頭田遺跡)発掘調査報告書	3,000円		
岡崎古墳調査報告書	1,000円		
若栗古墳群発掘調査報告書	600円		
島津遺跡(イタチ内古墳群他)	3,000円		
阿見掛馬備蓄銭調査報告	2,000円		
大塚古墳	800円		
島津遺跡(追加分-2)	2,000円		
下原遺跡	1,000円		
阿見町の樹木(H10.6 2,000冊)	2,000円		
島津遺跡(1区~4区)	5,000円		
島津遺跡(5区~6区, 貝塚1区~2区)	3,000円		
竹来遺跡	3,000円		

## (6)文化財研究調査会

目的 阿見町における文化財について、その研究保護及び活動につとめ、進んで町民の文化愛護精神と郷土愛を深めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

- ・建造物調査班 建造物を調査し、写真・文書等で記録する。
- ・石造物調査班 建造物(石仏・道標)を調査し、写真・文書等で記録する。
- ・樹木調査班 町内にある大樹等を調査し、写真・文書等で記録する。
- ・古文書調査班 町内の未調査の古文書を調査・解読し、記録する。
- ・民話調査班 町内に纏わる昔話、言い伝え等を調査・収集し、読み聞かせができるように記録する。

## VI 教育関係委員

### 目 次

1	教育長及び教育委員	79
2	歴代教育長	79
3	歴代教育委員長	79
4	歴代教育委員	80
5	教育委員会職員	82
6	阿見町学校長会等の役割分担	84
7	阿見町学校給食センター運営委員会委員	85
8	いきいき学びの町AMI推進会議委員	86
9	阿見町社会教育委員	86
10	阿見町社会教育指導員	86
11	阿見町社会体育指導員	87
12	阿見町文化財保護審議会委員	87
13	阿見町図書館協議会委員	87
14	阿見町予科練平和記念館運営協議会委員	87
15	阿見町予科練歴史調査委員会委員	88
16	阿見町スポーツ推進委員	88
17	阿見町青少年相談員	88
18	阿見町生涯学習専門委員会委員	89
19	阿見町ふるさと文芸検討委員会委員	89
20	阿見町文化芸術振興審議会委員	89
21	阿見町史編さん委員会委員	90
22	阿見町史編さん委員会専門員	90
23	阿見町文化協会	91
24	阿見町スポーツ協会	92
25	阿見町スポーツ少年団	93
26	阿見町PTA連絡協議会	94
27	阿見町子ども会育成連合会	95

令和8年5月1日現在

## 1 教育長及び教育委員

役 職 名	氏 名
教 育 長	宮 崎 智 彦
教育長職務代理者	湯 原 敦 子
委 員	安 江 健
委 員	石 田 貴 也
委 員	田 島 峰 子

## 2 歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
丹 國	昭和31年10月 1日	昭和39年 9月30日
湯 原 幸 男	昭和39年10月 1日	昭和45年 9月30日
佐 藤 甚	昭和45年10月 1日	昭和56年 9月30日
坂 本 芳	昭和56年10月20日	平成 元年10月11日
渡 邊 義 雄	平成 元年10月12日	平成16年 3月31日
大 崎 治 美	平成16年 4月 6日	平成21年10月11日
青 山 壽々子	平成21年10月13日	平成27年10月10日
菅 谷 道 生	平成27年10月11日	平成30年10月10日
湯 原 正 人	平成30年10月11日	令和 3年10月10日
立 原 秀 一	令和 3年12月23日	令和 6年12月22日
宮 崎 智 彦	令和 6年12月23日	任期中

## 3 歴代教育委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
菅 谷 藤一郎	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
湯 原 廣	昭和32年10月 1日	昭和33年 9月30日
湯 原 清 喜	昭和33年10月 1日	昭和34年 9月30日
湯 原 四 郎	昭和34年10月 1日	昭和35年 9月30日
飯 野 利三郎	昭和35年10月 1日	昭和36年 9月30日
湯 原 幸 男	昭和36年10月 1日	昭和37年 9月30日
鈴 木 進	昭和37年10月 1日	昭和38年 9月30日
廣 岡 誠 司	昭和38年10月 1日	昭和39年 9月30日
糸 賀 昇	昭和39年10月 1日	昭和40年 9月30日
柳 生 源 一	昭和40年10月 1日	昭和50年 9月30日
松 本 良 隆	昭和50年10月 1日	昭和59年 9月30日
宮 本 俊 男	昭和59年10月 1日	平成 3年 9月30日
柴 原 清	平成 3年10月 1日	平成 8年 9月30日
大 塚 淳	平成 8年10月 1日	平成10年10月 5日
高 橋 二三夫	平成10年10月15日	平成13年10月27日
増 野 周	平成13年10月28日	平成16年10月27日
高 橋 二三夫	平成16年10月28日	平成18年10月 5日
米 倉 政 実	平成18年10月 6日	平成27年10月10日

※平成27年4月1日の法改正に伴い、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」が設置されました。

#### 4 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
椎名宣之	昭和31年3月3日	昭和31年9月30日
大越馨	昭和31年3月3日	昭和31年9月30日
松延長寿	昭和31年3月3日	昭和31年9月30日
山崎昌治	昭和31年3月3日	昭和31年9月30日
柳生一郎	昭和31年4月4日	昭和31年9月30日
廣岡誠司	昭和31年10月1日	昭和43年9月30日
丹國	昭和31年10月1日	昭和39年9月30日
湯原清喜	昭和31年10月1日	昭和34年9月30日
湯原廣	昭和31年10月1日	昭和33年9月30日
菅谷藤一郎	昭和31年10月1日	昭和32年9月30日
飯野利三郎	昭和32年10月1日	昭和39年9月30日
湯原四郎	昭和33年10月1日	昭和35年9月30日
鈴木進	昭和34年10月1日	昭和38年9月30日
湯原幸男	昭和35年10月1日	昭和50年9月30日
糸賀昇	昭和37年10月1日	昭和44年9月30日
柳生源一	昭和38年10月1日	昭和50年9月30日
日下部勝雄	昭和39年10月1日	昭和43年9月30日
松本良隆	昭和43年10月1日	昭和59年9月30日
小松茂樹	昭和43年10月1日	昭和51年9月30日
佐藤甚	昭和44年10月1日	昭和56年9月30日
岡部正明	昭和45年10月1日	昭和53年9月30日
宮本俊男	昭和50年10月1日	平成7年7月15日
青山経男	昭和51年10月1日	昭和59年9月30日
湯原功	昭和53年10月1日	昭和61年9月30日
坂本芳	昭和56年10月12日	平成元年10月11日
柴原清	昭和59年10月1日	平成8年9月30日
湯原昭	昭和59年10月1日	平成12年9月30日
大塚淳	昭和61年10月6日	平成10年10月5日
渡邊義雄	平成元年10月12日	平成16年3月31日
小倉とみ	平成7年10月11日	平成10年9月30日
後藤哲也	平成8年10月1日	平成12年9月30日
渡邊成子	平成9年10月1日	平成15年10月10日
高橋二三夫	平成10年10月6日	平成22年10月5日
増野周	平成12年10月1日	平成20年9月30日
米倉政実	平成12年10月1日	平成28年3月31日
臼田多美子	平成15年10月11日	平成19年10月10日
大崎治美	平成16年4月6日	平成21年10月11日
青山壽々子	平成19年10月11日	平成27年10月10日
酒井一範	平成20年12月10日	平成28年12月11日
福岡信雄	平成21年10月13日	平成25年10月12日
小松澤孝子	平成22年12月15日	平成26年12月14日
立原順子	平成26年12月15日	平成30年12月14日

田 邊 勉	平成25年10月13日～令和 3年10月12日
中 島 雅 己	平成28年 6月14日～令和 6年 9月30日
岡 田 治 美	平成29年 6月 6日～令和 7年 6月 5日
立 原 秀 一	平成30年12月15日～令和 3年12月22日
小 林 和 裕	令和 3年10月13日～令和 7年10月12日
湯 原 敦 子	令和 4年 4月 7日～任期中
安 江 健	令和 6年10月 1日～任期中
石 田 貴 也	令和 7年 6月 6日～任期中
田 島 峰 子	令和 7年10月13日～任期中

※平成27年4月1日の法改正に伴い、教育長は教育委員ではなくなりました。

## 5 教育委員会職員

役 職 名	氏 名
教 育 長	宮 崎 智 彦
教 育 部 長	糸 賀 昌 士

学校教育課 (TEL 888-0220・FAX 888-3601)

課 長	福 岡 秀 昭
副 参 事	建 石 智 久
課長補佐兼学務係長兼経理係長	千 葉 浩
総 務 係 長	大 澤 陽 太
施 設 第 二 係 長	鈴 木 菜 々
施 設 第 一 係 長	戸 ノ 岡 史 朗
学 務 係 主 任	神 長 慶 子
学 務 係 主 任	松 井 凜 太 郎
総 務 係 主 事	岡 野 祥 乃
総務係兼経理係主事	菅 澤 蓮
学 務 係 主 事	飯 生 紗 矢
学 務 係 主 事	廣 瀬 優 太
総務係兼施設第一係兼施設第二係主事	長 瀬 由 依

学校給食センター (TEL 887-1430・FAX 887-1421)

所 長	恵 美 和 彦
所 長 補 佐	島 田 操
所 長 補 佐	立 見 典 子
主 任	中 村 弥 生
主 事	山 口 光
栄 養 士	蛭 田 愛 理
県 栄 養 教 諭	遠 藤 伽 奈
県 栄 養 教 諭	小 林 智 子
県 栄 養 教 諭	石 山 ゆ り

指導室 (TEL 888-0220・FAX 888-3601)

指導室長兼教育相談センター所長	細 田 愛
室 長 補 佐	小 山 智 弘
指 導 主 事	長 田 圭 史
学 校 教 育 相 談 員	齋 藤 信 一
就 学 相 談 員	友 野 和 也
主任学校教育指導員	大 崎 高
学 校 教 育 指 導 員	秋 山 俊 幸
学 校 教 育 指 導 員	佐 藤 猛 彦
学 校 教 育 指 導 員	開 原 理 恵
学 校 教 育 指 導 員	栗 原 紀 恵
学 校 教 育 指 導 員	加 瀬 敦 子
学 校 教 育 指 導 員	大 槻 尚 子
スクールソーシャルワーカー	岡 元 孝 子

スクールソーシャルワーカー	大 林 ひ ろ こ
スクールソーシャルワーカー	佐 々 木 涼 子
スクールカウンセラー	高 橋 麻 衣 子
スクールカウンセラー	多 々 良 佑 奈

生涯学習課 (TEL 888-2526・FAX 888-0032)

課 長	大 橋 雅 道
課長補佐兼生涯学習係長	久 保 田 義 和
スポーツ振興第一係長	荻 嶋 武 志
青 少 年 係 長	宮 本 由 美 子
放課後子どもプラン係長	湯 原 英 輔
スポーツ振興第二係長	平 山 香 菜 子
社会教育係長 (社会教育主事)	吉 田 靖 宏
青少年係兼生涯学習係主任	梶 圭 佑
スポーツ振興第二係主任	村 山 靖 真
社会教育係主任 (社会教育主事)	佐 野 智 美
放課後子どもプラン係主任	青 木 恵
スポーツ振興第一係兼生涯学習係主事	田 村 莉 輝
社会教育係兼青少年係主事	高 橋 龍 太 朗
スポーツ振興第一係兼スポーツ振興第二係主事	田 川 萌 子
社会体育指導員 (スポーツ協会事務局長)	篠 崎 博 明

中央公民館 (TEL 888-2526・FAX 888-0032)

館 長	飯 塚 洋 一
館長補佐兼公民館係長	野 口 寿 正
施設管理係長 (社会教育主事)	吉 田 孝 幸
公民館係兼施設管理係主事	櫻 井 寿 樹
公民館係主事	長 澤 み づ き
社会教育指導員	千 葉 芳 昭

君原公民館 (TEL 889-1363・FAX 889-1662)

社会教育指導員	櫻 井 久 夫
---------	---------

かすみ公民館 (TEL 888-8111・FAX 888-9161)

館 長 補 佐	白 石 幸 也
社会教育指導員	大 原 稔
社会教育指導員	福 士 幸 子

本郷ふれあいセンター (TEL 830-5100・FAX 830-5133)

館 長 補 佐	小 澤 勝
社会教育指導員	長 倉 恵 美 子

舟島ふれあいセンター (TEL 840-2761・FAX 840-2762)

運 営 管 理 者	金 子 勝 也
社 会 教 育 指 導 員	千 葉 俊 子

吉原交流センター (TEL 889-0277・FAX 889-0021)

運 営 管 理 者	市 川 唯 史
社 会 教 育 指 導 員	木 次 谷 光 晴

実穀ふれあいセンター (TEL 886-5225・FAX 889-8005)

運 営 管 理 者	菅 谷 充
社 会 教 育 指 導 員	磯 部 和 正

図書館 (TEL 887-6331・FAX 887-9268)

館 長	村 上 馨
館 長 補 佐 兼 管 理 係 長	牛 込 隆 之
奉 仕 係 長	齋 藤 奈 津 美
管 理 係 主 任	川 又 勇 毅
奉 仕 係 主 事	野 上 翔

文化課：歴史文化財係 (TEL 896-6801・FAX 888-0032)

：予科練平和記念館 (TEL 891-3344・FAX 888-2470)

課 長 兼 予 科 練 平 和 記 念 館 長	大 塚 淳
予 科 練 平 和 記 念 館 副 館 長	戸 井 厚
課 長 補 佐 兼 予 科 練 平 和 記 念 館 学 芸 係 長	山 下 裕 美 子
課 長 補 佐 兼 歴 史 文 化 財 係 長	鯉 沼 智 博
予 科 練 平 和 記 念 館 総 務 管 理 係 長	豊 崎 尚 也
歴 史 文 化 財 係 主 事	淺 香 綾 斗
歴 史 文 化 財 係 主 事	林 晃 平
予 科 練 平 和 記 念 館 総 務 管 理 係 主 事	吉 田 哲
歴 史 文 化 財 係 主 事	岡 野 翔 大
予 科 練 平 和 記 念 館 学 芸 係 主 事	海 野 貴 之

## 6 阿見町学校長会等の役割分担

区	組 織 名	役 職	氏 名 (学 校 名)
町 内	校 長 会	会 長	浅野 剛(阿見小)
		副 会 長	中島まり子(舟島小)、小松原聡(君原小)
		庶 務 幹 事	岡野友浩(竹来中)
		会 計 幹 事	瀬尾卓也(阿一小)
		研 修 担 当	川中俊治(阿見中)、宮本昌枝(阿二小)
		働 き 方 改 革	山下克久(朝日中)
		教 頭 会 担 当	中島まり子(舟島小)
		教 務 主 任 会 担 当	小松原聡(君原小)
	教 育 研 究 会	会 長	菅澤直美(あさひ小)
		副 会 長	山本隆弘(本郷小)、西本義一(あさひ小)
		幹 事	葉梨義幸(あさひ小)、高橋勇吏(あさひ小)

		監 事	川中俊治(阿見中)、佐野 洋(阿見中)		
		評 議 員	各小中学校長		
	中学校体育連盟	会 長	山下克久(朝日中)	副会長	川中俊治(阿見中)
	いきいき学校保健 委 員 会	会 長	山下克久(朝日中)	副会長	瀬尾卓也(阿一小)
	学校運営研修会	会 長	山本隆弘(本郷小)	副会長	川中俊治(阿見中)
	行事調整委員会	委 員 長	中島まり子(舟島小)	副委員長	宮本卓也(舟島小)
	学校事務共同 実 施 協 議 会	会 長	菅澤直美(あさひ小)	委 員	宮本昌枝(阿二小)
	幼保小連絡協議会	校 長	中島まり子(舟島小)	教 頭	宮本卓也(舟島小)
	PTA連絡協議会	校 長	岡野友浩(竹来中)	事務局	川松佳子(竹来中)
		庶務幹事	富田哲也(君原小)	会計幹事	小林一慶(阿一小)
	合同研修会	顧 問	小松原聡(君原小)		
		副 顧 問	川中俊治(阿見中)、岡野友浩(竹来中)		
		会 長	川松佳子(竹来中)		
	茨城県学校長会	常任評議員	浅野 剛(阿見小)		
		行 財 政	山本隆弘(本郷小)		
調 査 研 究		山本隆弘(本郷小)			
茨城県教育会		小松原聡(君原小)			
修学旅行委員会		岡野友浩(竹来中)			
稲敷郡校長会	会 長	浅野 剛(阿見小)			
	副 会 長	小松原聡(君原小)			
	幹事(庶務)	山本隆弘(本郷小)			
	評 議 員	岡野友浩(竹来中)、菅澤直美(あさひ小)			
稲敷郡教育研究会	会 長	菅澤直美(あさひ小)			
	評 議 員	各小中学校長			
学校保健会 稲 敷 支 部	支 部 長	山下克久(朝日中)			
牛久警察管内学校 警察連絡協議会	会 長	山下克久(朝日中)			

## 7 阿見町学校給食センター運営委員会委員

No.	氏 名	所 属	備 考
1	細 田 正 幸	町議会民生教育常任委員	
2	山 本 隆 弘	小学校長代表	
3	川 中 俊 治	中学校長代表	
4	竹 内 淑 恵	保育所長代表	
5	小 林 和 裕	町学校医代表	
6	鈴 木 秀 明	町学校薬剤師代表	
7	石 田 久美子	県竜ヶ崎保健所長	
8	湯 原 正 記	町PTA代表	
9	板 橋 奈都実	町保育所保護者代表	
10	島 本 直 人	学識経験者	

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

## 8 いきいき学びの町AMI推進会議委員

No.	氏名	所属	備考
1	長谷川 哲也	社会教育委員代表	
2	長 沼 繁代	民生委員児童委員協議会代表	
3	綾 部 明江	県立医療大学(学識経験者)	
4	落 合 剛	町議会議員代表	
5	糸 賀 忠	区長会代表	
6	遠 藤 壽子	男女共同参画代表	
7	滝 本 由香里	子ども会育成連合会代表	
8	大 竹 けい子	ボランティア連絡会代表	
9	大 釜 篤実	P T A連絡協議会代表	
10	田 上 昌美	社会教育関係団体	
11	向 島 孝志	スポーツ協会代表	
12	菅 澤 直美	学校長会代表	
13	宮 本 和浩	商工会代表	
14	渡 邊 登	文化協会代表	

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

## 9 阿見町社会教育委員

No.	氏名	所属	備考
1	青 山 和江	民生委員児童委員協議会代表	
2	安 相 賢二	スポーツ推進委員会代表	
3	糸 賀 忠	区長会代表	
4	臼 井 舞子	P T A連絡協議会代表	
5	斉 藤 瑛梨	県立医療大学代表	
6	武 井 浩	町議会議員代表	
7	坪 田 和広	男女共同参画代表	
8	長谷川 哲也	子ども会育成連合会代表	
9	宮 本 昌枝	学校長会代表	
10	茂 木 恵子	社会教育関係団体	

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

## 10 阿見町社会教育指導員

No.	氏名	担当	備考
1	千 葉 芳昭	阿見地区	
2	磯 部 和正	実穀地区	
3	木次谷 光晴	吉原地区	
4	長 倉 恵美子	本郷・あさひ地区	
5	櫻 井 久夫	君原地区	
6	千 葉 俊子	舟島地区	
7	大 原 稔	阿見第一地区	
8	福 士 幸子	阿見第二地区	

任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

### 11 阿見町社会体育指導員

No.	氏名	役職	備考
1	篠崎博明	スポーツ協会事務局長	

任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

### 12 阿見町文化財保護審議会委員

No.	氏名	備考
1	山根峯治	
2	川村満博	
3	白田正子	
4	西山洋	
5	永井博	
6	松井敏也	
7	瀬尾栄	
8	森戸日咲子	

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

### 13 阿見町図書館協議会委員

No.	氏名	所属	備考
1	安相賢二	図書館ボランティア代表	
2	浅野剛	阿見町校長会代表	
3	小川拓也	学校町国語教育研究会代表	
4	笹田邦恵	P T A連絡協議会代表	
5	鴻巣恵	学校図書館司書	
6	二宮真弓	図書館活動団体「おはなしポシェットの会」代表	
7	磯原友美	児童福祉施設代表	
8	中川美香	学校読み聞かせボランティア	
9	倉重千晶	阿見町議会議員代表	
10	黒澤泰男	茨城大学図書館農学部分館係長	

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

### 14 阿見町予科練平和記念館運営協議会委員

No.	氏名	役職及び所属	備考
1	香川真	流通経済大学名誉教授	委員長
2	永井博	元県立歴史館特任研究員	副委員長
3	野口雅弘	阿見町議会議員	
4	平野陽一郎	公益財団法人海原会事務局長	
5	尾崎勝男	阿見町区長会副会長	
6	難波千香子	阿見町商工会	
7	山下桂子	阿見町交通安全母の会会長	
8	川中俊治	阿見町学校長会代表	
9	大橋良一	予科練歴史調査委員	
10	安部次男	阿見町観光ガイド会長	

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

### 15 阿見町予科練歴史調査委員会委員

No.	氏名	備考
1	中川 龍	
2	大橋 良一	
3	須永康 男	
4	大貫 総	

任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

### 16 阿見町スポーツ推進委員

No.	氏名	備考
1	浅野 治	
2	安相 賢二	副委員長
3	井上 里美	監査
4	遠藤 潔	
5	大高 政和	広報部長
6	鹿島 真人	
7	金坂 和美	
8	川村 隆昭	副委員長
9	窪谷 弘	
10	窪谷 美咲	
11	櫻井 繁樹	
12	佐藤 君江	会計
13	菅谷 浩一	
14	長南 栄一	顧問
15	中島 雅己	企画部長
16	早川 光明	
17	平山 義明	委員長
18	村上 光	
19	山崎 聡	
20	加藤 滋	令和8年度から

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

### 17 阿見町青少年相談員

中学区名	小学区名	氏名	備考
阿見中	阿見小	酒井 美智子	ブロック長
		高野 透	
		本間 保	
		川井 聡	監事
	第二小	田村 由美子	副会長
朝日中	あさひ小	小林 実	ブロック長
		袴田 英也	
		若泉 徳士	会長
		南雲 せつ子	監事
		木村 美由紀	
		吉田 由美	
	本郷小	後藤 祐一	
		福岡 祐一	

竹来中	第一小	柳 澤 京 子	
		小 倉 広 子	
	君原小	松 本 則 男	副会長
		東 みさ子	ブロック長
		中 山 修 一	
	舟島小	清 水 幸 路	
		高 野 好 央	
		高 橋 亜矢子	

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

### 18 阿見町生涯学習専門委員会委員

No.	氏 名	委員会名	備 考
1	田 村 敏 衛	読書推進委員会	委員長
2	柴 山 光	読書推進委員会	
3	足 立 秀 之	読書推進委員会	
4	福 田 眞 弓	読書推進委員会	

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

### 19 阿見町ふるさと文芸検討委員会委員

No.	氏 名	備 考
1	渡 邊 登	会長
2	長 沼 繁 代	副会長
3	細 田 正 幸	
4	宮 本 昌 枝	
5	宮 本 経 之	
6	長 塚 和 子	
7	豊 島 光 子	
8	本 橋 眞知子	
9	栗 原 紀 恵	
10	柴 山 光	

任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

### 20 阿見町文化芸術振興審議会委員

No.	氏 名	備 考
1	浅 野 栄 子	副会長
2	井 坂 斗絲幸	
3	石 井 早 苗	
4	長 沼 繁 代	会長
5	瀬 尾 栄	
6	江 原 美保子	
7	福 園 久 子	
8	増 田 智 美	
9	土 田 伸 伸	

任期：令和7年12月1日～令和9年3月31日

## 21 阿見町史編さん委員会委員

No.	氏名	備考
1	服部 隆全	委員長
2	宮崎 智彦	副委員長
3	白田 正子	
4	川村 満博	
5	山縣 創明	
6	永井 博	副委員長
7	伊藤 純郎	
8	萩谷 良太	
9	小倉 貴一	
10	山崎 厚	
11	糸賀 昌士	

任期：令和5年8月1日～町史刊行まで

## 22 阿見町史編さん委員会専門員

No.	氏名	備考
1	白田 正子	原始古代専門部会長
2	川村 満博	中世考古専門部会長 原始古代専門部会員
3	田邊 えり	原始古代専門部会員
4	皆川 貴之	原始古代専門部会員
5	小杉山 大輔	原始古代専門部会員 中世考古専門部会員
6	谷 仲俊雄	原始古代専門部会員
7	天野 早苗	原始古代専門部会員
8	金子 悠人	原始古代専門部会員
9	山縣 創明	中世文献専門部会長
10	越田 真太郎	中世文献専門部会員 中世考古専門部会員
11	長谷部 将司	中世文献専門部会員
12	中根 正人	中世文献専門部会員
13	藤井 達也	中世文献専門部会員
14	西山 洋	中世文献専門部会員
15	生井 雅久	中世文献専門部会員
16	萩原 宏樹	中世文献専門部会員
17	野内 智一郎	中世考古専門部会員
18	永井 博	近世専門部会長
19	沼澤 佳子	近世専門部会員
20	大賀 洋貴	近世専門部会員
21	伊藤 純郎	近現代専門部会長
22	野田 礼子	近現代専門部会員
23	伊藤 智比古	近現代専門部会員
24	大野 智史	近現代専門部会員

25	清水 亮	近現代専門部会員
26	萩谷 良太	民俗専門部会員 (令和7年度まで) 民俗専門部会長 (令和8年度から)
27	森戸 日咲子	民俗専門部会員
28	三津山 智香	民俗専門部会員
29	宿澤 泉帆	民俗専門部会員
30	渡部 圭一	民俗専門部会員
31	杉山 紗南	民俗専門部会員
32	榎 美香	民俗専門部会員

任期：令和5年8月1日～町史刊行まで

## 23 阿見町文化協会

No	団体名等	氏名	所属部門
	会長	千葉 繁	町長
	副会長	宮崎 智彦	教育長
	副会長兼代表理事	渡邊 登	文学
	代表理事	福田 かつ子	舞踊
	代表理事	土田 伸伸	芸能
	代表理事	井坂 斗絲幸	音楽
	代表理事	渡辺 和昭	美術
	代表理事	鈴木 恵子	古典芸能
	代表理事	田中 光夫	生活文化
	監事	朝日 典子	美術(書道)
	監事	齊藤 有司	芸能(詩吟)
1	道松会	伊藤 まつい	舞踊(舞踊)
2	欽萃会	平岡 欽子	舞踊(舞踊)
3	扇美会	石塚 美津子	舞踊(日本舞踊)
4	佐保苑会	倉重 清子	舞踊(日本舞踊)
5	秀麗会	林田 キヨミ	舞踊(舞踊)
6	花あわせ	福田 かつ子	舞踊(日本舞踊)
7	若澄会	石井 スミ子	舞踊(舞踊)
8	華扇会	永岡 幸枝	舞踊(日本舞踊)
9	邦の会	花柳 駒久子	舞踊(日本舞踊)
10	曙面舞会	倉重 一夫	芸能(演舞)
11	阿見かっぱれ道場	内田 亮	芸能(かっぱれ)
12	阿見詩吟会	土田 伸伸	芸能(詩吟)
13	ピカケ	金澤 恵子	芸能(フラダンス)
14	アロハ ココナッツ	大津 眞理子	芸能(フラダンス)
15	プメハナ	鹿嶋 陽子	芸能(フラダンス)
16	マヒナ	山崎 純子	芸能(フラダンス)
17	ククイ	村山 美加子	芸能(フラダンス)
18	阿見吟詠談風会	齊藤 有司	芸能(詩吟)
19	桐の会	松林 仁	芸能(詩吟)
20	喜幸会阿見支部	井坂 斗絲幸	音楽(三味線)

21	コールフリューレット	渡 辺 せい子	音楽 (コーラス)
22	さくら陶炎会	有 留 建 二	美術 (陶芸)
23	獅子頭彫刻研究会	山 本 俊 洋	美術 (獅子頭彫刻)
24	つくばね会	渡 辺 和 昭	美術 (絵手紙)
25	舟島鵬墨会	中 西 和 紀	美術 (水墨画)
26	墨友	朝 日 典 子	美術 (書道)
27	みずぐき	安 西 律 子	美術 (書道)
28	阿見裂き織り同好会	横 田 てる子	美術 (裂き織)
29	阿見町君島芸能保存会	大 竹 利 一	古典芸能 (ひょっとこ)
30	表千家茶道同好会	鈴 木 恵 子	古典芸能 (茶道)
31	カトレアA	桜 井 一 恵	古典芸能 (生花)
32	カトレアB	西 村 和 子	古典芸能 (生花)
33	個人会員	渡 邊 登	文学 (短歌)
34	阿見俳句会	清 藤 賢 一	文学 (俳句)
35	阿見囲碁同好会	田 中 光 夫	生活文化 (囲碁)
36	阿見棋友会	奥 田 久 夫	生活文化 (将棋)
37	塙城跡保存会	田 崎 力 男	生活文化 (郷土史研究)

## 24 阿見町スポーツ協会

役職名	氏 名	所 属
会 長	千 葉 繁	阿見町町長
副会長	宮 崎 智 彦	阿見町教育長
副会長・常任理事	向 島 孝 志	スポーツ少年団本部長
常任理事	平 山 義 明	スポーツ推進委員会委員長
常任理事	大 橋 雅 道	生涯学習課長
常任理事	稲 田 克 彦	野球部長
常任理事	瀬 尾 文 子	バレーボール部長
常任理事	横 田 芳 明	ソフトボール部長
常任理事	岡 島 俊 一	グラウンドゴルフ部長
常任理事	加 藤 滋	テニス部長、スポーツ推進委員
常任理事	村 山 英 希	卓球部長
理 事	久 保 谷 実	阿見町議会議長
理 事	遠 藤 貴 央	阿見町消防団長
理 事	山 口 道 子	阿見町区長会長
理 事	山 下 克 久	阿見町中学校体育連盟会長 (阿見中学校長)
理 事	糸 賀 昌 士	阿見町教育委員会 教育部長
理 事	木 村 真 維	陸上部長
理 事	柴 田 勝	柔道部長
理 事	相 澤 剛	剣道部長
理 事	廣 田 寛 治	弓道部長
理 事	横 瀬 義 貴	サッカー部長
理 事	柴 山 真寿美	水泳部長
理 事	平 岡 一 浩	バドミントン部長
理 事	渡 部 儀 勝	ゴルフ部長

理事	福田隆俊	合気道部長
理事	野木和江	バウンドテニス部長
理事	鈴木義和	スポーツ吹矢部長
理事	長南栄一	スポーツ推進委員
理事	川村隆昭	スポーツ推進委員
理事	櫻井繁樹	スポーツ推進委員
理事	安相賢二	スポーツ推進委員
理事	中島雅己	スポーツ推進委員
理事	村上光	スポーツ推進委員
理事	大高政和	スポーツ推進委員
理事	菅谷浩一	スポーツ推進委員
理事	山崎聡	スポーツ推進委員
理事	井上里美	スポーツ推進委員
理事	鹿島真人	スポーツ推進委員
理事	窪谷美咲	スポーツ推進委員
理事	早川光明	スポーツ推進委員
理事	浅野治	スポーツ推進委員
理事	窪谷弘	スポーツ推進委員
理事	金坂和美	スポーツ推進委員
理事	遠藤潔	スポーツ推進委員
監事	只野誠喜	ダンススポーツ部長
監事	佐藤君江	スポーツ推進委員
幹事	篠崎博明	事務局長
幹事	幕内幸恵	事務局

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

## 25 阿見町スポーツ少年団

職名	氏名	所属
本部長	向島孝志	舟島フレンドシップーズ SC
副本部長	板宮政男	本郷イーグルス
理事	喜多村敏	阿見ヤンキース
理事	皆木義時	阿見ヤンキース
理事	清水正夫	本郷イーグルス
理事	宮崎雅則	桜香方正会
理事	松本茂男	桜香方正会
理事	永岡孝雄	舟島剣道クラブ
理事	栗山雄一	舟島剣道クラブ
理事	森英紀	阿見ミニバスケットボール
理事	小林香織	阿見ミニバスケットボール
理事	深田崇	朝日ミニベスパ
理事	佐々木美奈	朝日ミニベスパ
理事	長谷川綾香	ASAHI ミニバスケットボール
理事	新村琉莉	ASAHI ミニバスケットボール
理事	柴沼一浩	阿見ジュニアバドミントン

理事	山 崎 聡	君原バドミントン
理事	青 山 崇	君原バドミントン
理事	植 木 淳 子	吉原 BSS
理事	山 中 芳 子	吉原 BSS/阿見ジュニアバドミントン
理事	廣 瀬 一 也	舟島バドミントン
理事	浅 井 恭 子	阿見西バドミントン
理事	青 野 瑞 樹	阿見西バドミントン
理事	山 本 敏 弘	ナイスショットバドミントン
理事	倉 持 祐 希	ナイスショットバドミントン
理事	貝 塚 俊 一	朝日ヴィントサッカー
理事	仲 山 悠	朝日ヴィントサッカー
理事	松 浦 勇	舟島フレンドシッパーズ SC
理事	大 枝 ゆう子	舟島フレンドシッパーズ SC
理事	登 坂 亮 二	阿見ファントゥスポーツクラブ
理事	梶 原 隆 史	阿見ファントゥスポーツクラブ
理事	木 村 真 維	アスレッククラブ
理事	久保木 正 則	あみ桜輝バレーボール
理事	青 山 崇	あみ桜輝バレーボール
監 事	楠 朱 実	アスレッククラブ
幹 事	荒 川 功	舟島バドミントン
幹 事	篠 崎 博 明	スポーツ協会事務局
幹 事	幕 内 幸 恵	スポーツ協会事務局

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

## 26 阿見町PTA連絡協議会役員

職 名	氏 名	所 属
会 長	大 釜 篤 実	竹来中学校
副 会 長	山 本 英 宏	朝日中学校
理事・研修委員長	吉 田 貴 洋	本郷小学校
理事・研修委員	笹 田 邦 恵	君原小学校
理事・研修委員	湯 原 正 記	阿見第二小学校
理事・運営委員長	坂 本 良 美	阿見第一小学校
理事・運営委員	臼 井 舞 子	阿見小学校
理事・運営委員	石 田 貴 也	あさひ小学校
理事・子育てネットワーク委員長	多 田 知 子	阿見第一小学校
監 事	小松澤 幸 夫	阿見中学校
監 事	佐 藤 修 一	舟島小学校
幹事(事務局)	川 松 佳 子	竹来中学校
幹事(会計)	宮 本 卓 也	舟島小学校
幹事(庶務)	富 田 哲 也	君原小学校

任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

# 令和8年度阿見町子ども会育成連合会組織図

全国子ども会育成連合会

茨城県子ども会育成連合会

阿見町教育委員会  
[生涯学習課]

会長  
倉田 雅之

書記[子ども会事務局]  
生涯学習課      青少年係  
TEL 888-2526      FAX 888-0032

副会長  
山口 道子

副会長  
高野 好央

副会長  
長谷川 哲也

監事	吉田 利雄
	須藤 隆之

会計	木村 美由紀
	吉田 由美

阿見中学校区
阿見小学校地区役員
○ 山口 道子      ◎ 湯原 忠之 村山 早苗      ☆ 塚原 いつ子 小松 英子      ☆ 佐藤 英子 木村 浩樹      山口 菜穂子 ☆ 大高 悦子

竹来中学校区
君原小学校地区役員
◎ 山崎 友美子      石川 久美子 中山 修一      吉田 香織 瀬尾 和俊      ☆ 山崎 翔子

朝日中学校区
本郷・あさひ小学校地区役員
○ 長谷川 哲也      ◎ 滝本由香里 ☆ 木村 美由紀 ☆ 木村 美由紀 ☆ 吉田 由美      小田島 秀二 嗟峨 光二      飯島 将光 石田 貴也

阿見第二小学校地区役員
◎ 根本 哲也      大川 淳一 堀井 禅道

舟島小学校地区役員
○ 倉田 雅之      ◎ 清水 幸路 ☆ 高橋 亜矢子 ○ 高野 好央      高橋 亜矢子

実穀地区役員
◎ 後藤 祐一      浅野 周一 大久保 高      栗田 敏昌 菅谷 隆宏      清水 直美 吉田 浩      福岡 亜紀

吉原地区役員
◎ 高野 透      齊田 信明 岡田 利之      小倉 由佳 橋本 英晃

阿見第一小学校地区役員
◎ 古井 智美      村野 定雄 福井 晃      米丸 友子 ☆ 柳澤 京子      本間 雅晴 小倉 広子      金井 智宏 秋山 愛香

◎は 小学校地区長  
○は 本部役員  
☆は 広報委員

単位子ども会  
育成会数:50

令和8年度 阿見町の教育

令和8年6月発行

編集・発行

阿見町教育委員会

〒300-0333 茨城県稲敷郡阿見町若栗 1886 番地 1

学校教育課・指導室 TEL 029 (888) 0220

FAX 029 (888) 3601

生涯学習課

TEL 029 (888) 2526

中央公民館

君原公民館

TEL 029 (889) 1363

かすみ公民館

TEL 029 (888) 8111

図書館

TEL 029 (887) 6331

学校給食センター

TEL 029 (887) 1430

教育相談センター

TEL 029 (888) 1225

本郷ふれあいセンター

TEL 029 (830) 5100

舟島ふれあいセンター

TEL 029 (840) 2761

吉原交流センター

TEL 029 (889) 0277

実穀ふれあいセンター

TEL 029 (886) 5225

文化課

TEL 029 (896) 6801

予科練平和記念館

TEL 029 (891) 3344

阿見町伝統芸能まつり

阿見町伝統芸能まつり

